

次期「亀岡市教育振興基本計画」策定に向けた
アンケート調査結果報告書

目 次

I. 調査の概要.....	2
1. 調査目的	2
2. 調査項目	2
3. 調査の設計	2
II. 保護者アンケート調査の結果.....	3
1. 回答者の属性	3
① 年齢	3
② 同居のご家族.....	3
③ お住まいの地域.....	4
④ 子どもの年代.....	5
⑤ 子どもの通っている学校 ※本アンケートを提出した学校.....	6
2. 教育を取り巻く現状（環境）について.....	7
問6 あなたのお子様の生活や行動についての考え	7
問7 亀岡市立の幼稚園・保育所・こども園・学校の取り組みについての考え	13
問8 子どもの育成・支援に関する取り組みについての考え.....	17
問9 幼稚園・保育所・子ども園・学校の行事や活動への参加状況.....	22
問9-1 参加したことのある行事や活動	23
問10 幼稚園・保育所・こども園・学校の情報を得る手段.....	24
問11 亀岡市教育委員会が行っている取り組みについての認知状況	25
3. これからの亀岡市の教育のあり方について.....	30
問12 子どもたちに身に付けてほしい力	30
問13 家庭の教育力を高めるために必要な取り組み.....	31
問14 子どもの健全育成のために地域住民に期待されること	32
問15 放課後児童会における子どもたちへの育成支援として期待されること.....	33
問16 今後、亀岡市が特に優先して取り組んでいくべき教育施策	34
問17 今後、亀岡市立の学校で行われる外国語教育について重視すること.....	35
問18 今後、亀岡市立の学校で行われる外国語教育について学習の効果として期待されること	36
問19 亀岡市立の学校でICT教育を推進していくことについて	36
問19-1 ICT教育を推進すべきだと思う理由	37
問19-2 ICT教育を推進すべきでないと思う理由	38

4. 持続可能な開発目標（SDGs）について	39
問 20 「持続可能な開発目標（SDGs）」の認知状況	39
問 21 教育の質を高めていくうえで、必要と思われること	40
本市の教育について、日頃お気付きの点や今後期待すること（自由意見）	41
Ⅲ. 市民アンケート調査の結果	44
1. 回答者の属性	44
① 年齢	44
② お住まいの地域	45
③ 同居のご家族	46
④ 子どもの年代	47
2. 教育を取り巻く現状（環境）について	48
問 5 亀岡市の子どもたちの生活や行動についての考え	48
問 6 子どもの育成・支援に関する取り組みについての考え	54
問 7 社会教育活動への参加状況	59
3. これからの亀岡市の教育のあり方について	60
問 8 子どもたちに身に付けてほしい力	60
問 9 家庭の教育力を高めるために必要な取り組み	61
問 10 子どもの健全育成のために地域住民に期待されること	62
問 11 放課後児童会における子どもたちへの育成支援として期待されること	63
問 12 今後、亀岡市が特に優先して取り組んでいくべき教育施策	64
問 13 今後、亀岡市立の学校で行われる外国語教育について、重視すること	65
問 14 今後、亀岡市立の学校で行われる外国語教育について学習の効果として期待されること	66
問 15 亀岡市立の学校で ICT 教育を推進していくことについて	67
問 15-1 ICT 教育を推進すべきだと思う理由	68
問 15-2 ICT 教育を推進すべきでないと思う理由	69
問 16 社会教育活動への参加意向	70
問 16-1 参加しようと思う社会教育活動の内容	70
4. 亀岡市の文化財や社会教育施設について	71
問 17 「亀岡市の文化財」へのイメージ	71
問 18 亀岡市の文化財についての関心	71
問 18-1 亀岡市の文化財で、特に重視し守っていききたいと思うもの	72
問 19 今後、文化財を守り、継承していくために亀岡市が取り組むべきこと	73
問 20 亀岡市の図書館及び文化資料館についての利用状況	74
問 21 図書館及び文化資料館についての満足度	76

問 22 亀岡市の図書館及び文化資料館について、特に力を入れてほしい取り組み	77
5. 持続可能な開発目標（SDGs）について	78
問 23 「持続可能な開発目標（SDGs）」の認知状況	78
問 24 教育の質を高めていくうえで、必要と思われること	79
本市の教育について、日頃お気付きの点や今後期待すること（自由意見）	80
IV. 【参考】過去調査との比較	83
あなたのお子様／亀岡市の子どもたちの生活や行動についての考え	84
亀岡市立の幼稚園・保育所・こども園・学校の取り組みについての考え	89
子どもの育成・支援に関する取り組みについての考え	93
家庭の教育力を高めるために必要な取り組み	98
子どもの健全育成のために地域住民に期待されること	100
V. 付録（調査票）	102
1. 保護者向けアンケート調査	103
2. 市民向けアンケート調査	114

◆報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下1位で表示しているため、合計が100%にならない場合がある。
- グラフ中のnは構成比を表示する際の母数を示す。合計には無回答を含むため、各クロス集計項目の母数の合計と一致しない場合がある。
- 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。

1. 調査の概要

1. 調査目的

亀岡市の教育振興に向けた施策を総合的、計画的に進めるための指針となる教育振興基本計画について、現行の亀岡市教育振興基本計画が令和3年度末をもって終了するため、新たに「第2次亀岡市教育振興基本計画」を令和2、3年度で策定する予定である。

本業務については、第2次亀岡市教育振興基本計画策定に係る業務を効果的、効率的に推進するために必要な基礎資料を得ることを目的として実施された。

2. 調査項目

本調査では、以下の項目について意見の聴取を行った。

○回答者の属性

○教育を取り巻く現状（環境）について

○これからの亀岡市の教育のあり方について

○亀岡市の文化財や社会教育施設について ※市民アンケート調査のみ

○持続可能な開発目標（SDGs）について

3. 調査の設計

本調査の設計は以下の通り。なお、本調査では、亀岡市立の保育所・園・学校に通う生徒の保護者を対象とした調査と、亀岡市民を対象とした2種類の調査を実施した。

【保護者アンケート調査】

調査対象	亀岡市立の保育所・園・学校に通う生徒の保護者1,000人
抽出方法	幼稚園・保育所・子ども園は4歳児組、小、中、義務教育学校は小学校2・5年生及び中学校2年生の保護者
調査方法	保育所・園・各学校を通じて、配布・回収
調査時期	令和2年11月30日（月）から12月14日（月）まで
回収数及び回収率	回収数：743件（回収率：74.3%）

【市民アンケート調査】

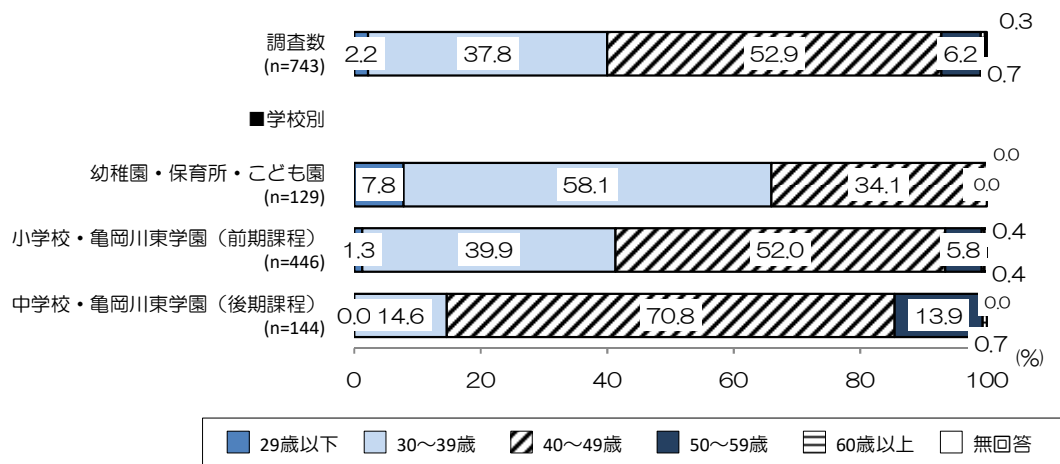
調査対象	令和2年11月1日現在亀岡市在住の18歳以上の住民の方1,200人
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送配布、回収
調査時期	令和2年11月30日（月）から12月14日（月）まで
回収数及び回収率	回収数：395件（回収率：32.9%）

II. 保護者アンケート調査の結果

1. 回答者の属性

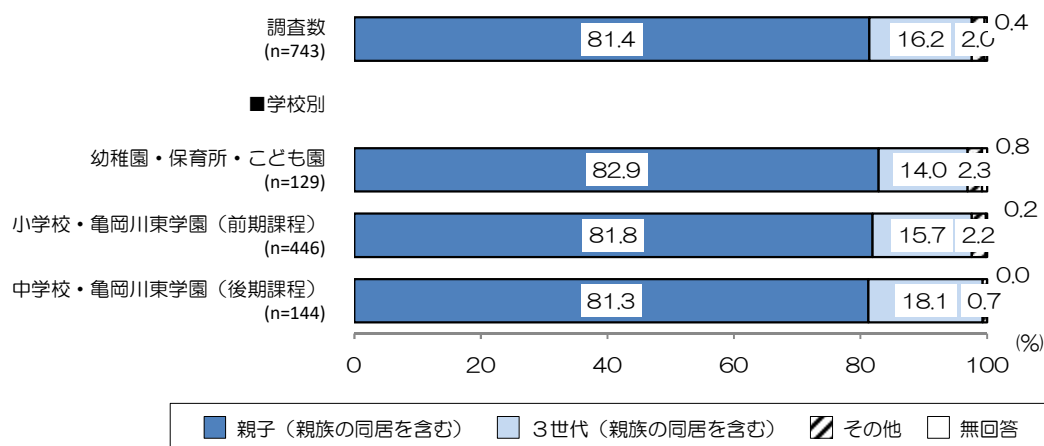
① 年齢

回答者の年齢構成は、「40～49 歳」が 52.9%、「30～39 歳」が 37.8%となっている。次いで「50～59 歳」が 6.2%、「29 歳以下」が 2.2%となっている。



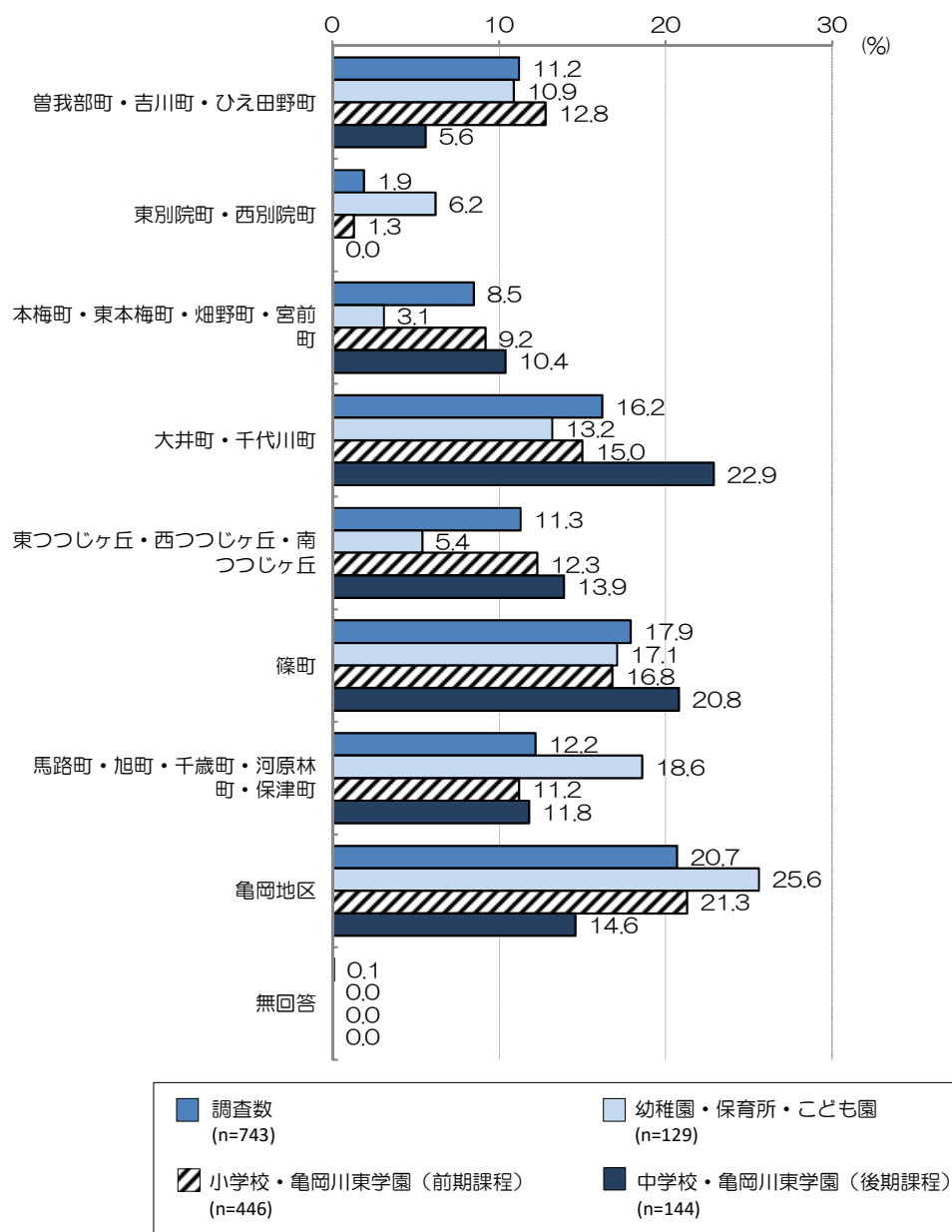
② 同居のご家族

回答者の同居のご家族は、「親子（親族の同居を含む）」が 81.4%で最も多く、次いで「3世代（祖親族の同居を含む）」が 16.2%となっている。



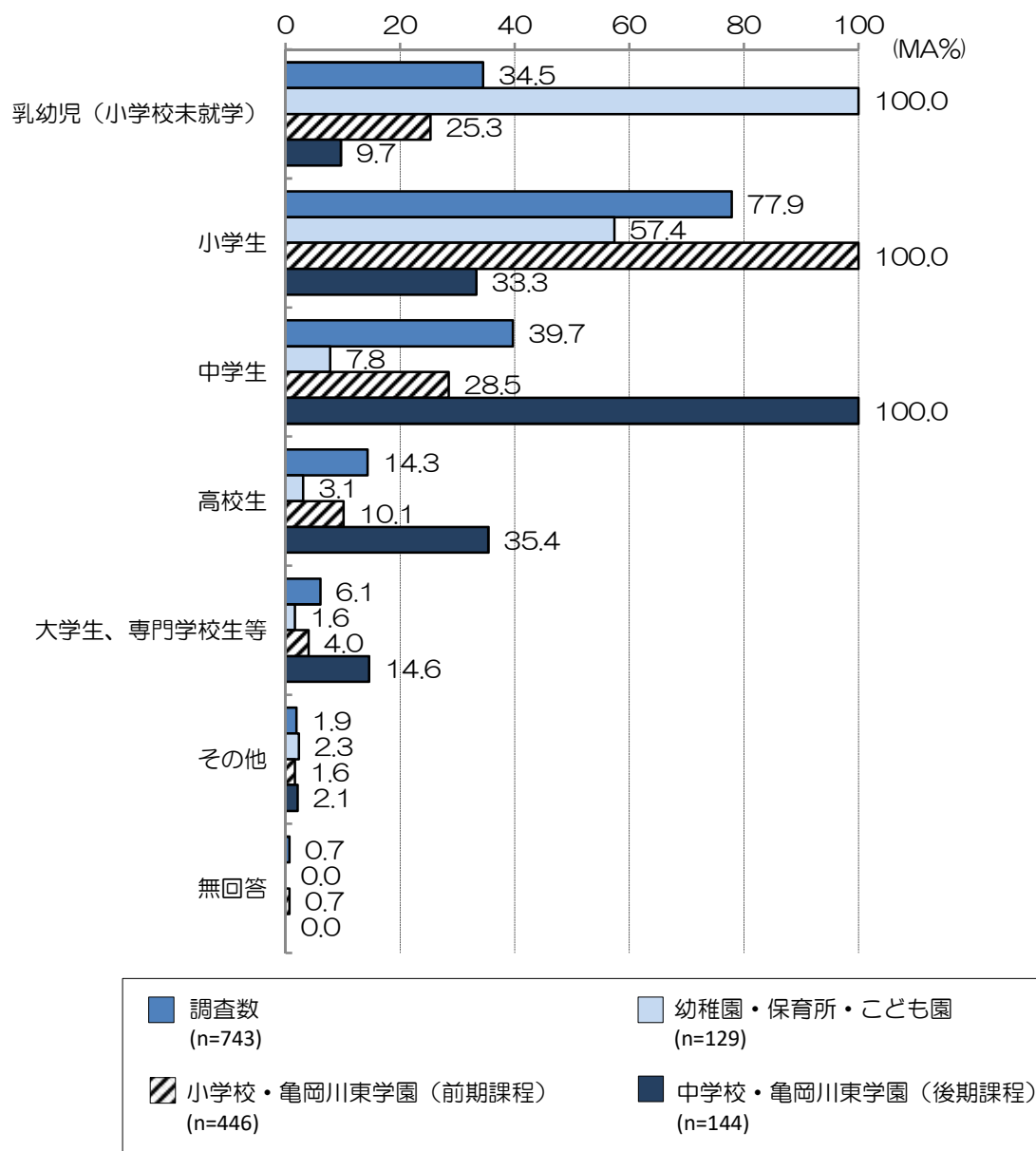
③ お住まいの地域

回答者のお住まいの地域は、「亀岡地区」が最も多く 20.7%となっている。



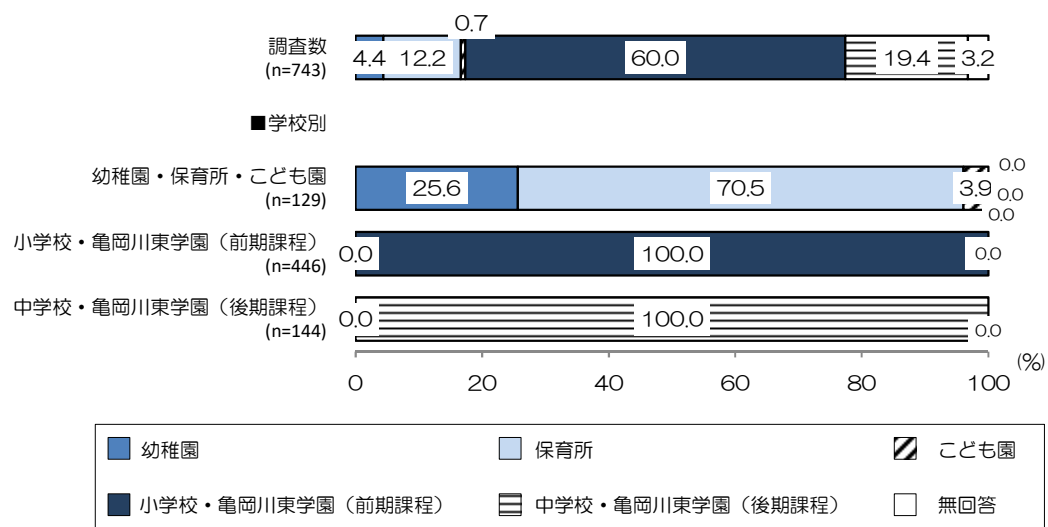
④ 子どもの年代

回答者の子どもの年代は、「小学生」が77.9%で最も多く、「中学生」(39.7%)、「乳幼児(小学校未就学)」(34.5%)と続いている。



⑤ 子どもの通っている学校 ※本アンケートを提出した学校

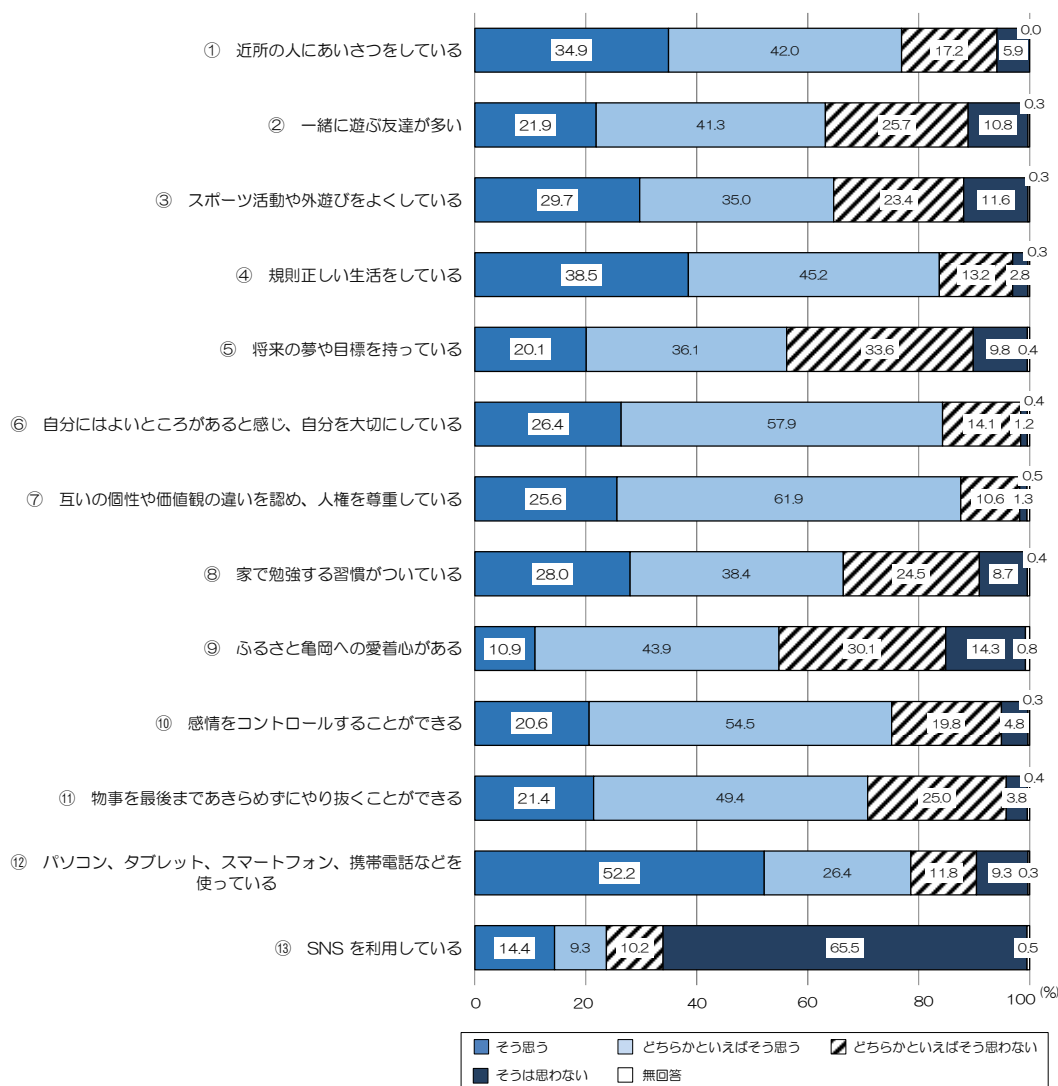
子どもの通っている学校については、「小学校・亀岡東学園（前期課程）」が60.0%、次いで「中学校・亀岡東学園（後期課程）」が19.4%、「保育所」が12.2%、「幼稚園」が4.4%、「こども園」が0.7%の順となっている。



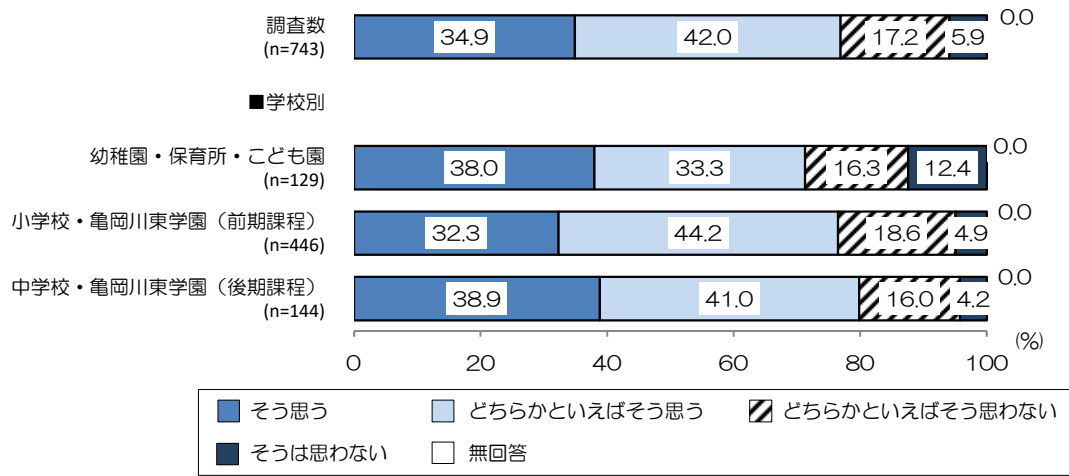
2. 教育を取り巻く現状（環境）について

問6 あなたのお子様の生活や行動について、どのように感じられますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで「○」を付けてください。

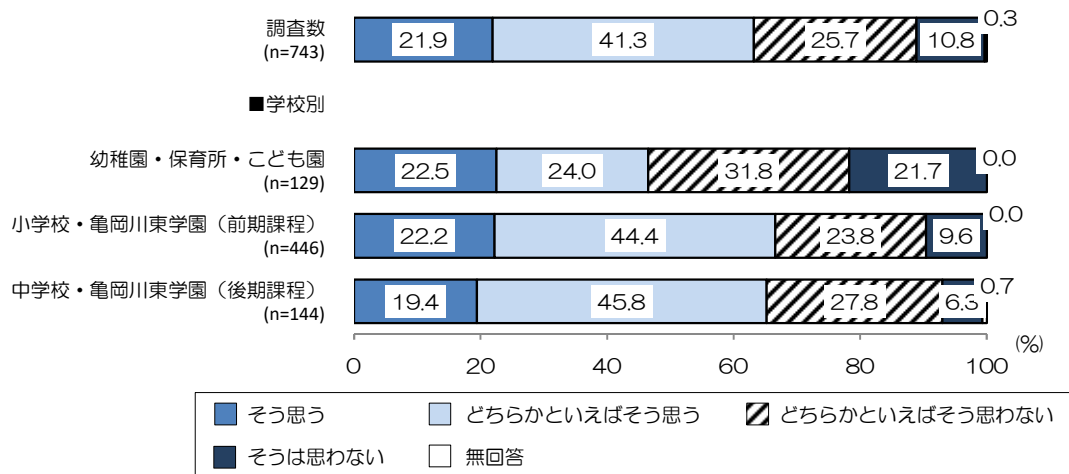
全体で“そう思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）の割合が高いのは、「⑦互いの個性や価値観の違いを認め、人権を尊重している」（87.5%）、「⑥自分にはよいところがあると信じ、自分を大切にしている」（84.3%）、「④規則正しい生活をしている」（83.7%）といった項目の割合が高くなっている。「⑫パソコン、タブレット、スマートフォン、携帯電話などを使っている」、「⑬SNS を利用している」については学校別で“そう思う”の割合の差が大きく、子どもの年齢が上がるほど“そう思う”の割合は大きくなっている。



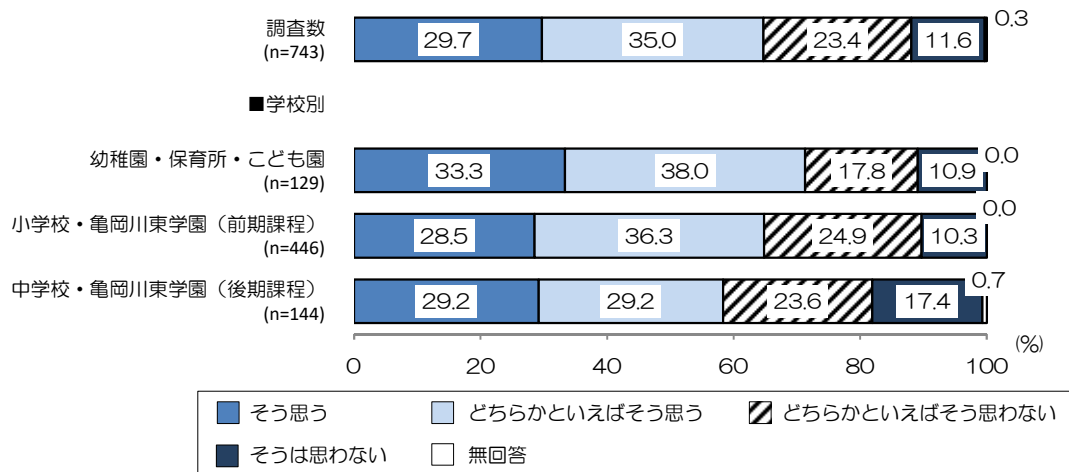
【①近所の人にあいさつをしている】



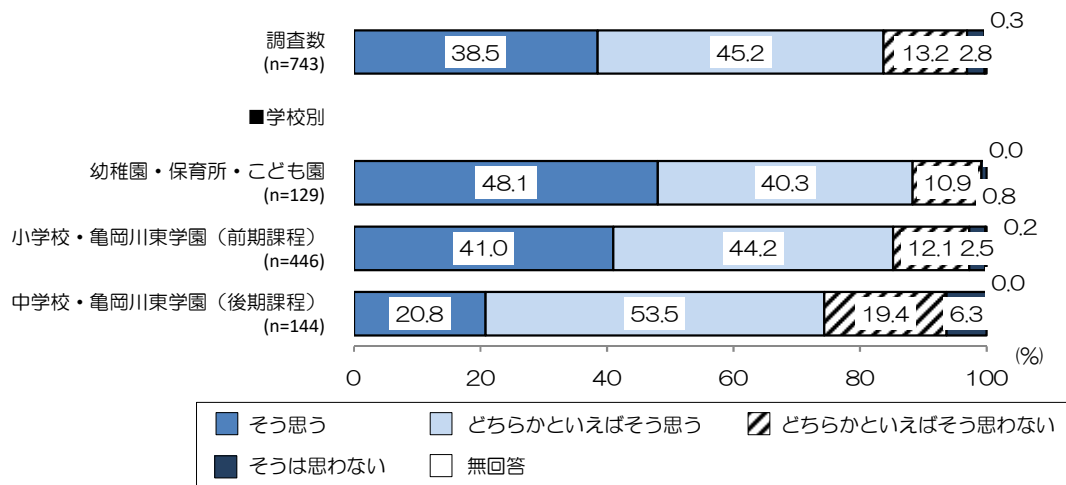
【②一緒に遊ぶ友達が多い】



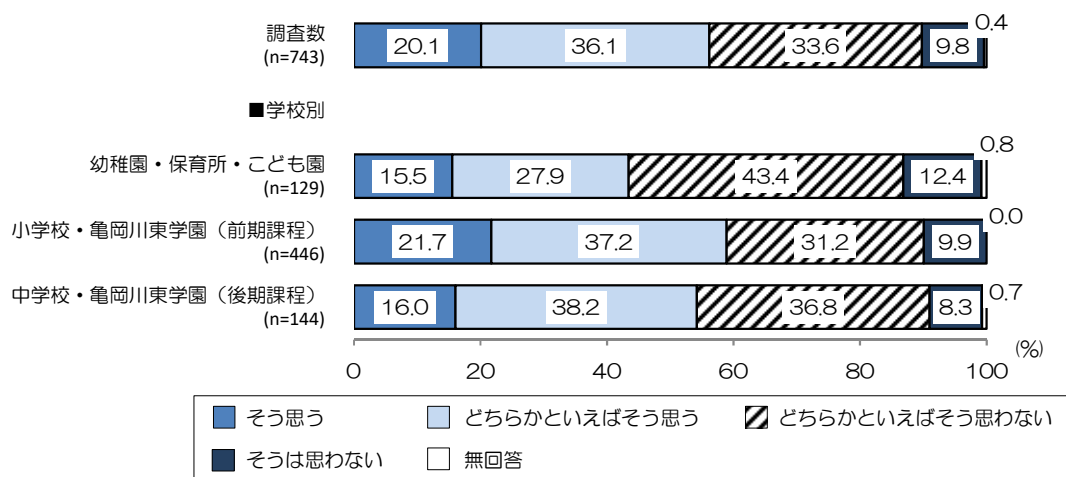
【③スポーツ活動や外遊びをよくしている】



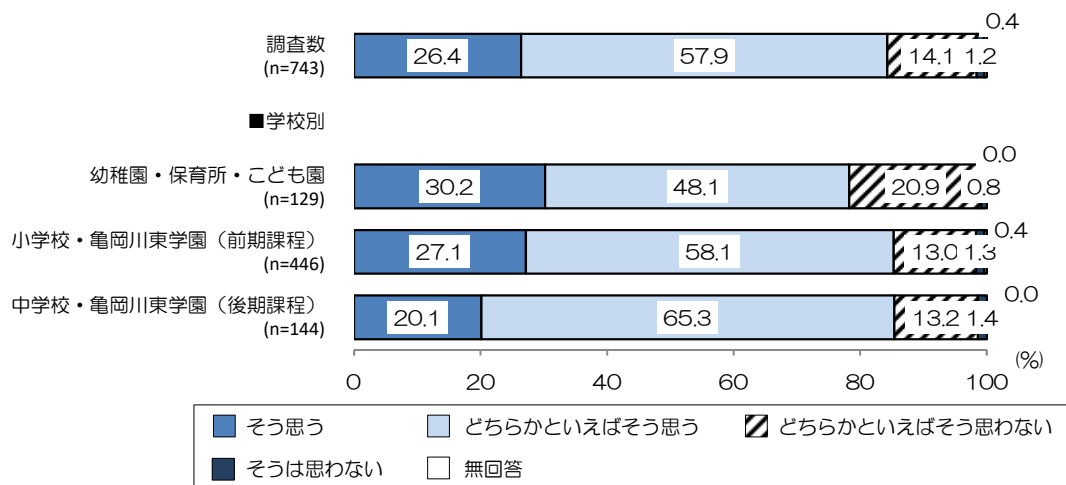
【④規則正しい生活をしている】



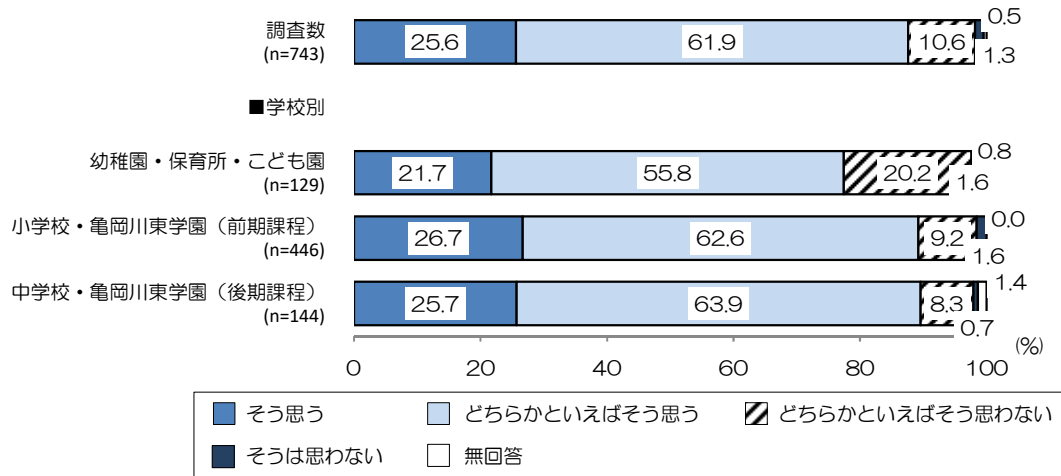
【⑤将来の夢や目標を持っている】



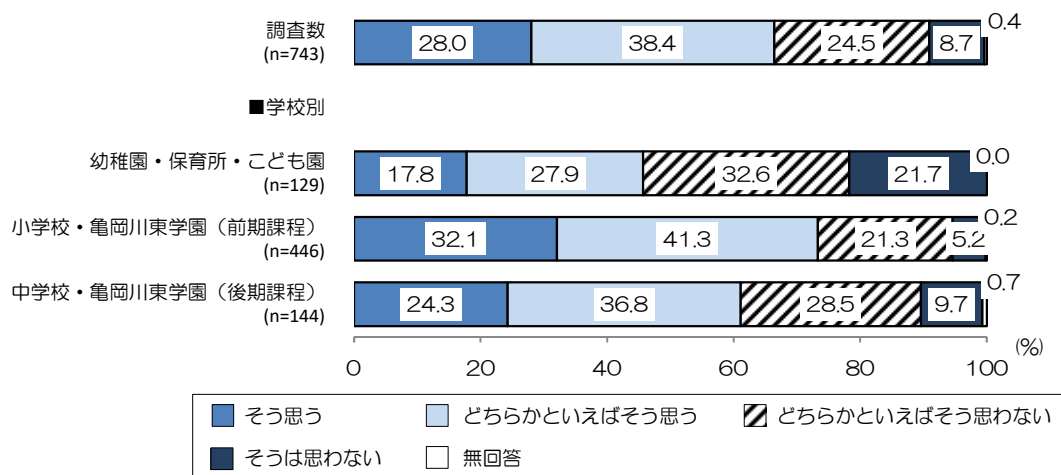
【⑥自分にはよいところがあると感じ、自分を大切にしている】



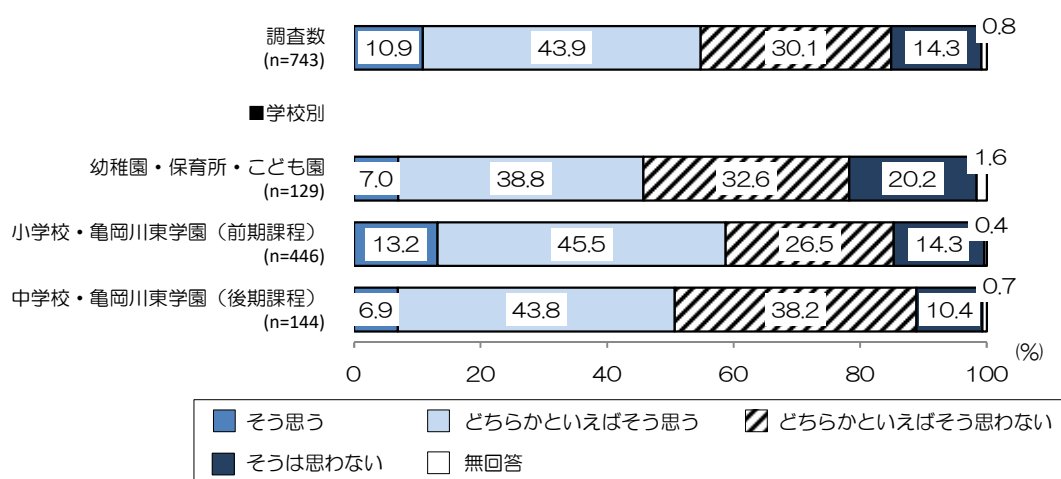
【⑦互いの個性や価値観の違いを認め、人権を尊重している】



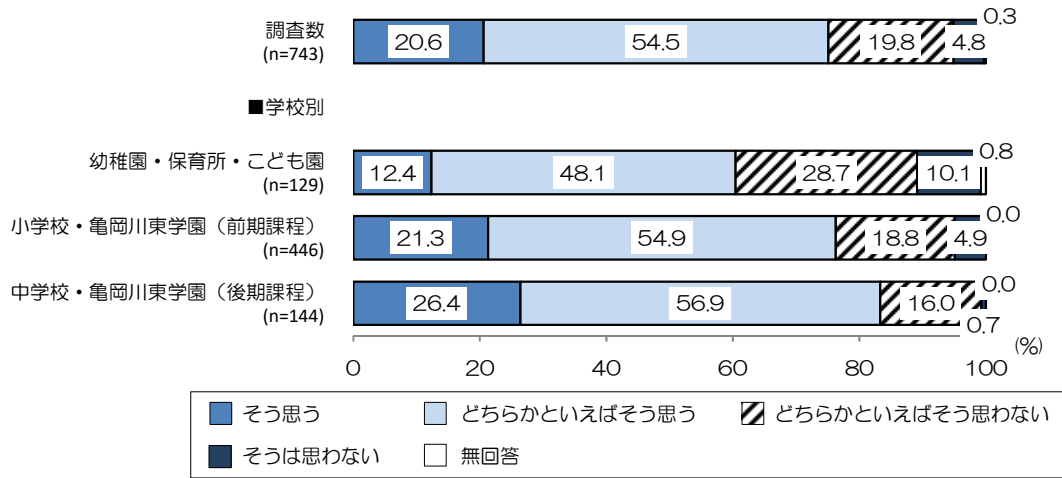
【⑧家で勉強する習慣がついている】



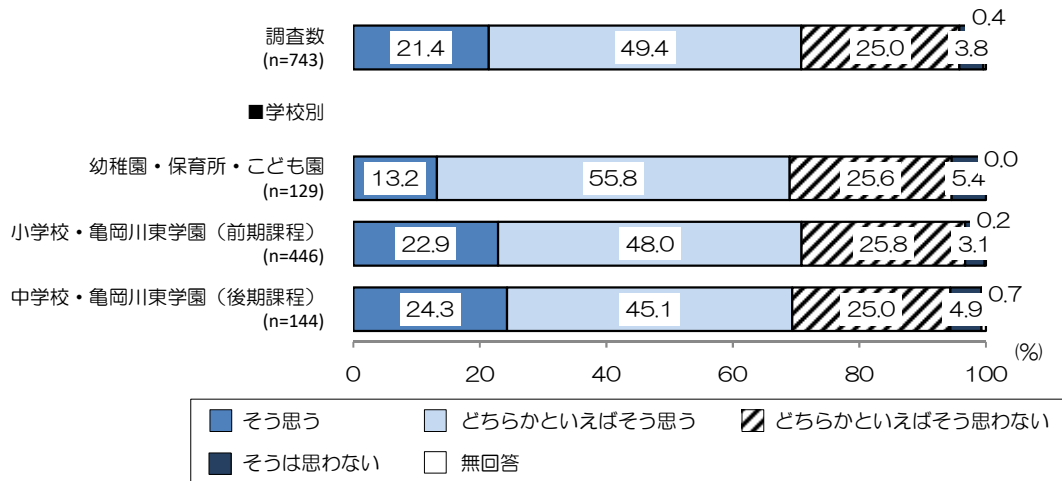
【⑨ふるさと亀岡への愛着心がある】



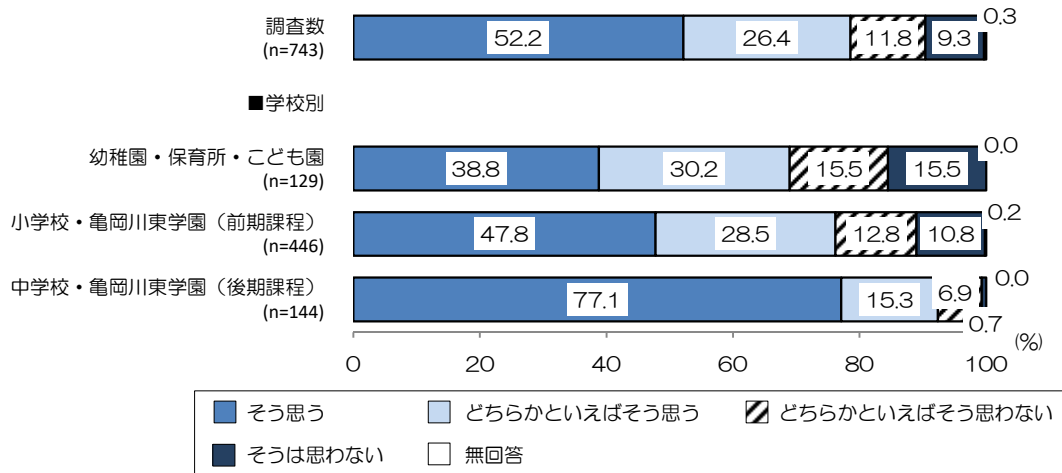
【⑩感情をコントロールすることができる】



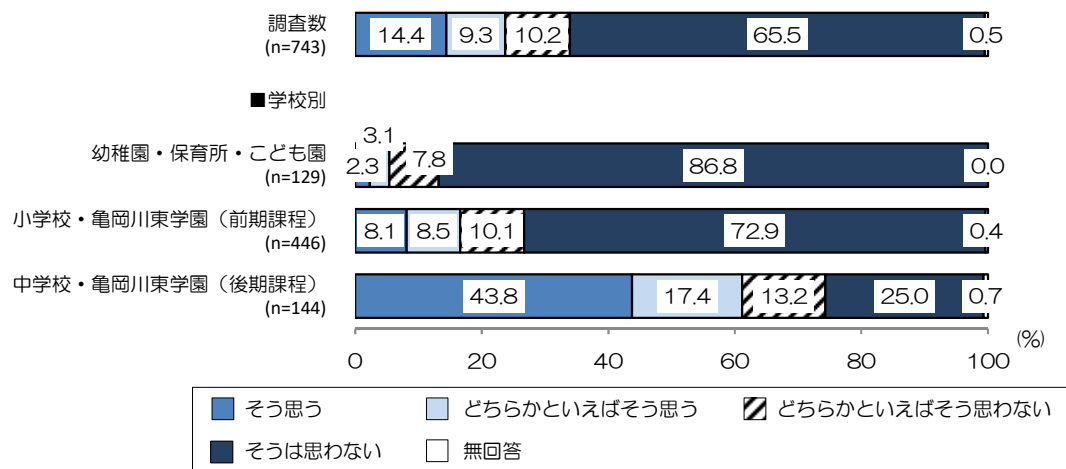
【⑪物事を最後まであきらめずにやり抜くことができる】



【⑫パソコン、タブレット、スマートフォン、携帯電話などを使っている】

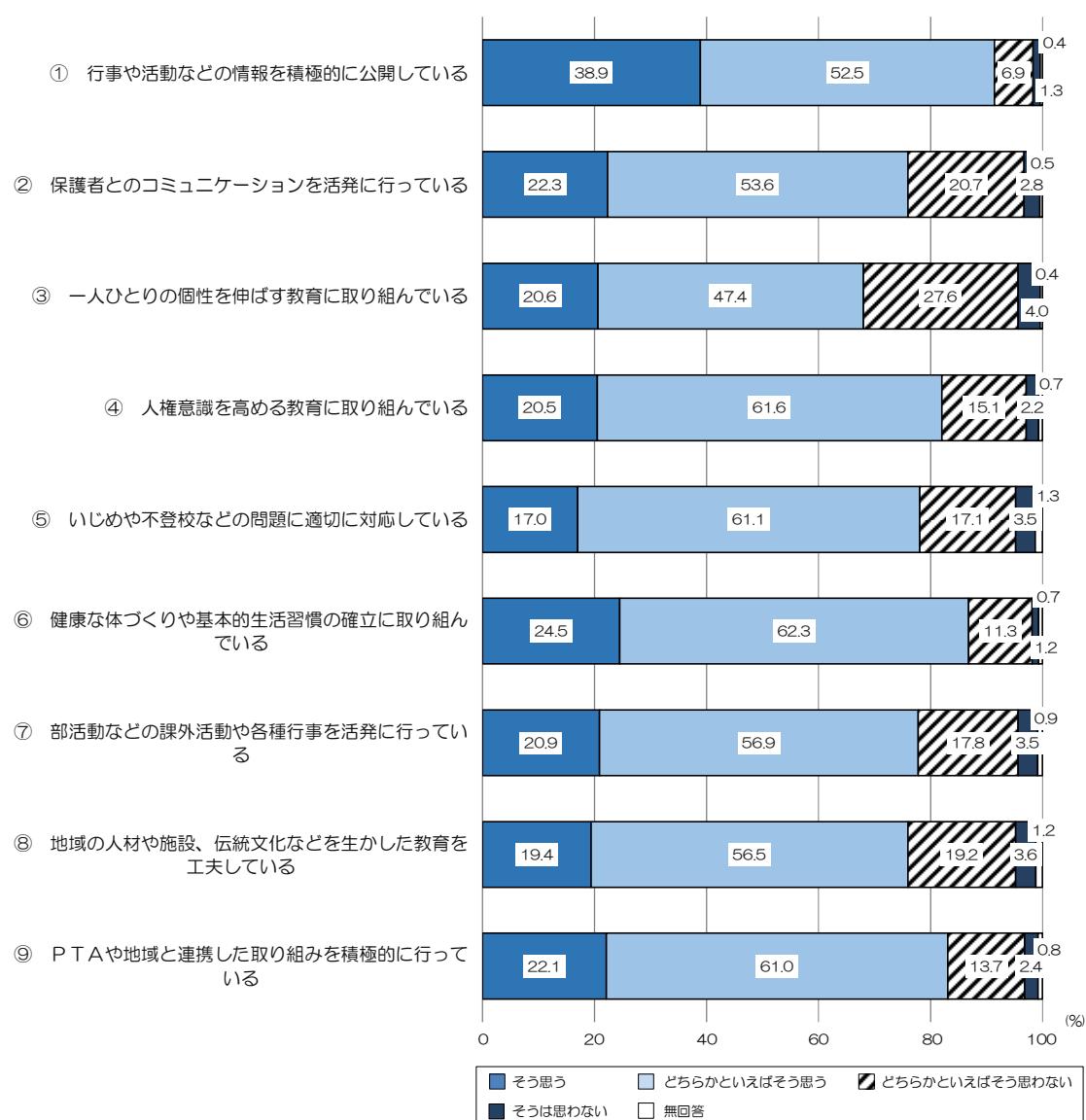


【⑬SNS を利用している】

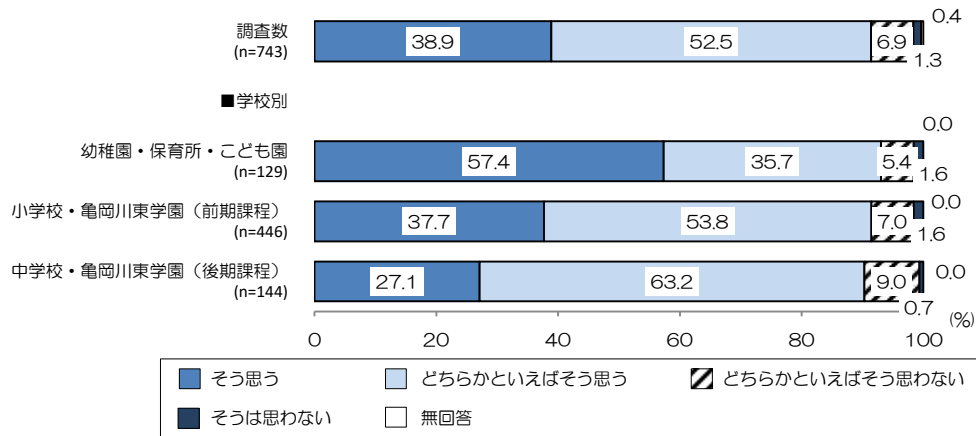


問7 あなたのお子様が通っている亀岡市立の幼稚園・保育所・こども園・学校の取り組みについて、どのように感じておられますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで「○」を付けてください。

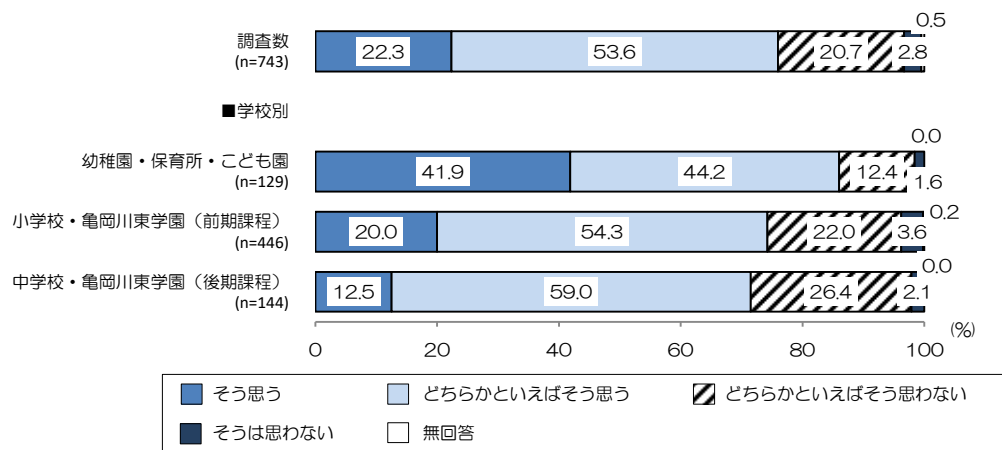
全体で“そう思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）の割合が高いのは、「①行事や活動などの情報を積極的に公開している」（91.4%）、「⑥健康な体づくりや基本的生活習慣の確立に取り組んでいる」（86.8%）といった項目の割合が高くなっている。一方で、「③一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組んでいる」については、“そう思う”の割合は68.0%に留まっている。



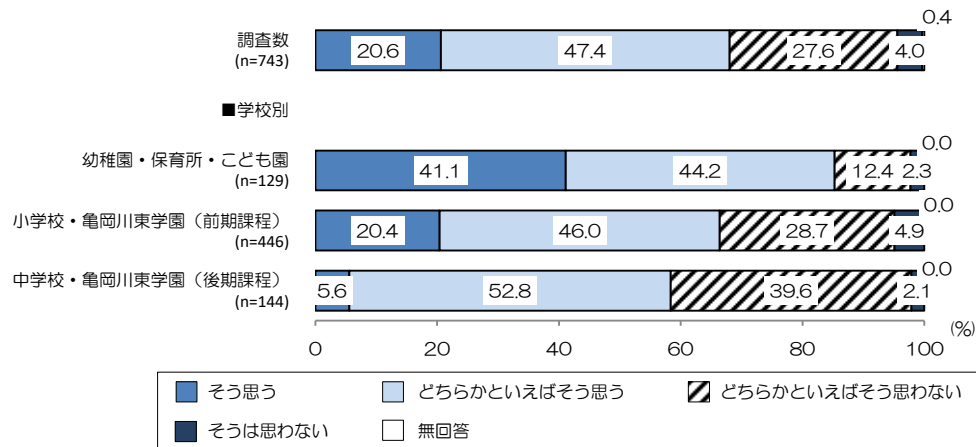
【①行事や活動などの情報を積極的に公開している】



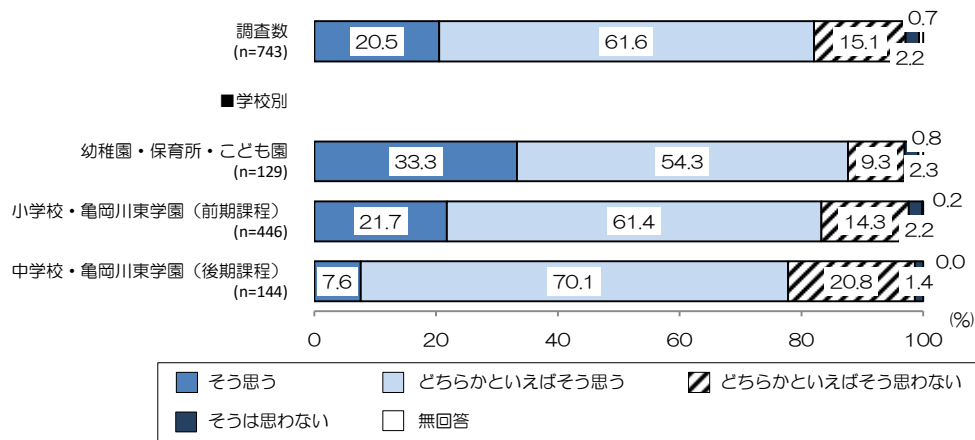
【②保護者とのコミュニケーションを活発に行っている】



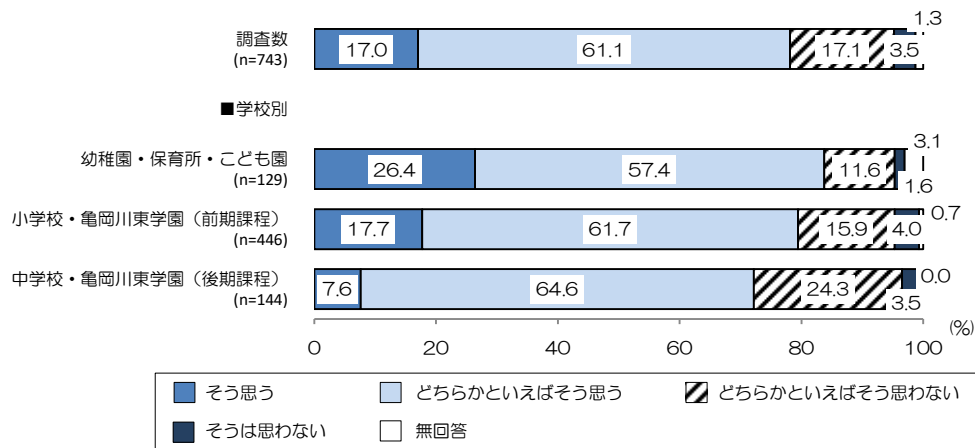
【③一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組んでいる】



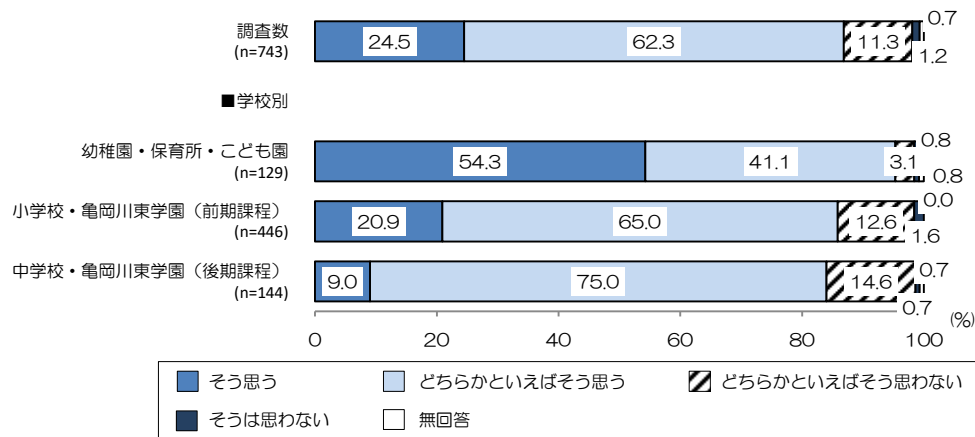
【④人権意識を高める教育に取り組んでいる】



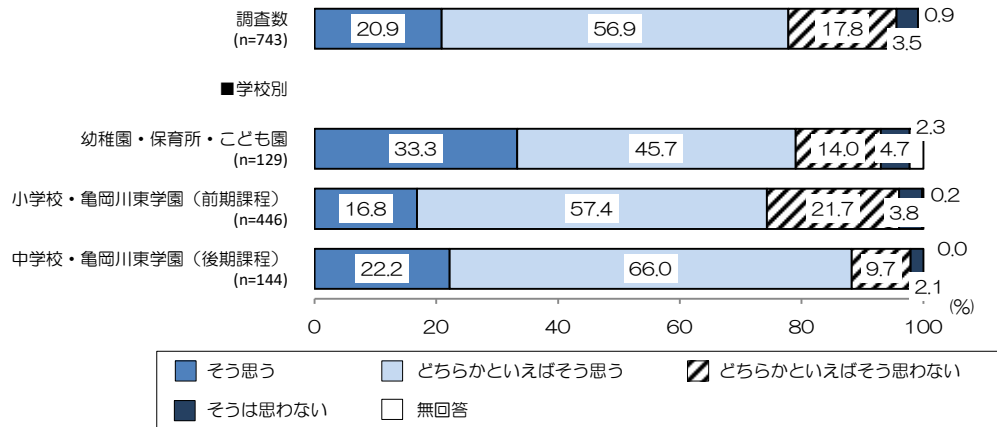
【⑤いじめや不登校などの問題に適切に対応している】



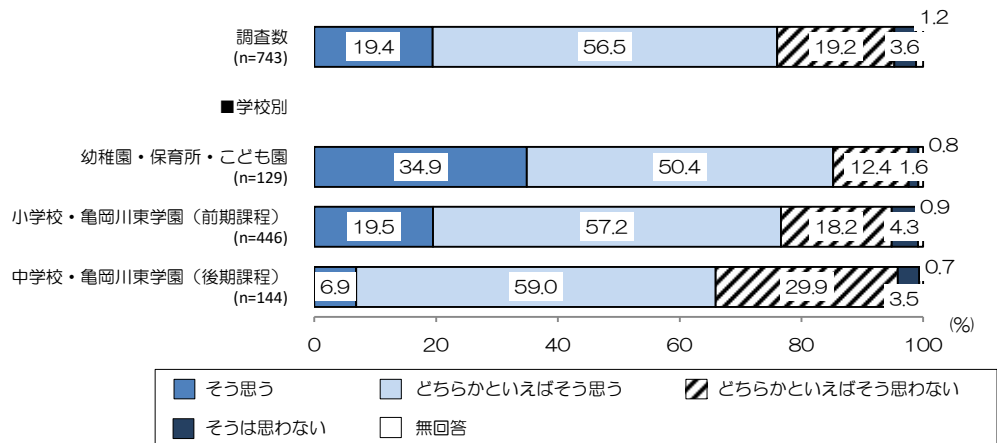
【⑥健康な体づくりや基本的な生活習慣の確立に取り組んでいる】



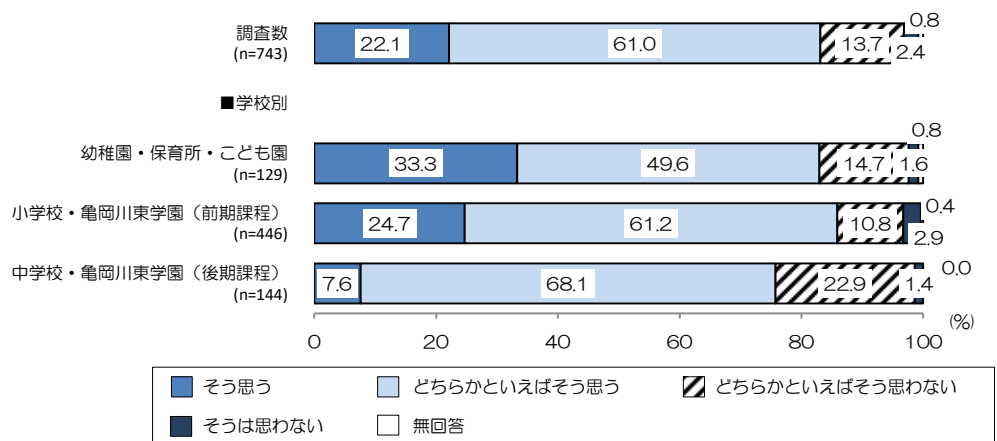
【⑦部活動などの課外活動や各種行事を活発に行っている】



【⑧地域の人材や施設、伝統文化などを生かした教育を工夫している】

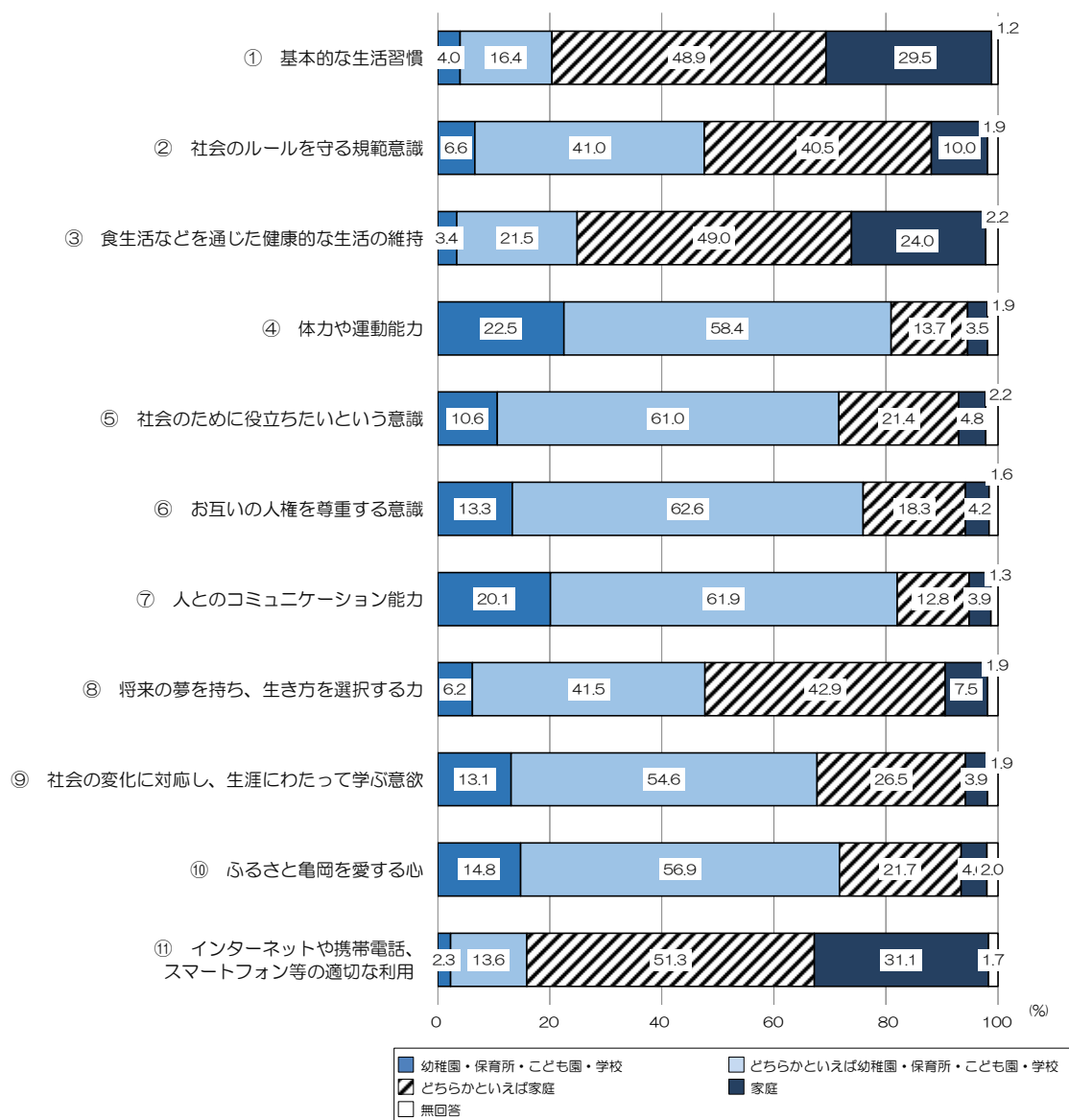


【⑨PTAや地域と連携した取り組みを積極的に行っている】

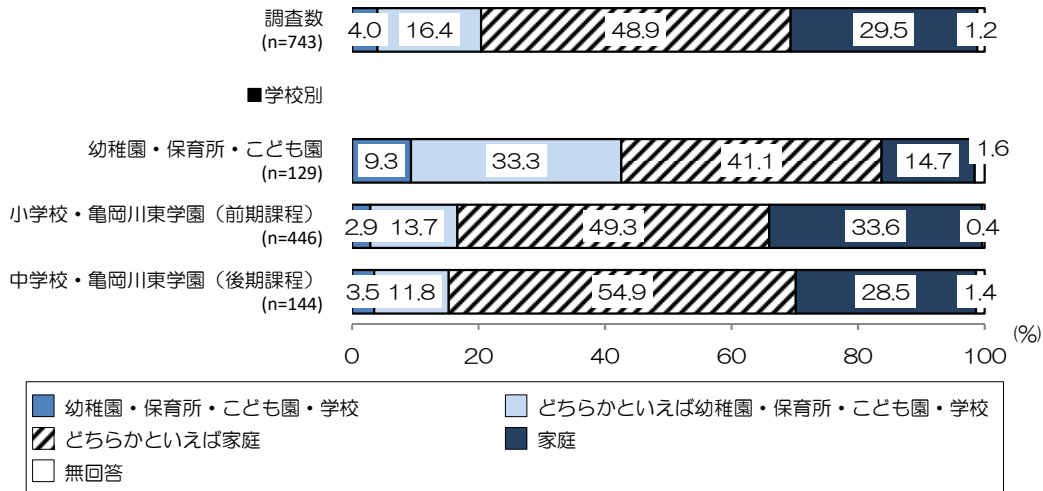


問8 子どもの育成・支援に関する次の各項目について、現状では幼稚園・保育所・こども園・学校と家庭とではどちらが中心になって取り組んでいると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

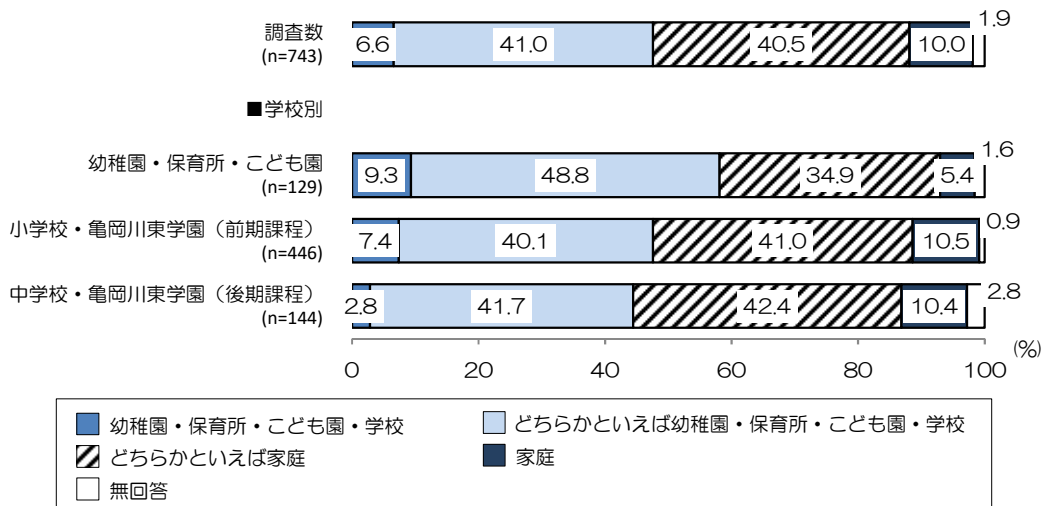
全体で“学校が中心に取り組んでいる”（「幼稚園・保育所・こども園・学校」+「どちらかといえば幼稚園・保育所・こども園・学校」）の割合が高いのは、「⑦人とのコミュニケーション能力」（82.0%）、「④体力や運動能力」（80.9%）、「⑥お互いの人権を尊重する意識」（75.9%）といった項目であった。一方で、“家庭が中心に取り組んでいる”（「家庭」+「どちらかといえば家庭」）の割合が高いのは、「⑪インターネットや携帯電話、スマートフォン等の適切な利用」（82.4%）、「①基本的な生活習慣」（78.4%）、「③食生活などを通じた健康的な生活の維持」（73.0%）といった項目であった。



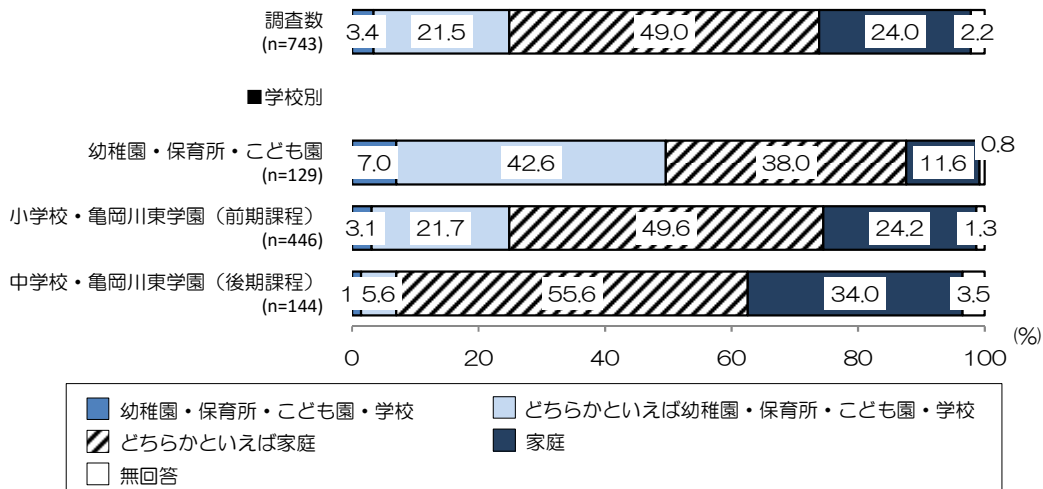
【①基本的な生活習慣】



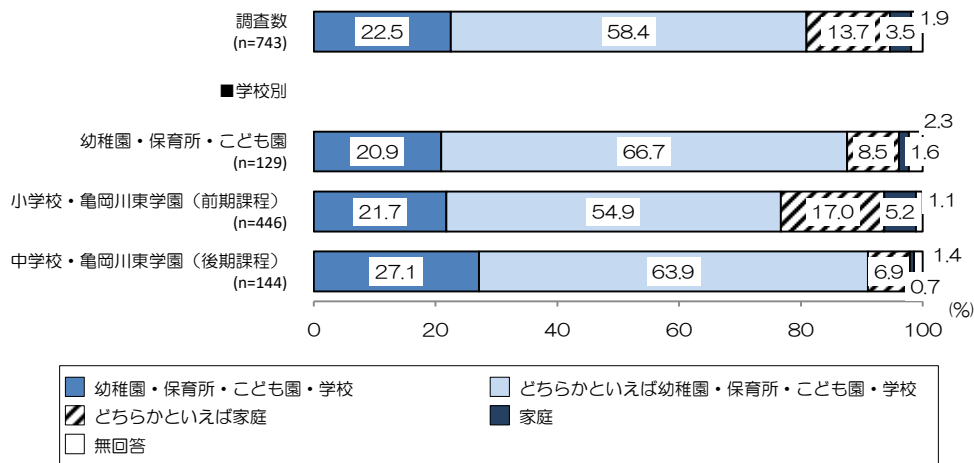
【②社会のルールを守る規範意識】



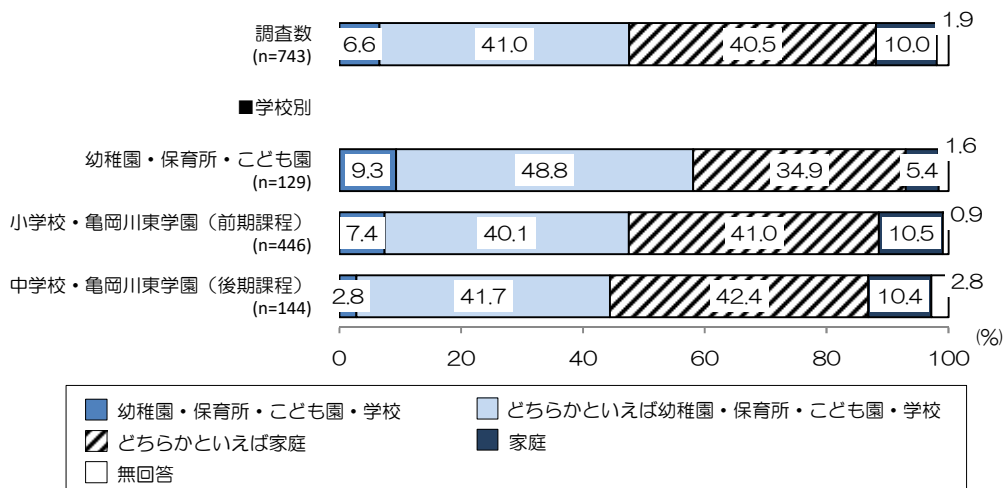
【③食生活などを通じた健康的な生活の維持】



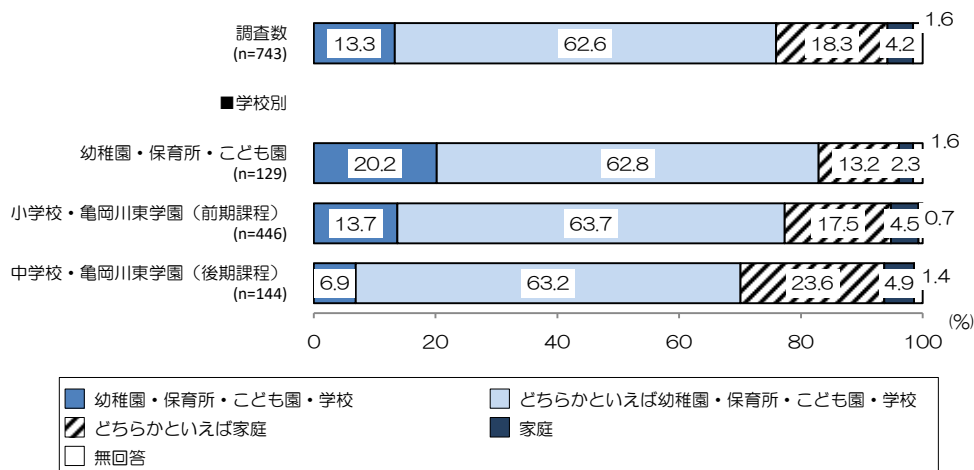
【④体力や運動能力】



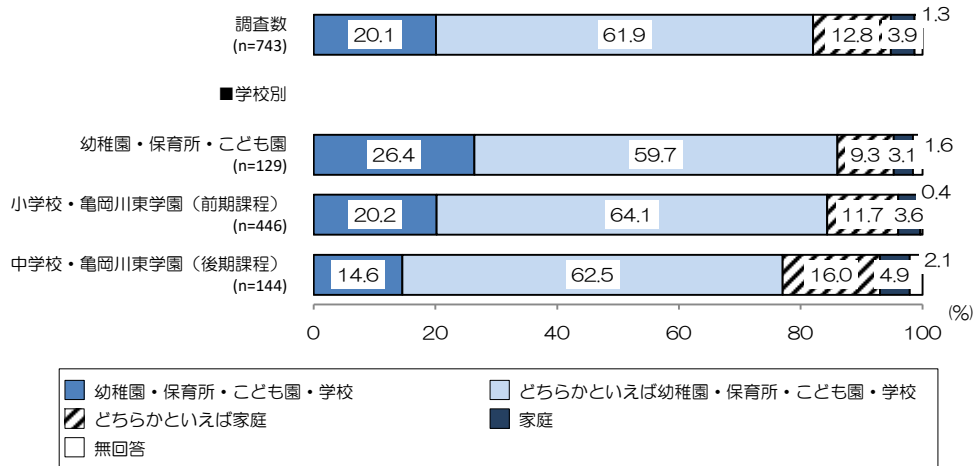
【⑤社会のために役立ちたいという意識】



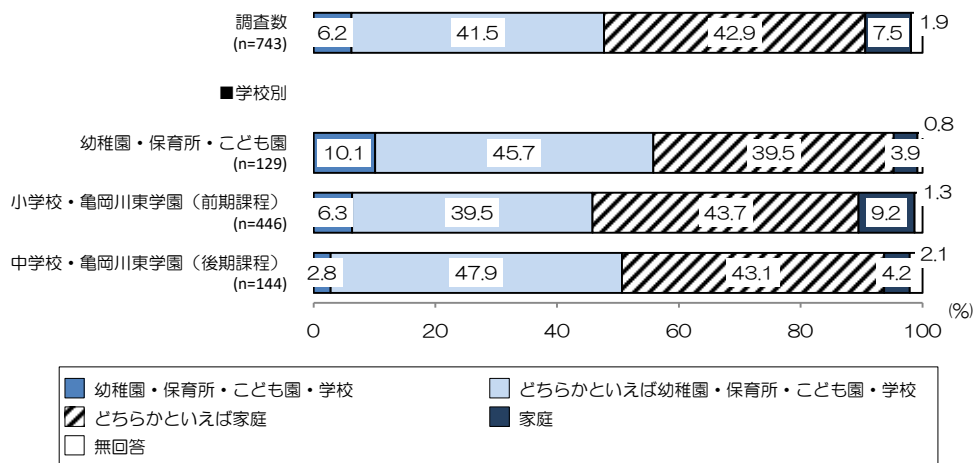
【⑥お互いの人権を尊重する意識】



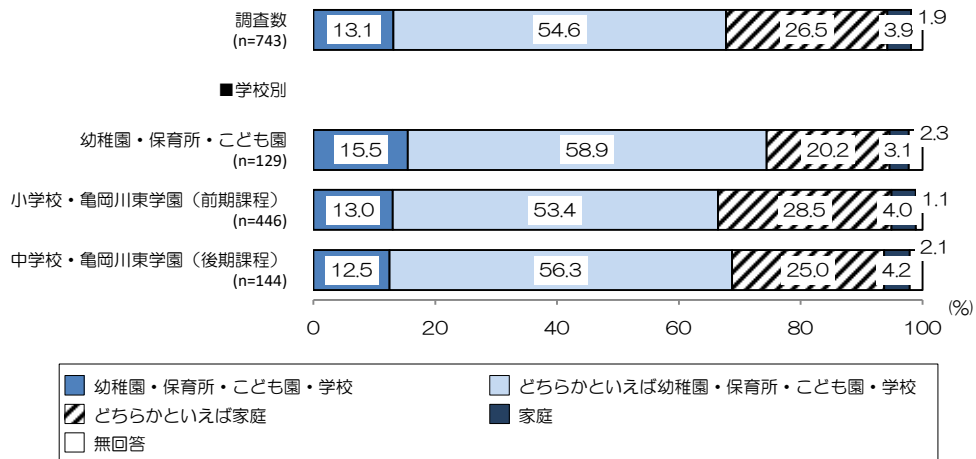
【⑦人とのコミュニケーション能力】



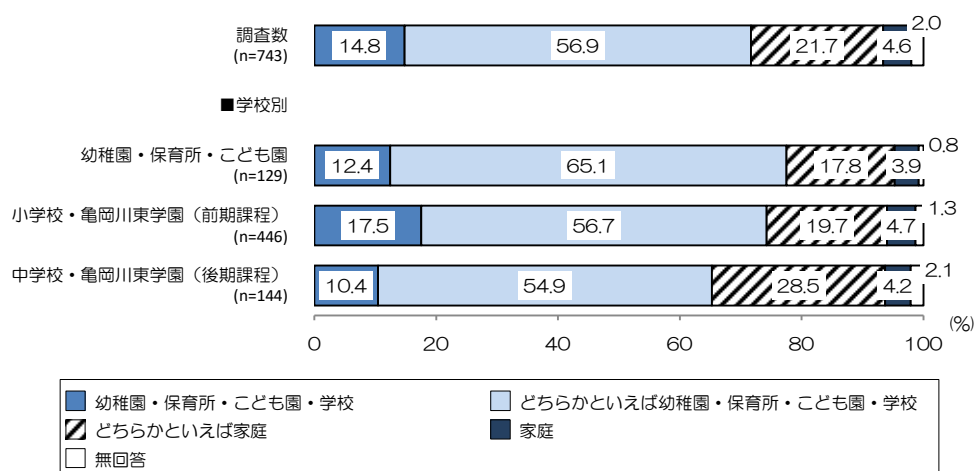
【⑧将来の夢を持ち、生き方を選択する力】



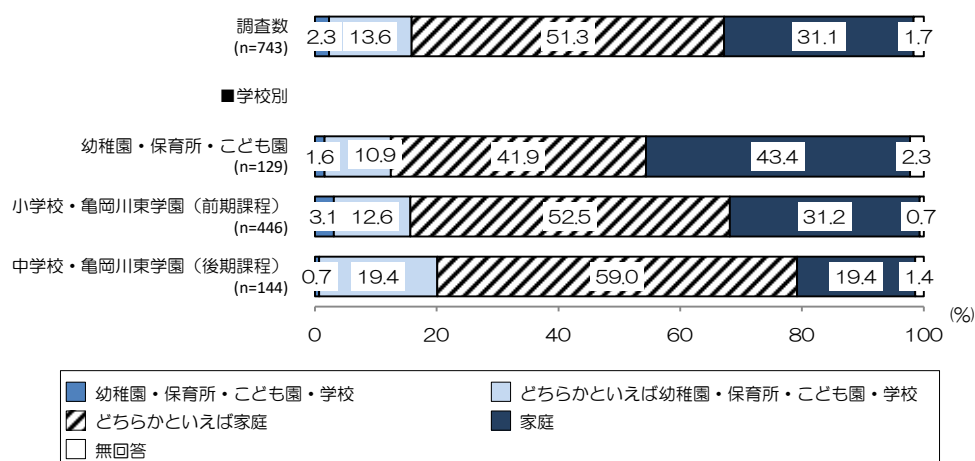
【⑨社会の変化に対応し、生涯にわたって学ぶ意欲】



【⑩ふるさと亀岡を愛する心】

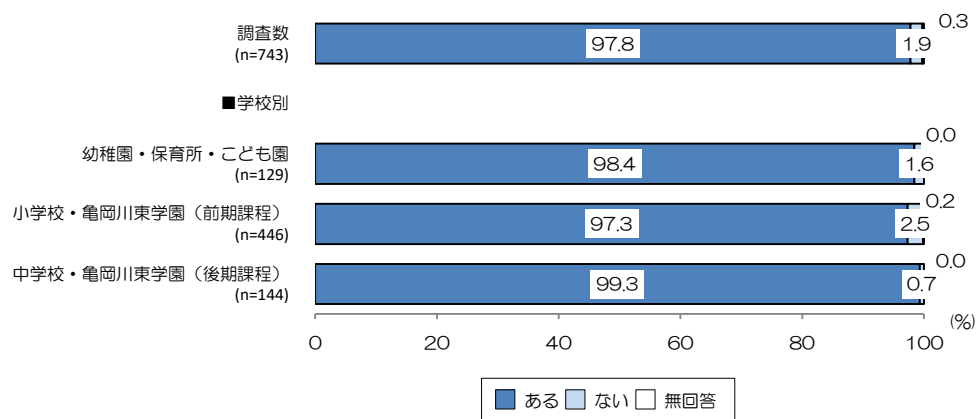


【⑪インターネットや携帯電話、スマートフォン等の適切な利用】



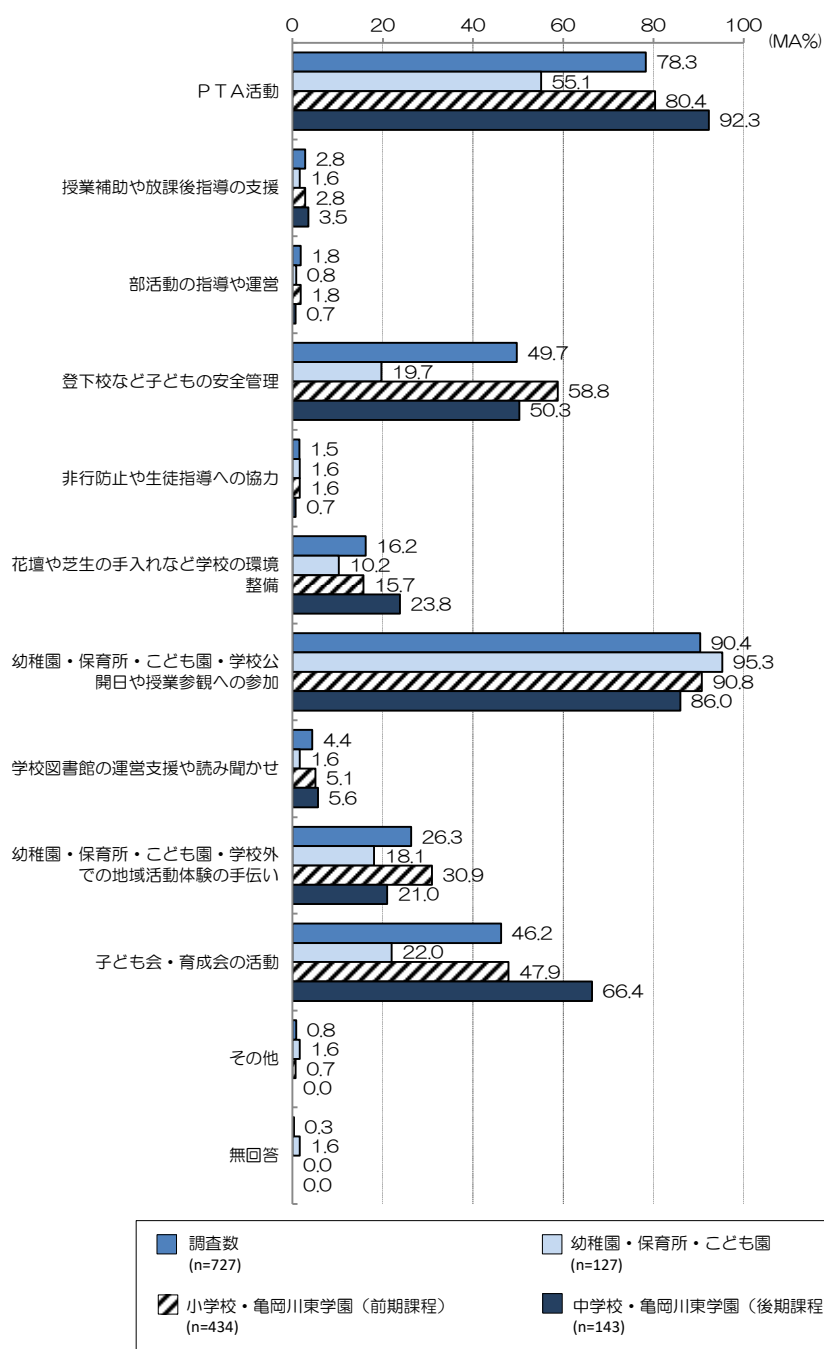
問9 あなたは、今までに幼稚園・保育所・子ども園・学校の行事や活動に参加したことはありますか。当てはまる番号を1つ選んで「○」を付けてください。

全体では、97.8%が「ある」と回答している。学校別にみても、傾向に大きな差は見られない。



問9-1 問9で「1. ある」と答えた方にお聞きします。あなたは今までどのような行事や活動に参加されましたか。当てはまる番号すべてに「○」を付けてください。

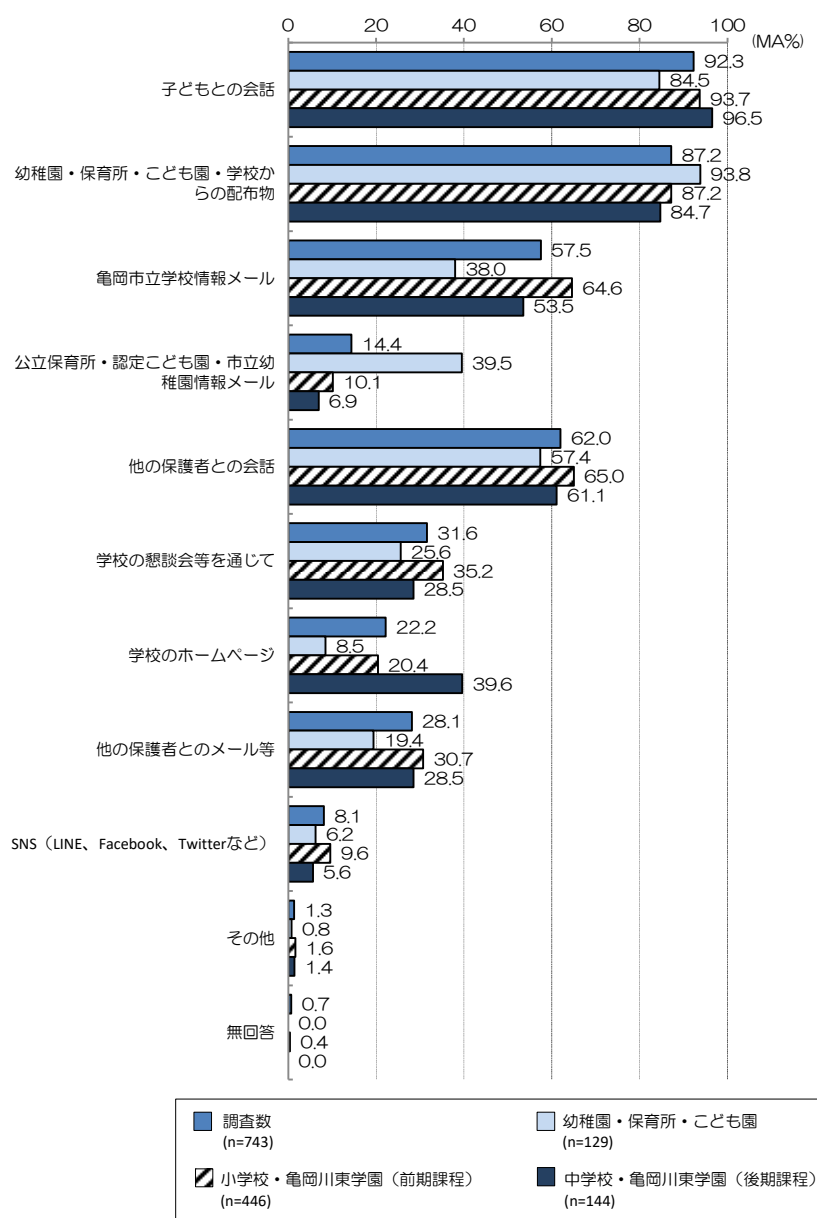
全体では、「幼稚園・保育所・こども園・学校公開日や授業参観への参加」が90.4%で最も多く、次いで「PTA 活動」が78.3%となっており、この2つについては回答者全体の8割以上が参加した経験がある。次いで、「登下校など子どもの安全管理」が49.7%、「子ども会・育成会の活動」が46.2%と続いている。



問 10 あなたは、お子様の幼稚園・保育所・こども園・学校の情報をどのように得ていますか。当てはまる番号すべてに「○」を付けてください。

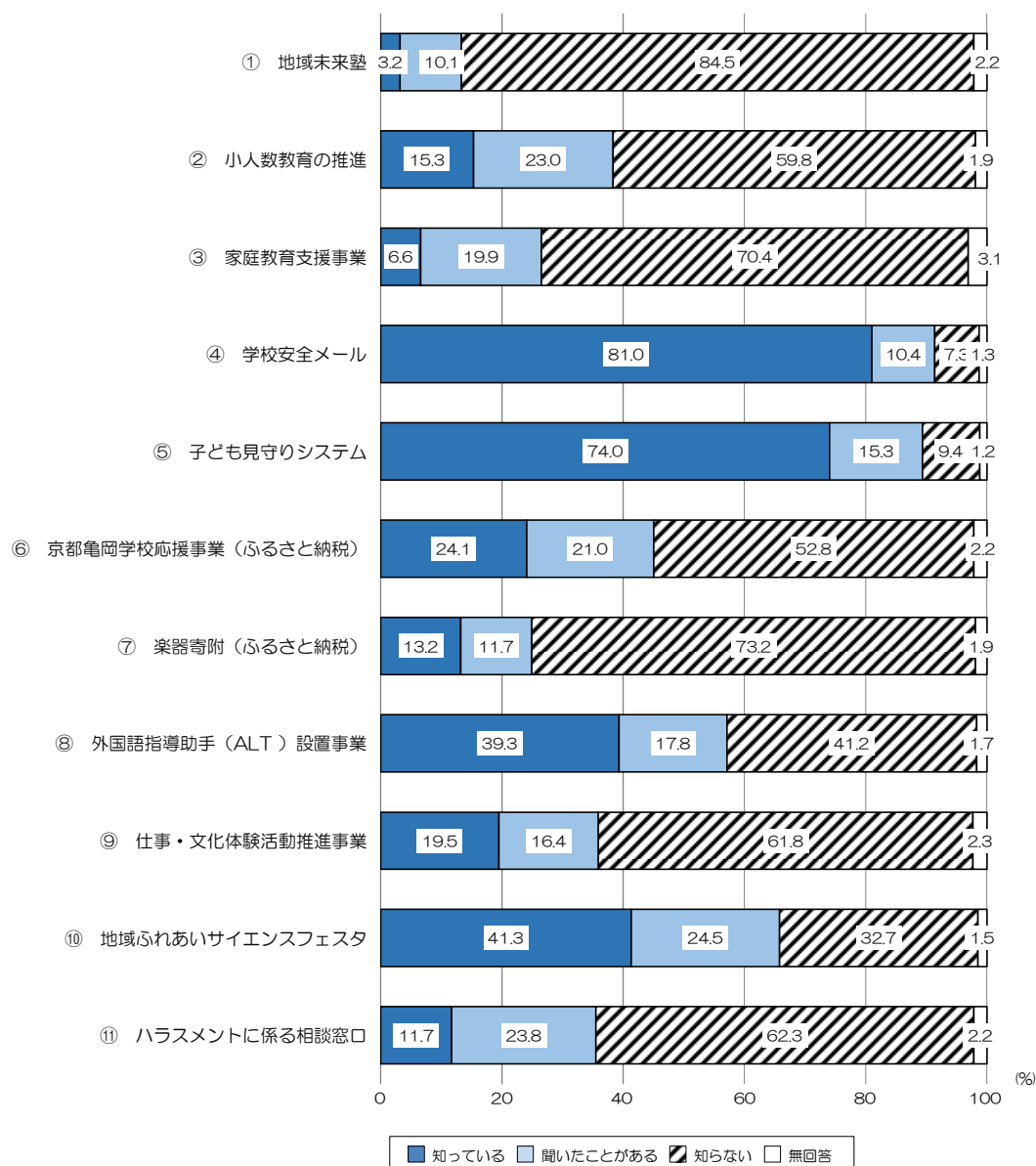
全体では、「子どもとの対話」が92.3%と最も高く、「自幼稚園・保育所・こども園・学校からの配布物」が87.2%と続いている。次いで、「他の保護者との会話」(62.0%)、「亀岡市立学校情報メール」(57.5%)となっている。

学校別にみると、幼稚園・保育所・子ども園では39.5%が「公立保育所・認定こども園・市立幼稚園情報メール」から情報を得ていると回答している。また、中学校・亀岡東学園（後期課程）では、39.6%が「学校のホームページ」から情報を得ていると回答している。

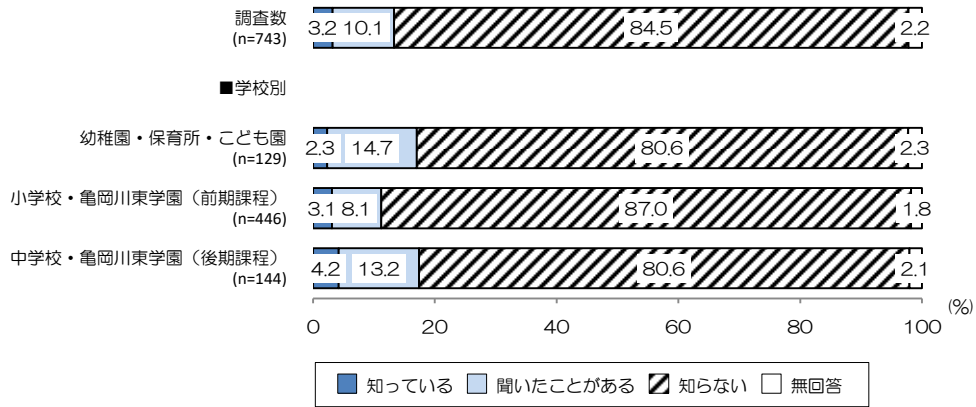


問 11 あなたは、亀岡市教育委員会が行っている、次の取り組みをご存じですか。当てはまる番号をそれぞれ1つ選んで「○」を付けてください。

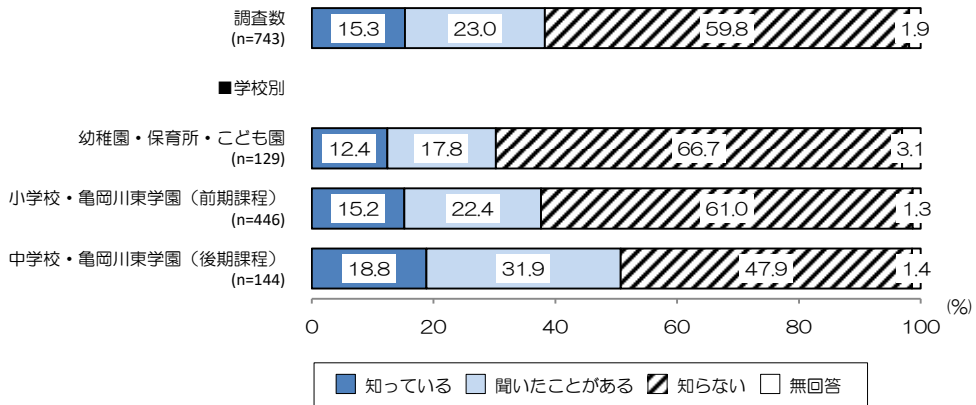
全体では、「知っている」の割合が高い項目は、「学校安全メール」(81.0%)、「子ども見守りシステム」(74.0%)であった。一方で「知らない」の割合が高い項目は、「地域未来塾」(84.5%)、「楽器寄付(ふるさと納税)」(73.2%)、「家庭教育支援事業」(70.4%)となっている。



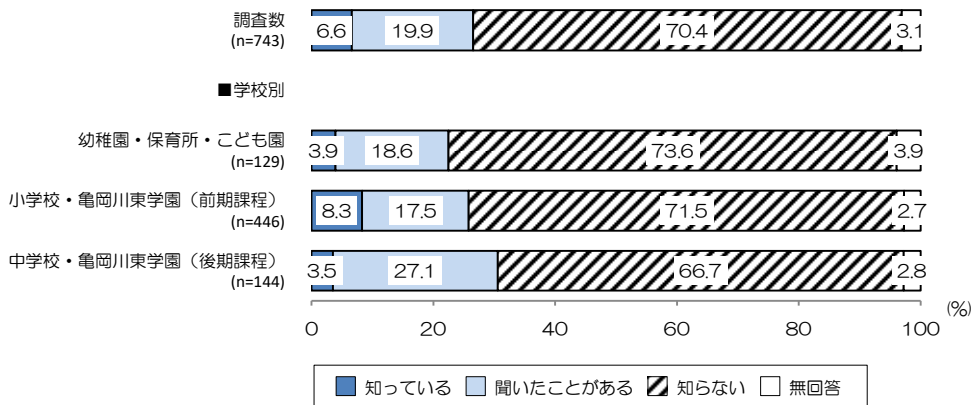
【①地域未来塾】



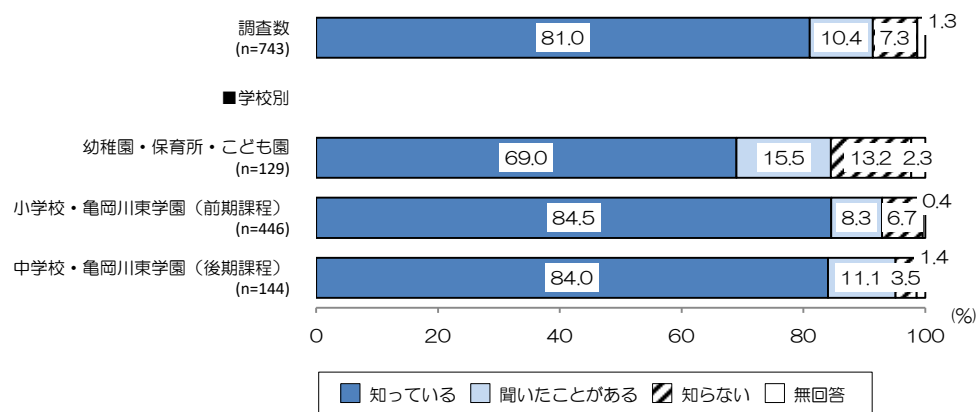
【②小人数教育の推進】



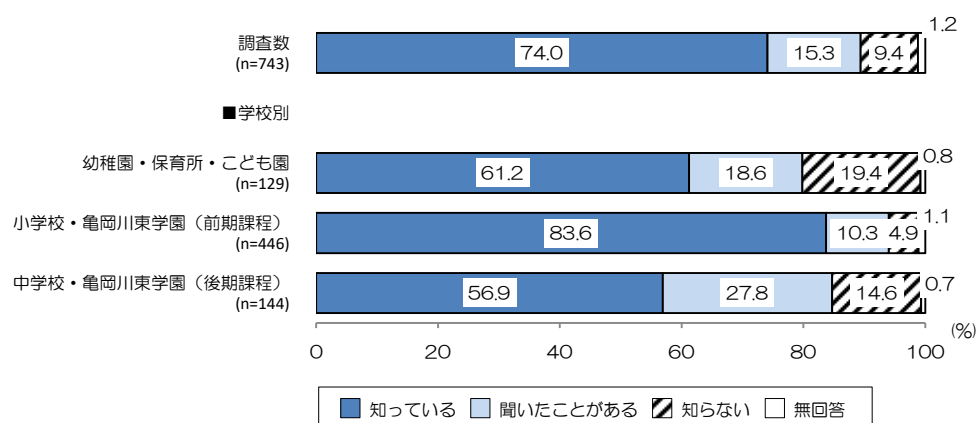
【③家庭教育支援事業】



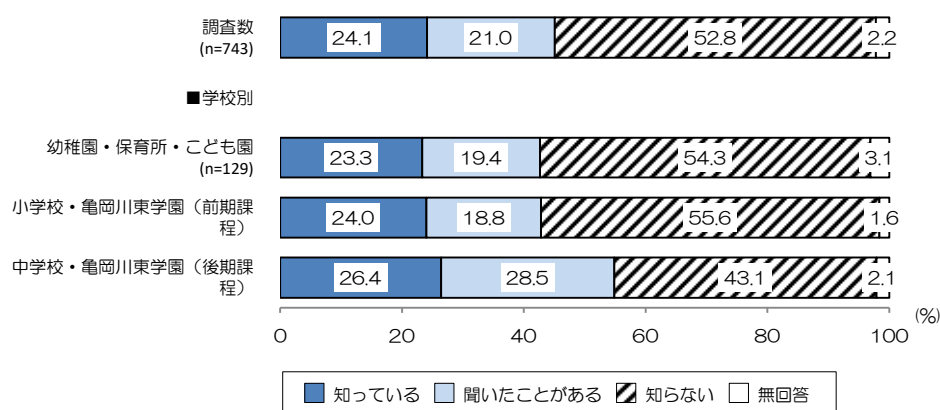
【④学校安全メール】



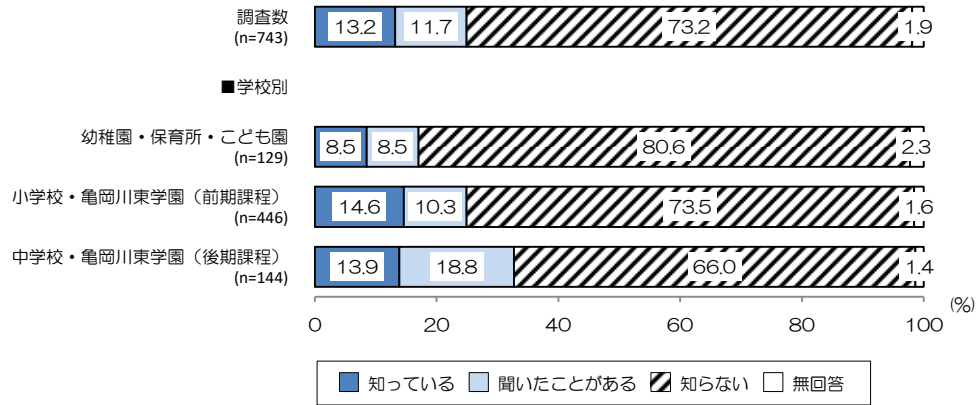
【⑤子ども見守りシステム】



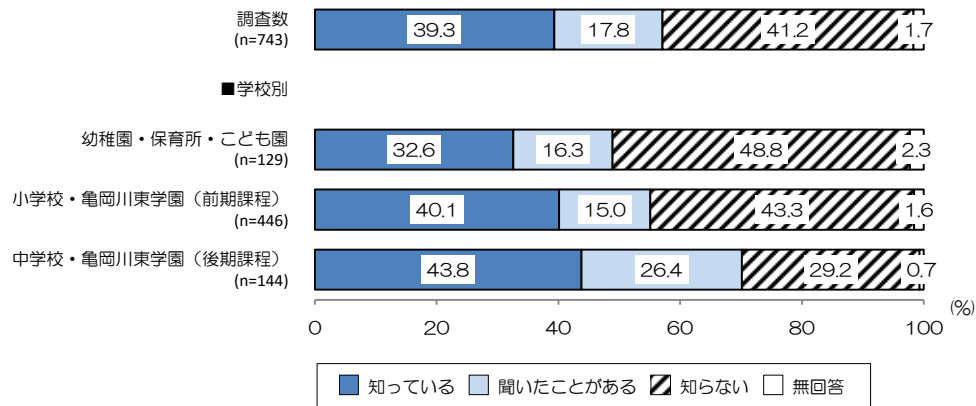
【⑥京都亀岡学校応援事業（ふるさと納税）】



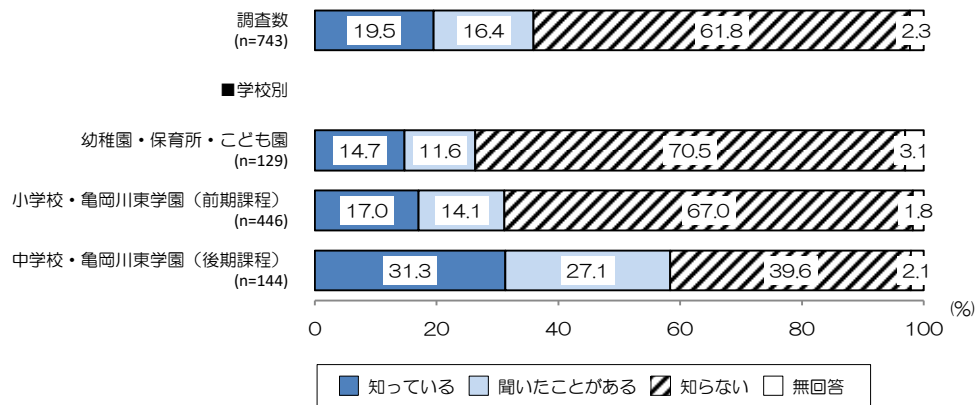
【⑦楽器寄附（ふるさと納税）】



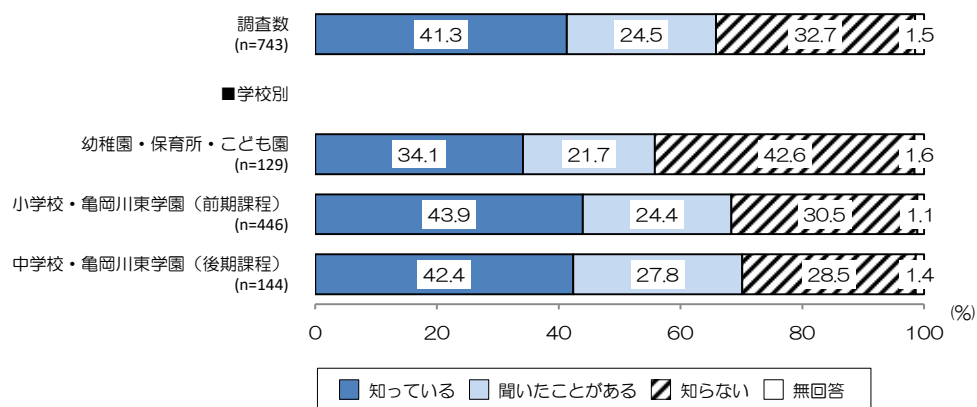
【⑧外国語指導助手（ALT）設置事業】



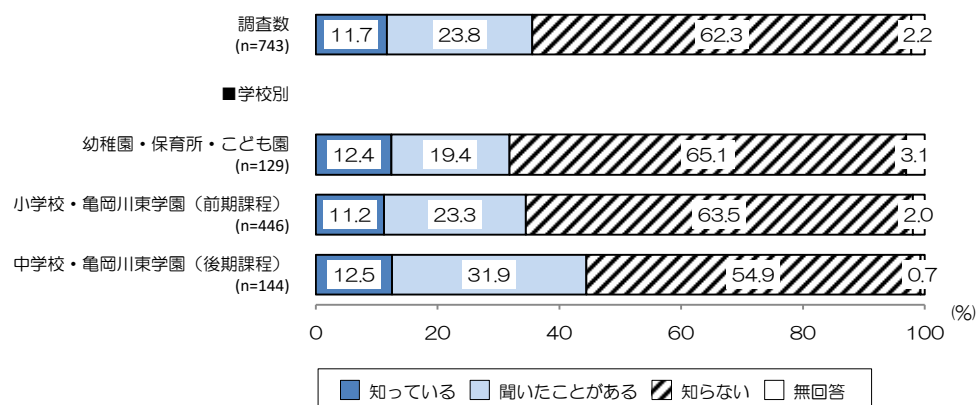
【⑨仕事・文化体験活動推進事業】



【⑩地域ふれあいサイエンスフェスタ】



【⑪ハラスメントに係る相談窓口】

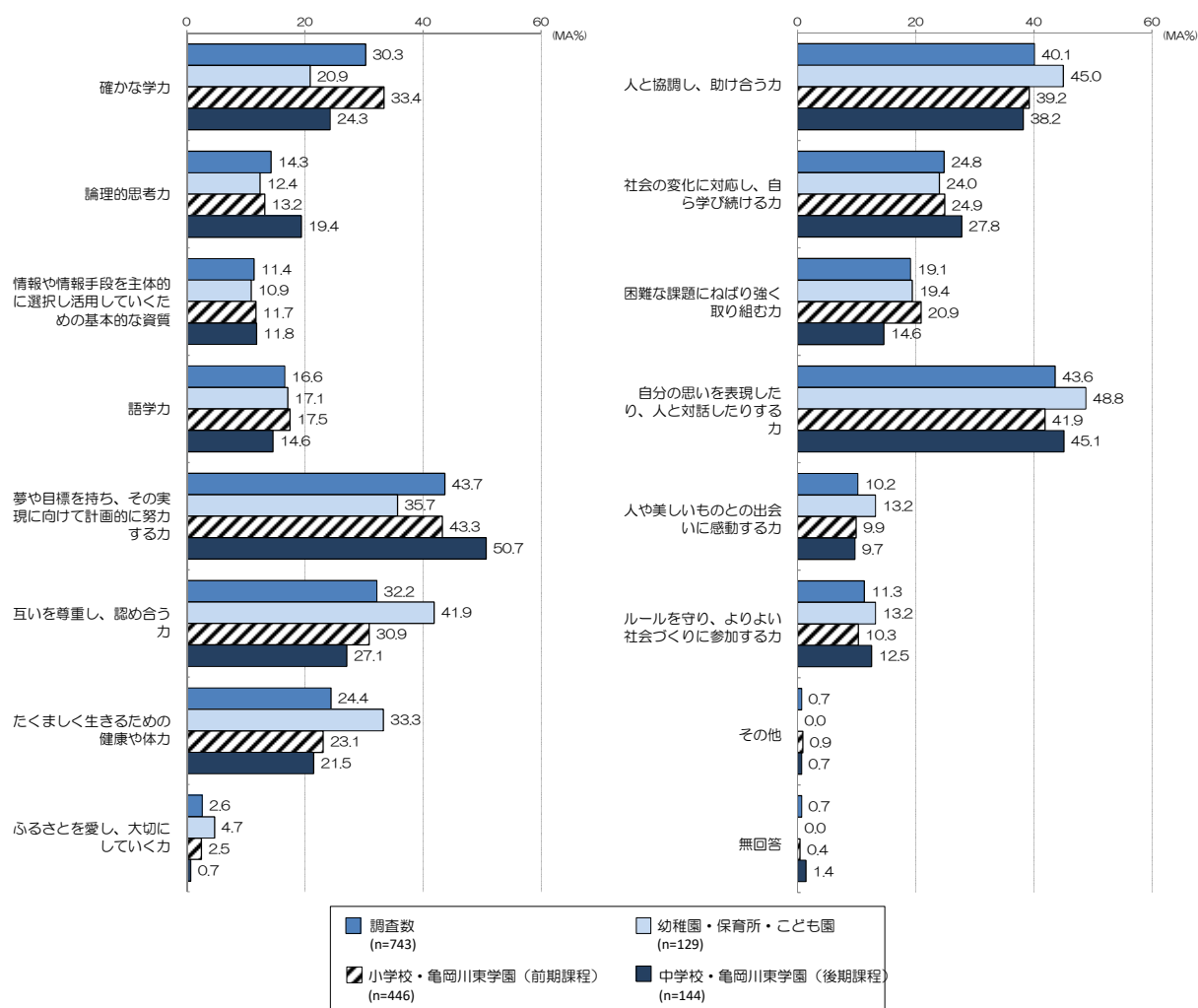


3. これからの亀岡市の教育のあり方について

問 12 子どもたちに、特にどのような力を身に付けてほしいと思われますか。
あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に「〇」を付けてください。

全体では、「夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する力」が43.7%、「自分の思いを表現したり、人と対話したりする力」が43.6%で、この2項目の割合が最も高くなっている。

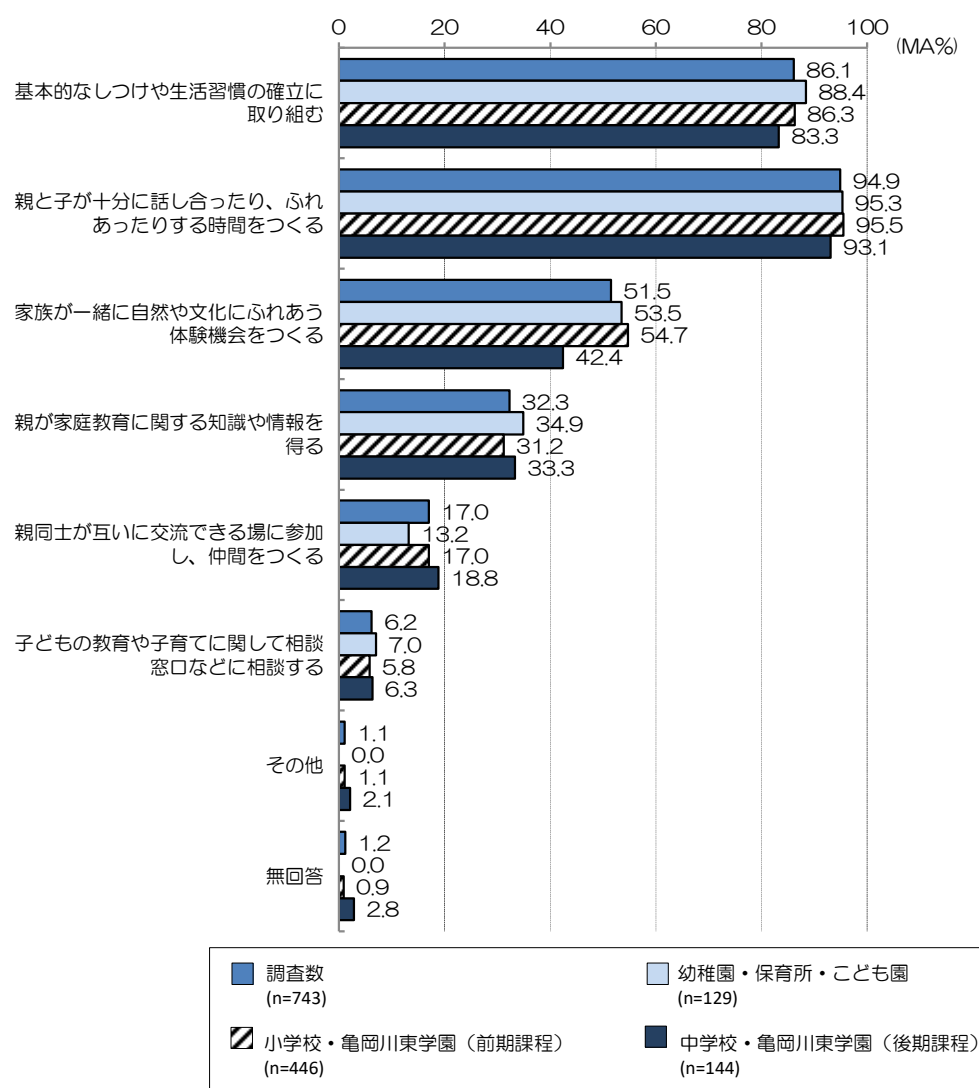
学校別にみると、上記の項目に加えて、幼稚園・保育所・子ども園では、「人と協議し、助け合う力」(45.0%)の割合が高くなっている。小学校・亀岡東学園(前期課程)では、幼稚園・保育所・子ども園と同様の2項目に加え、「確かな学力」(33.4%)の割合も高くなっている。



問 13 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に「○」を付けてください。

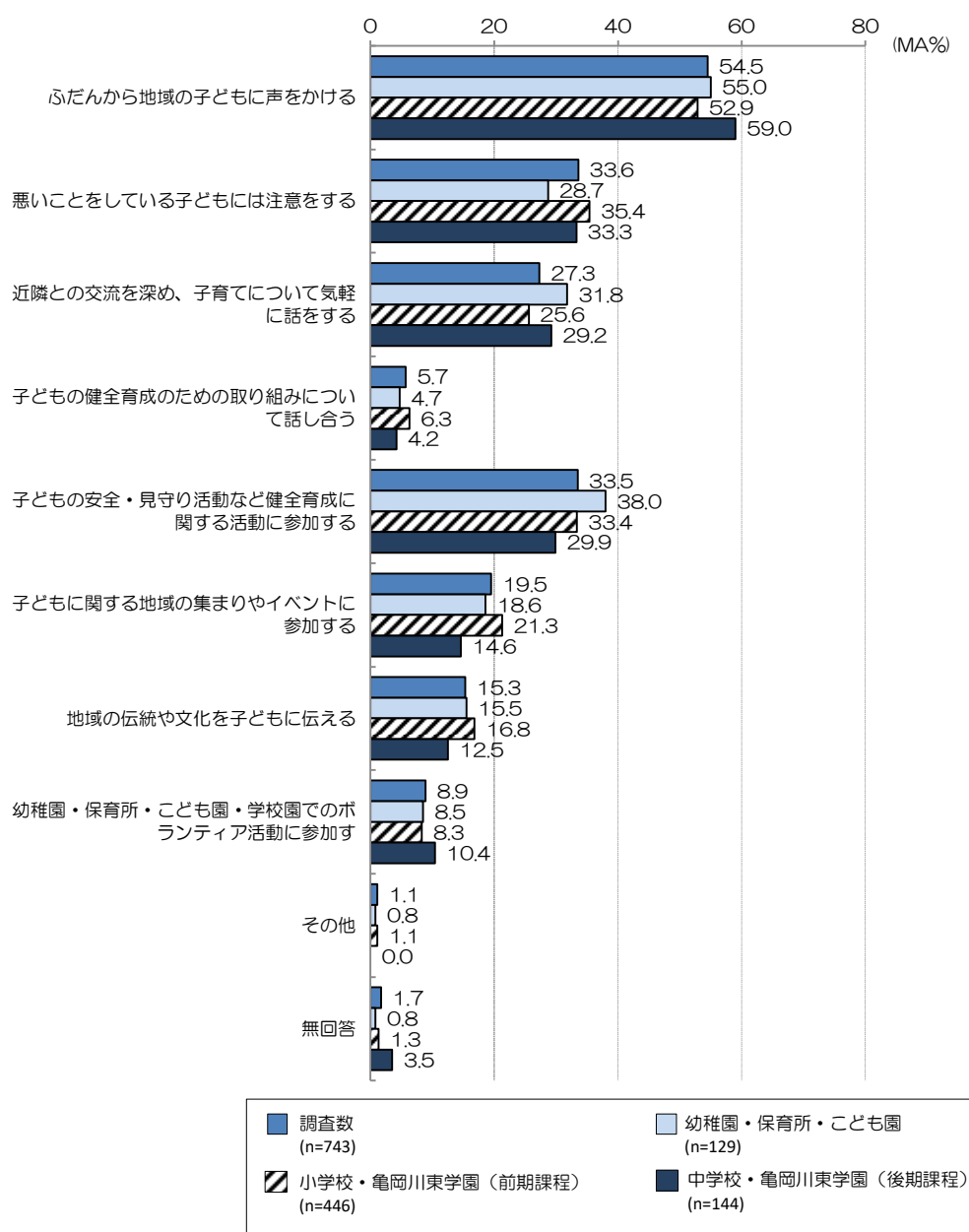
全体では、「親と子が十分に話し合ったり、ふれあったりする時間をつくる」が94.9%で最も高く、次いで「基本的なしつけや生活習慣の確立に取り組む」が86.1%と続いている。

学校別でも、各項目の割合は概ね同程度となっているが、「家族が一緒に自然や文化にふれあう体験機会をつくる」については、全体では51.5%であるが、中学校・亀岡東学園（後期課程）では42.4%に留まっている。



問 14 子どもの健全育成のために、地域住民に期待されることはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。（○は3つまで）

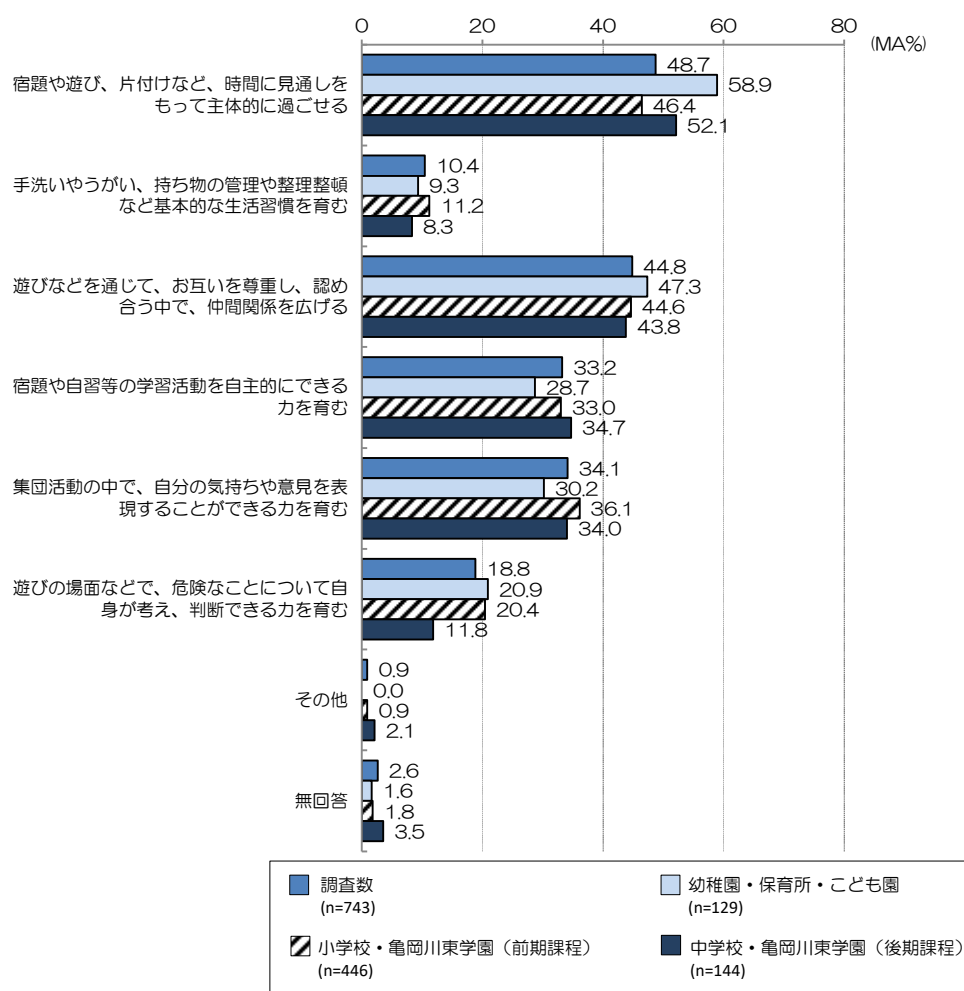
全体では、「ふだんから地域の子どもの声をかける」が 54.5%で最も高く、次いで「悪いことをしている子どもには注意をする」が 33.6%、「子どもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に参加する」が 33.5%となっている。



問 15 放課後児童会における子どもたちへの育成支援として期待されることはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。

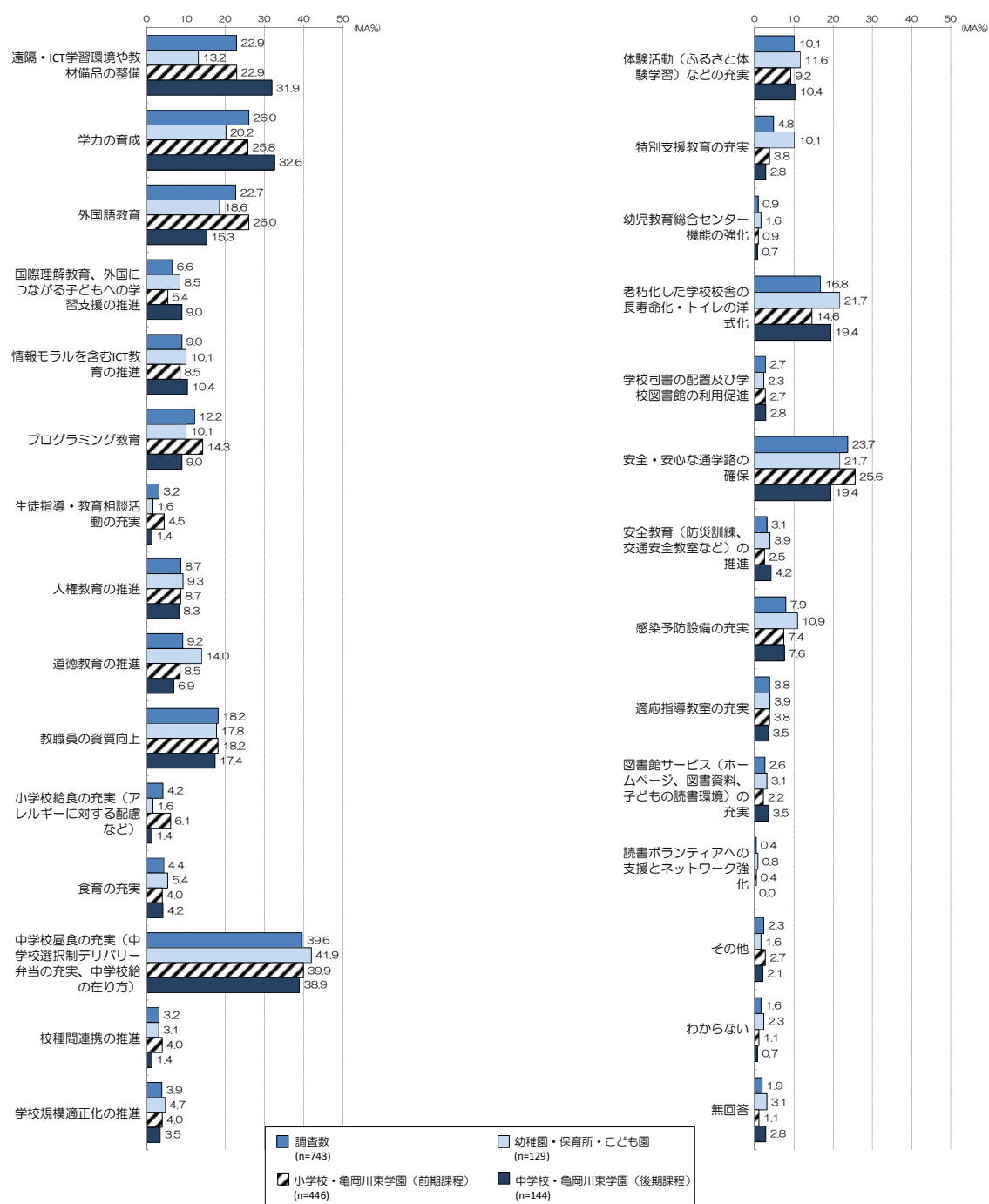
全体では、「宿題や遊び、片付けなど、時間に見通しをもって主体的に過ごせる」が48.7%で最も高く、次いで「遊びなどを通して、お互いを尊重し、認め合う中で、仲間関係を広げる」が44.8%と続いている。

学校別に見ると、幼稚園・保育所・子ども園では、特に「宿題や遊び、片付けなど、時間に見通しをもって主体的に過ごせる」の割合が高くなっている（58.9%）。



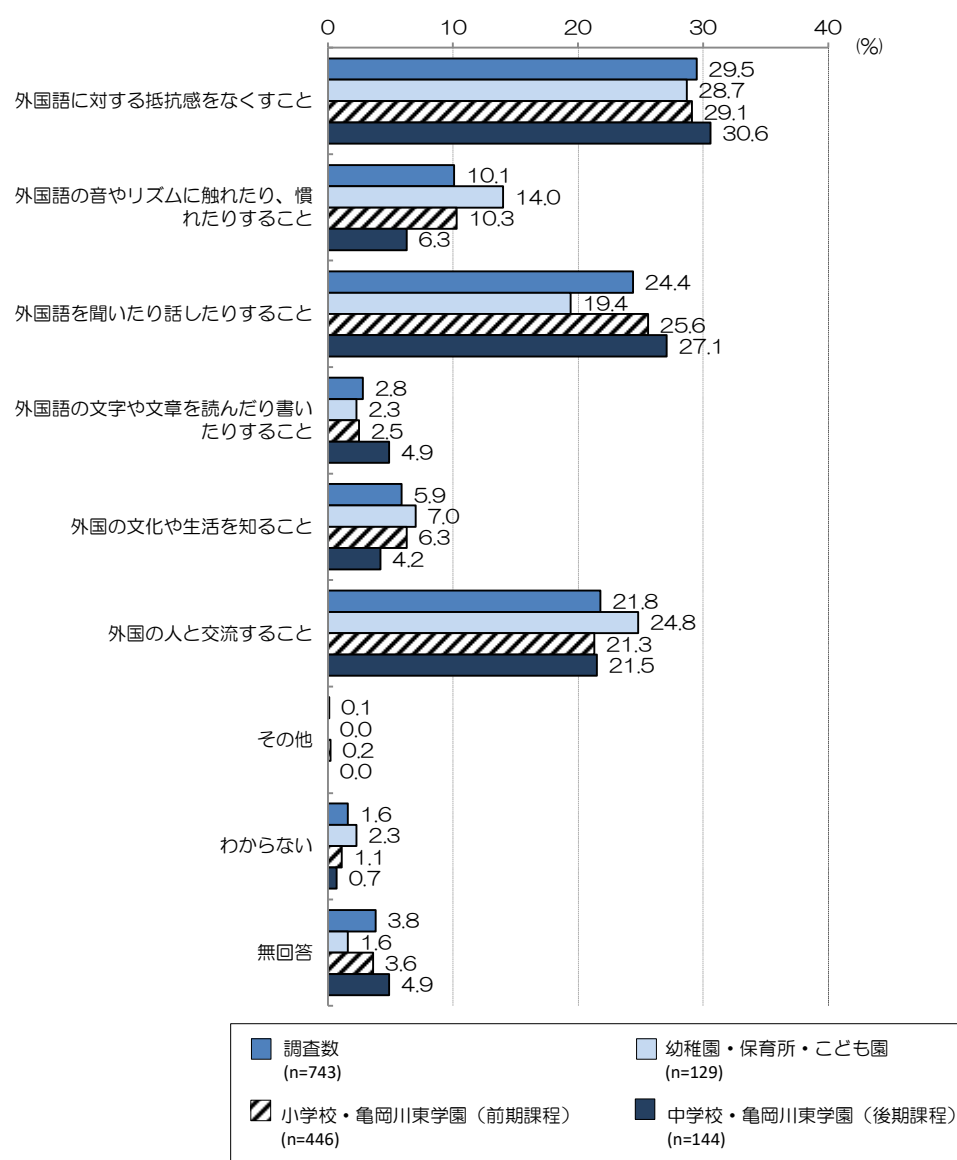
問 16 今後、亀岡市が特に優先して取り組んでいくべき教育施策はどのようなことだと思われますか。当てはまるものを3つ以内で選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「中学校昼食の充実（中学校選択制デリバリー弁当の充実、中学校給の在り方）」の割合が 39.6%で最も高くなっている。次いで、「学力の育成」が 26.0%と続く。その他、「安全・安心な通学路の確保」（23.7%）、「遠隔・ICT 学習環境や教材備品の整備」（22.9%）、「外国語教育」（22.7%）の割合も高くなっている。



問 17 今後、亀岡市立の学校で行われる外国語教育について、あなたは特にどのようなことを重視されますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

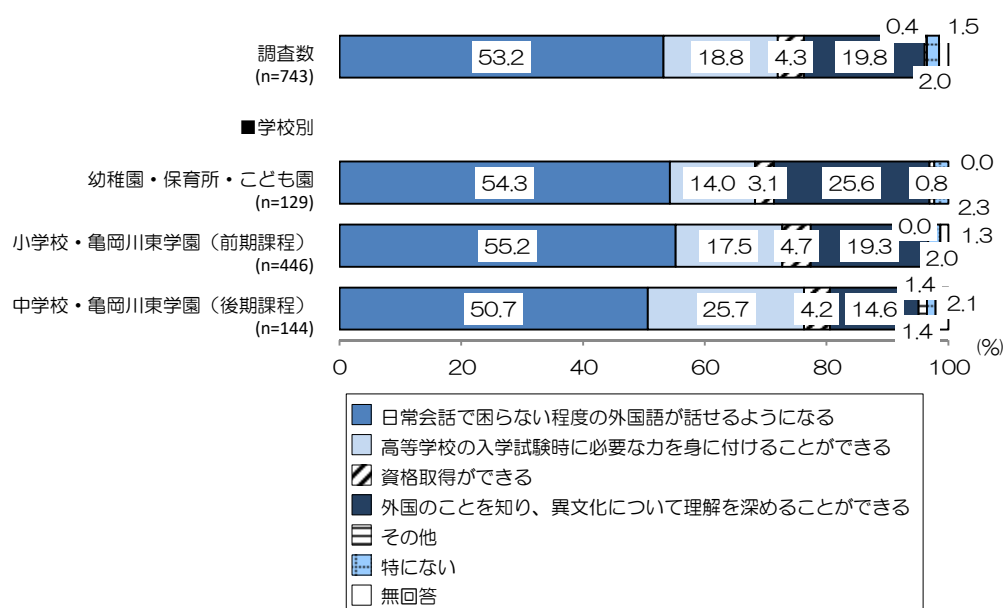
全体では、「外国語に対する抵抗感をなくすこと」が29.5%で最も高く、次いで「外国語を聞いたり話したりすること」が24.4%、「外国の人と交流すること」が21.8%と続いている。



問 18 今後、亀岡市立の学校で行われる外国語教育について、あなたが学習の効果として期待されることはどのようなことですか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

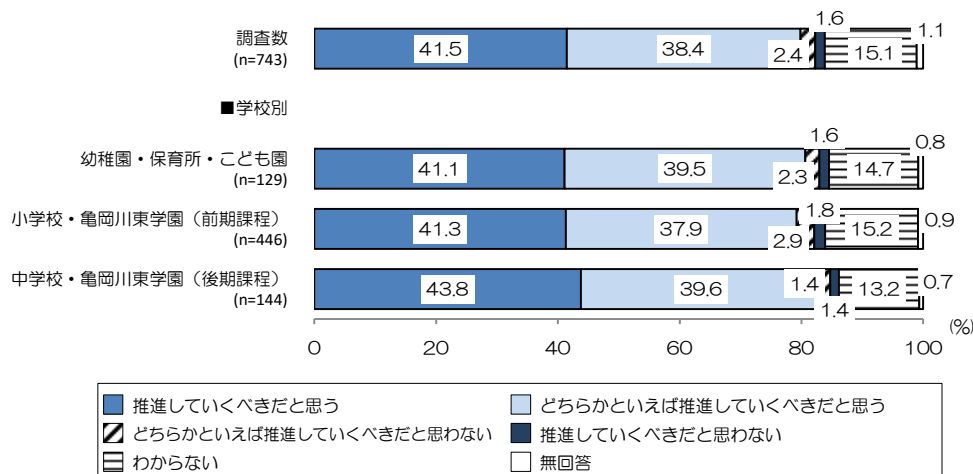
全体では、「日常会話で困らない程度の外国語が話せるようになる」が53.2%で最も高い。

学校別にみると、中学校・亀岡東学園（後期課程）では25.7%が「高等学校の入学試験時に必要な力を身に付けることができる」と回答している。



問 19 今後、亀岡市立の学校で、ICT教育を推進していくことについて、あなたはどのように思われますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

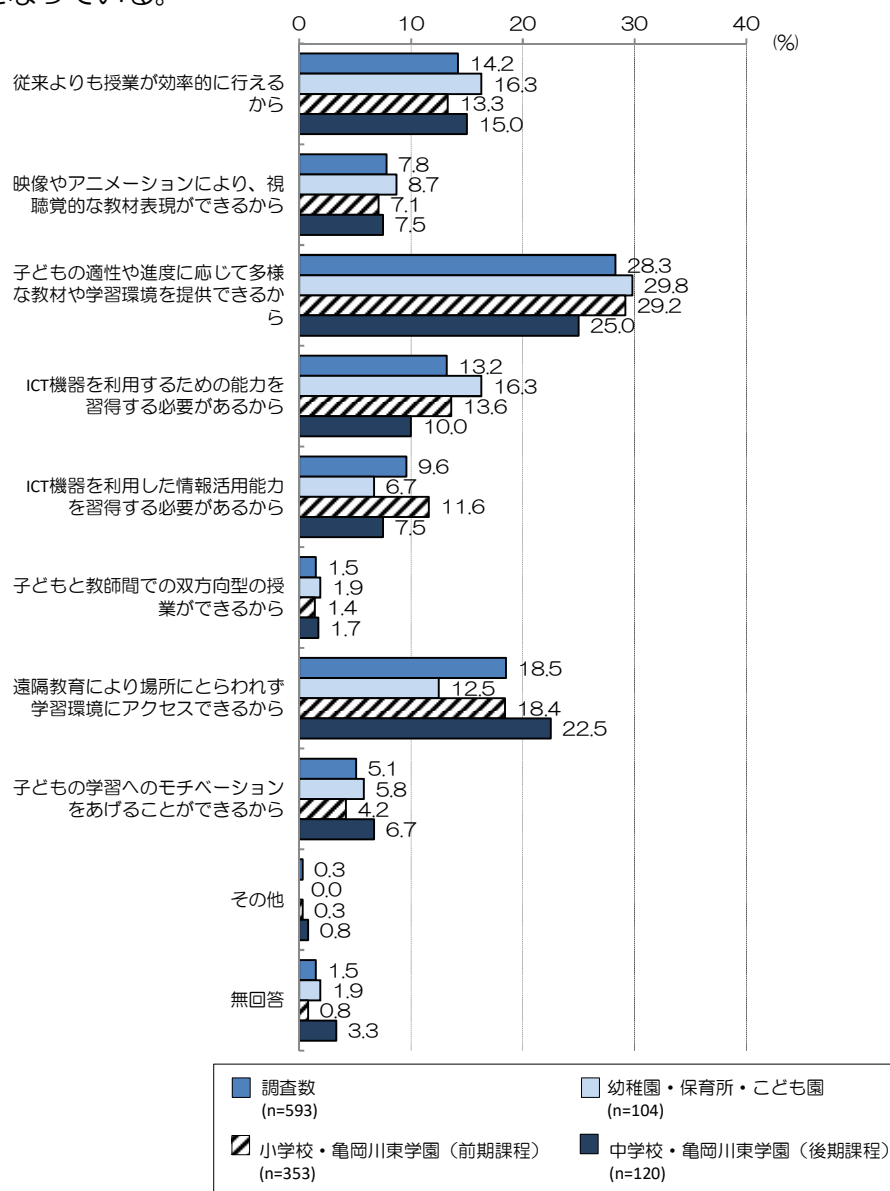
全体では、「推進していくべきだと思う」が41.5%、「どちらかといえば推進していくべきだと思う」が38.4%で、79.9%が“推進していくべき”と回答している。



問 19-1 問 19で「1. 推進していくべきだと思う」「2. どちらかといえば推進していくべきだと思う」と答えた方にお聞きします。そのように思われる理由について、あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「子どもの適性や進度に応じて多様な教材や学習環境を提供できるから」の割合が28.3%で最も高い。次いで、「遠隔教育により場所にとらわれず学習環境にアクセスできるから」が18.5%と続いている。

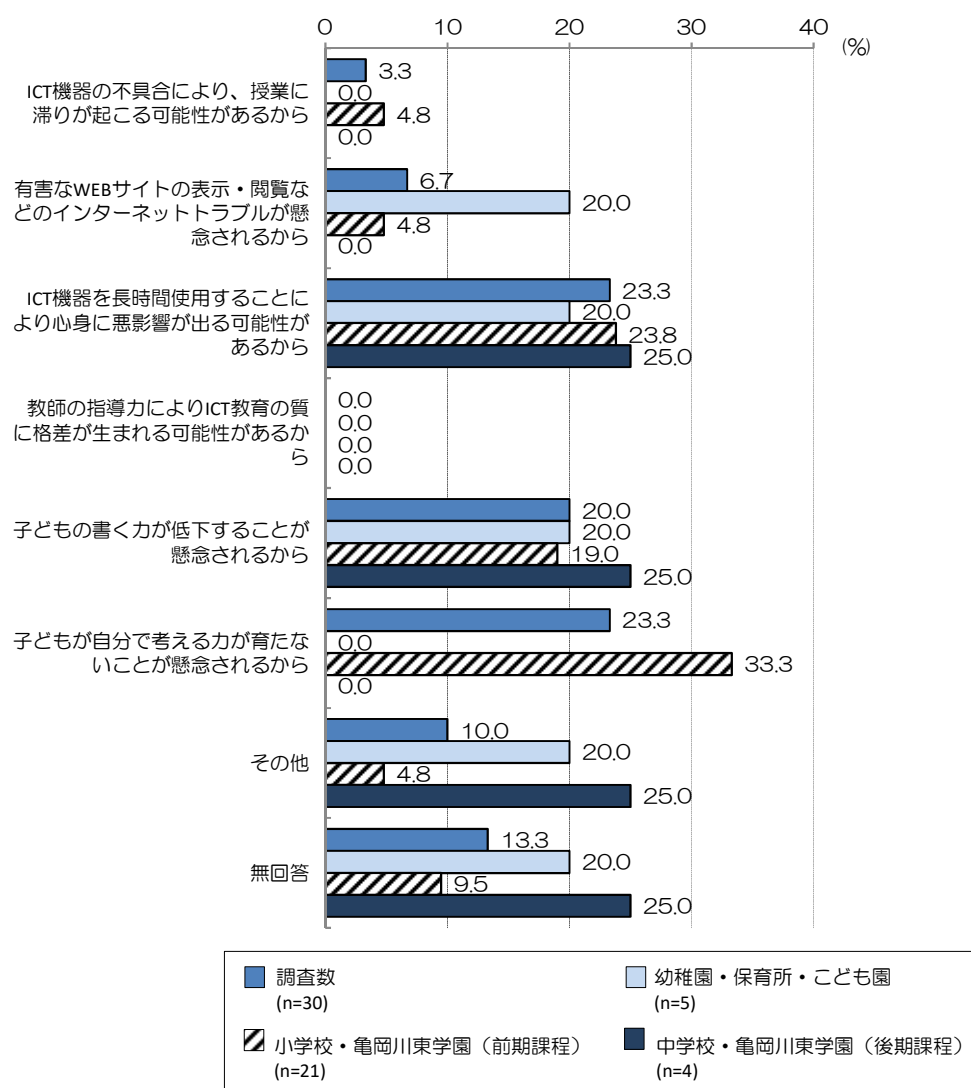
学校別にみると、中学校・亀岡東学園（後期課程）では、「遠隔教育により場所にとらわれず学習環境にアクセスできるから」の割合が22.5%となっており、「子どもの適性や進度に応じて多様な教材や学習環境を提供できるから」（25.0%）と同じくらいの割合となっている。



問 19-2 問 19 で「3. どちらかといえば推進すべきだと思わない」、「4. 推進すべきだと思わない」と答えた方にお聞きします。そのように思われる理由について、あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「ICT 機器を長時間使用することにより心身に悪影響が出る可能性があるから」と「子どもが自分で考える力が育たないことが懸念されるから」がともに 23.3% となっている。

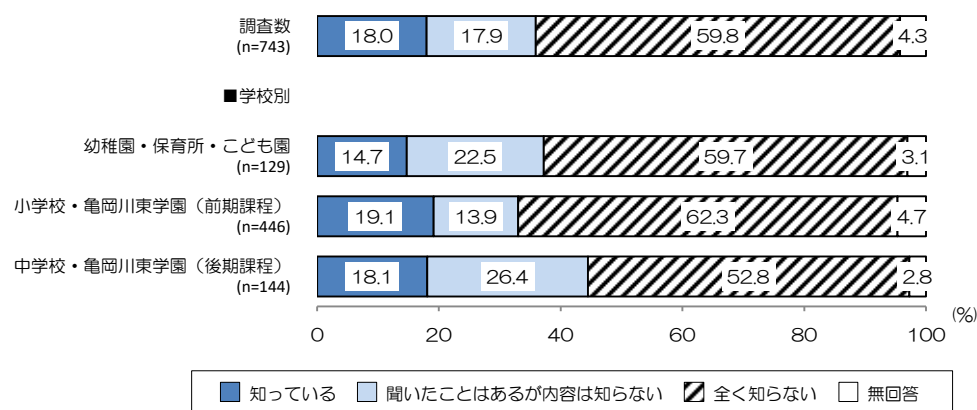
※回答者数が全体で 30 サンプルと少ないため、結果は参考値



4. 持続可能な開発目標（SDGs）について

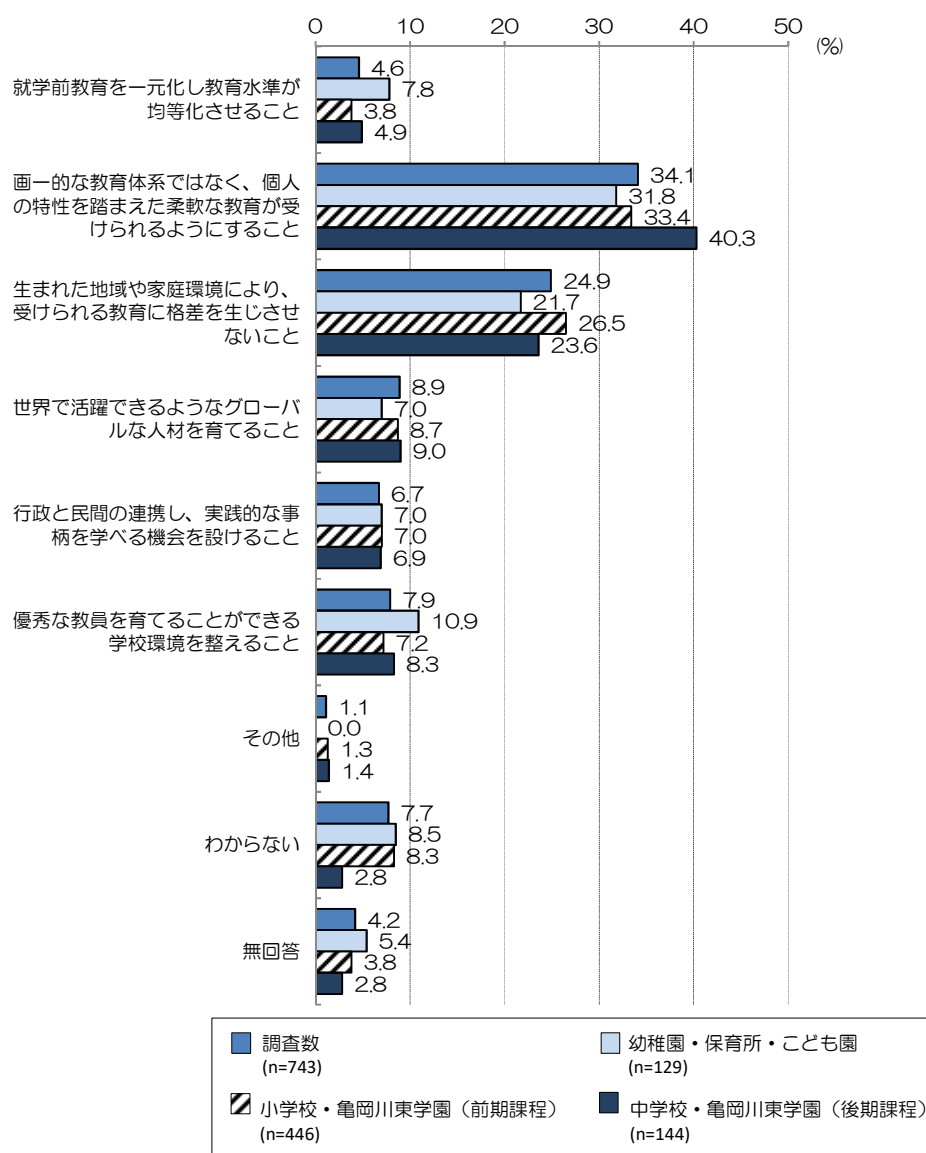
問 20 あなたは「持続可能な開発目標（SDGs）」を知っていますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「知っている」が18.0%、「聞いたことがあるが内容は知らない」が17.9%、全く知らないが」59.8%で、約6割が知らないと回答している。



問 21 「持続可能な開発目標（SDGs）」では、教育に関する目標として、「質の高い教育をみんなに」が掲げられており、一貫した質の高い教育を誰でも平等に受けられることを目指しています。主に学校教育において、今後、教育の質を高めていくうえで、必要と思われることは何ですか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「画一的な教育体系ではなく、個人の特性を踏まえた柔軟な教育が受けられるようにすること」が34.1%で最も高く、多様性に対応した柔軟な教育を行うことが最も必要と考えられている。次いで「生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと」が24.9%と続いている。



最後に、本市の教育について、日頃お気付きの点や今後期待すること等、お感じになっていることがございましたら、ご自由にお書きください。（自由意見）

743 件の回答中、自由意見について記載があったものは 130 件であった。下記に、各意見内容の件数と、主な意見について抜粋し記載する。なお、ひとつの意見の中に複数の内容がある場合があるため、各意見内容の件数の合計は 130 件を超えている。

教育の内容（授業や授業の内容について）	35件
・コロナ禍で学校に行くことが出来ない日々がありました。亀岡市においても早急にICT導入を推進して頂き、学びを止めない仕組みを構築して欲しいと思います。公立でもICTを活用した事例が出てきています。教育がこれから先、大きく変わろうとしている中です。亀岡市の子供達が、その流れに取り残されることがないように、また、子供達の学習の効果を最大化できるよう、宜しくお願いします。ICTは病気でも、不登校でも可能性を広げられる点も評価できると思います。 ・コロナ禍では休校中、一度も遠隔授業が実践されず不安でした。1人1台タブレット配布というのはどうなっているのでしょうか。亀岡はICT教育が遅れていると不安です。 ・コロナ禍において、私立小中学校と勉強に大きな差を感じました。私立では一早く、リモート授業が行われている間、我が子は休校中だったのであせりを感じました。義務教育期間中のこの差に違和感を覚え、不安になりました。亀岡でももしもにそなえて対応して頂きたいですね。 ・外国語学習については高いレベルの希望を言えば、義務教育の間に日常会話で困らない程度に話せることが良いが、難しければせめて受験対応ができるくらいの学力は欲しいと思う。 ・一人一人、発達にもデコボコがあり、個性も違うので、同じ教育方法がよいとは言えないと思う。そのあたりも見えて一人ずつに合った教育を受けられるようにできるとよいと思う。	
学校関連の制度や市の施策について（学区編成・規模適正化・小規模認定制度など）	20件
・高校受験について、亀岡の子供達が地元の地域の高校（公立中期）しか受験できないのは不公平だと思います。国際理解やICT教育も大切だとは思いますが、勉強できる環境を京都府全域平等にしてほしいです。 ・育親ブロックの説明会では、小学校をどうしていくか・・・というお話だった。エリア的に園部高校附属中学を含む他の中学校への流入も大いに考えられる中で、育親中学校の人数減少について、お話がなかったのは、中学校は残すという考えなののでしょうか。 ・学校規模適正化だけでなく、小規模でも特色ある学校を認めてほしいです。小学校だけでなく中学校も小規模校で輝いている生徒がいる。大きい学校でしんどさを感じている中学生の特認も認め、少しでも多くの子が毎日学校で仲間と過ごせる喜びを感じられるようになればいいと思う。フリースクールだけでなく公立中学校で受け皿として一人ひとりが認められる小規模校の活用を求める。	

中学校給食について	18件
・中学校給食実現に向けて全力で動いて欲しい。 ・中学校完全給食の実現、京都府下において実現できていない市の方が少ない。共働きが増える現状を踏まえ、保護者負担軽減のためにも早急に実現して欲しい。	
教育環境の均等化について	14件
・コロナで休校になり授業日数が減ったにも関わらず、短縮が週2日になり不安を感じる。他の小学校は7時間授業や水曜日の早帰りを隔週にするなどの対策を取っている学校もあります。学校により全然違うのはいかがでしょうかと思います。 ・同じ亀岡市の小学校で教材に（算数セットの中身等）違いがある事に驚いた。それにより授業の内容等に違いがあるのではと不信に思った。同じ亀岡市でどの範囲まで統一されているのか知りたいと思った（運動会等も内容、日数等も全く異なっていたので）。	
教員の質について	9件
・指導者によって子どもがその教材に興味を持つかどうかが大きく変わる。人間的にも魅力的で、教え方が上手な教員の育成も必要だと思う。今年度はコロナの影響で例年よりかなり学校活動、行事などが減り、取り組みを知る機会も減少してしまい、アンケート結果に反映してしまっているかも知れません。 ・今の先生は、うるさい保護者がいるからかもしれませんが、子供の事について聞いても、あたりさわりのないことしか言ってくれない気がします。昔のように先生の質というか価値（という言い方が悪いかもしれませんが）が、もっと上がるような風になってほしいです。今の子は、先生をバカにしすぎると思うので。各家庭のしつけのせいかもしれませんが・・・。大変な仕事なので、もっと報われるようになればいいなとも思います。	
登下校について	8件
・安全な通学路をもう1度見直してほしい。 ・通学路安全の見直しよろしくお願いします。	
学校外の地域の施設や設備について	7件
・図書館をもっと充実させてほしいです（本の数やサービスを） ・子供が無料で遊べる施設がもっと欲しい（室内で）。←小学生とかが遊べるような。室内アスレチックなど	
教員の負担軽減について	7件
・先生がとても忙しそうなので、もっと、考えてあげて欲しい。先生に時間があると子供にも良いと思う。 ・校務支援員をもっともっと拡充し、教育が雑務に追われるのではなく、教育活動に時間を使えるようにする事。	

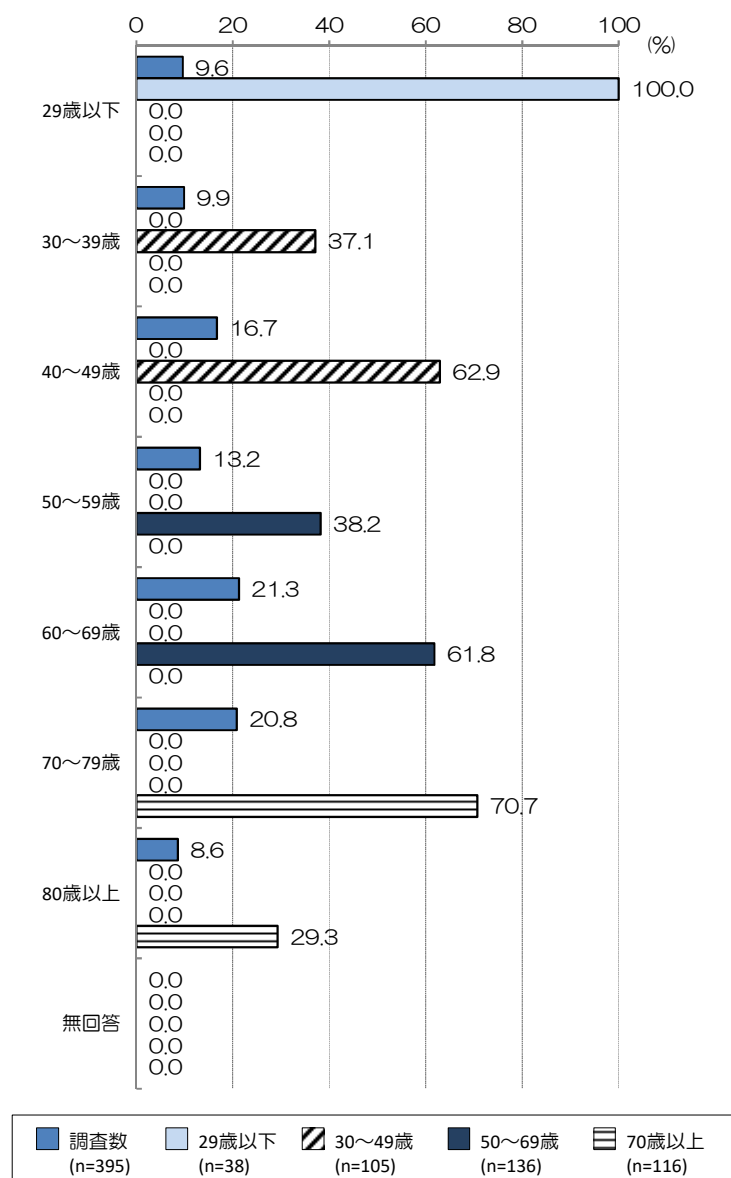
学校の施設・設備について	6件
・学校によって教育設備、教育環境の違いがある事が気になります（特に亀岡川東学園との違い等） ・校舎があまりにも古くトイレも汚く臭いです。今の時代からかなりのかけ離れた冷たい空間で市内では建て替えが進んでいます。子どもたちの勉強に対する意欲を高めるためにも早急に校舎の建て替えをお願いしたいです。	
給食のメニューについて	6件
・学校給食は亀岡市はなかなかの乏しさ。栄養が足りていない。学校給食法に捉われず、もっと予算を回し充実させてほしい。未来の亀岡に背負う子どもたちの充実をおろそかにしている。 ・小学校給食の内容の充実	
教員数について	3件
・子どもの数に対して教員の人員が少なく感じる。中々、自分から発言できない子は担任にも話しかけにくい時もあるので、補佐的な教員も増えて欲しいです。	
PTAなど親の活動について	3件
・PTAについてですが、参加は強制なのか？入学式の日にはクラス委員やら役員の話をしにきて、参加の是非もなく規約についても一切なかった。参加のメリット、デメリットを話し、参加するかどうかを聞くのが普通と思う。	
学童保育について	3件
・放課後児童クラブから帰るとお腹を減らしおやつを食べます。時間内におやつが食べられると夕食にひびかず助かります、	
特別支援学級について	3件
・小学校の支援学級は、まだ、親しみやすい印象だが……。中学以上の支援学級については、不明瞭な印象である。小学生の方が、普通クラスの子供達と交流しやすい……。中学校は、色々と差別や偏見が出てきそう……。もっと中学以上の支援クラスの情報が欲しい。当事者、親や、実際に通う子の話や意見を聞く場がほしい。	
その他のご意見	16件
・今まで災害が少なかったからと言って防災訓練が適当すぎる。有事を想定し、本番さながらの訓練が必要である。 ・お知らせを紙の配布でなく、ホームページからの閲覧やメールなどにして、紙の削減と効率化を図っていただきたい。	

Ⅲ.市民アンケート調査の結果

1. 回答者の属性

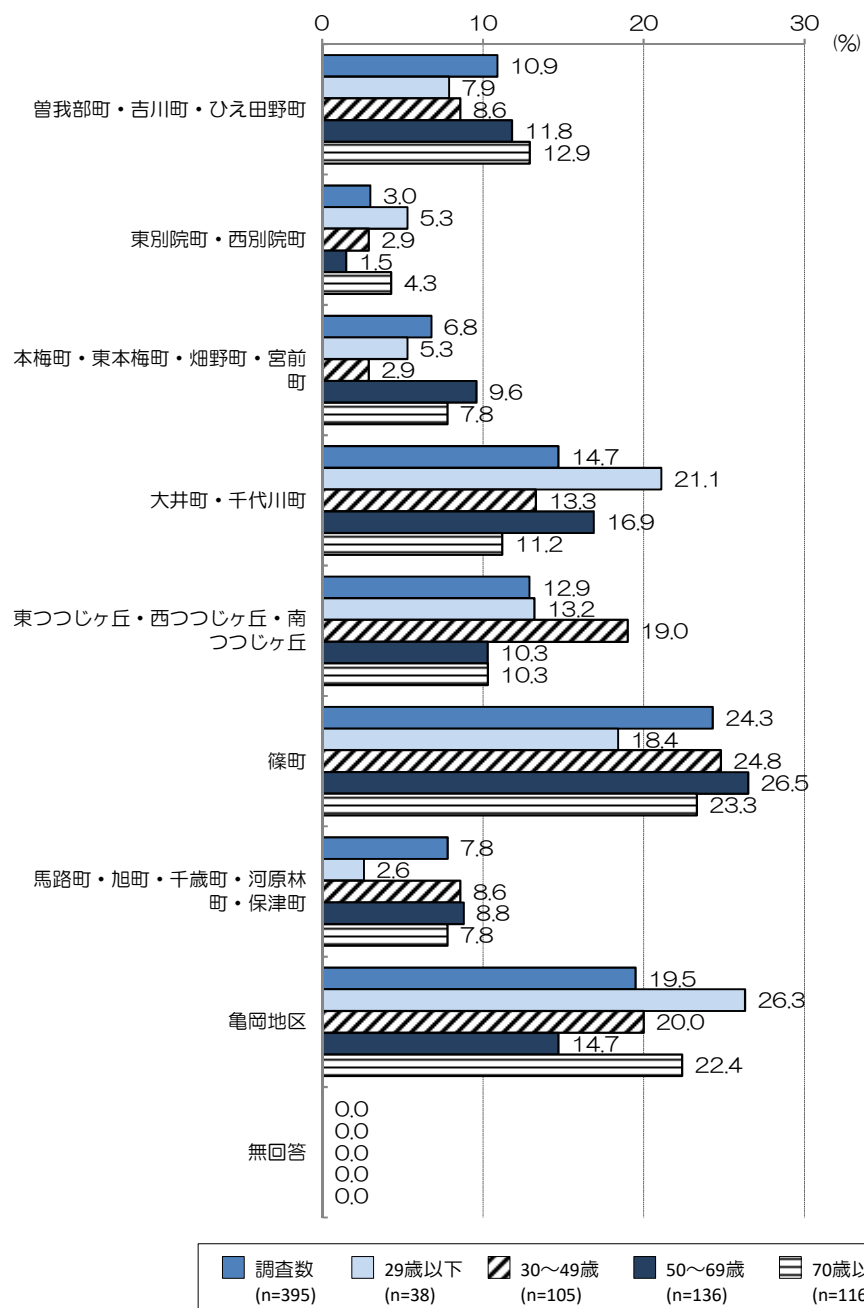
① 年齢

回答者の年齢構成は、「60～69 歳」が 21.3%、次いで「70～79 歳」が 20.8%となっている。以下、「40～59 歳」が 16.7%、「50～59 歳」が 13.2%、「30～39 歳」が 9.9%、「29 歳以下」が 9.6%、「80 歳以上」が 8.6%となっている。



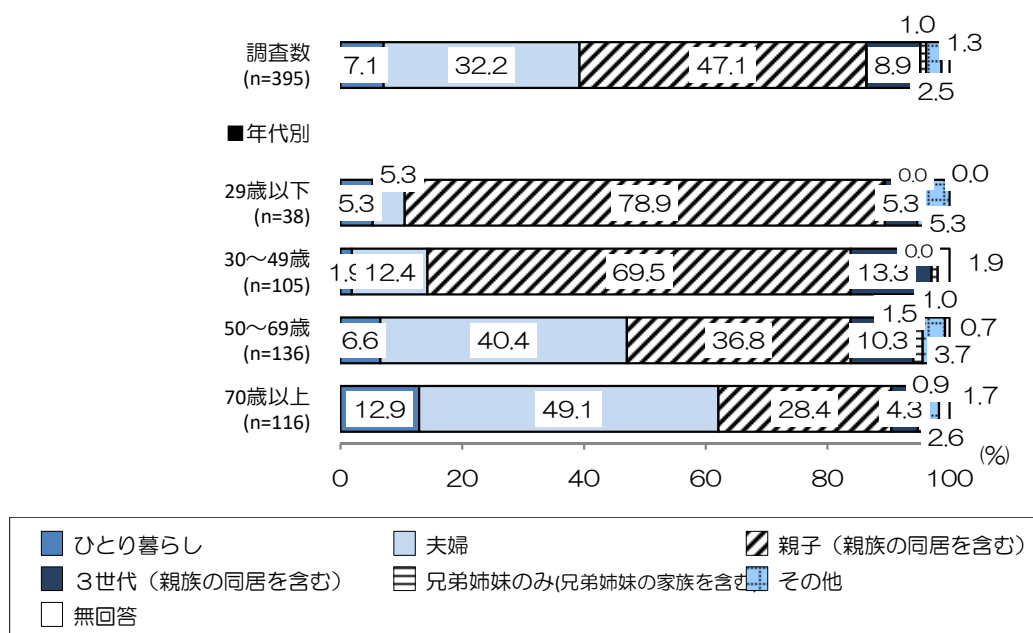
② お住まいの地域

回答者のお住まいの地域は、「篠町」が最も多く 24.3%、次いで「亀岡地区」が 19.5%となっている。



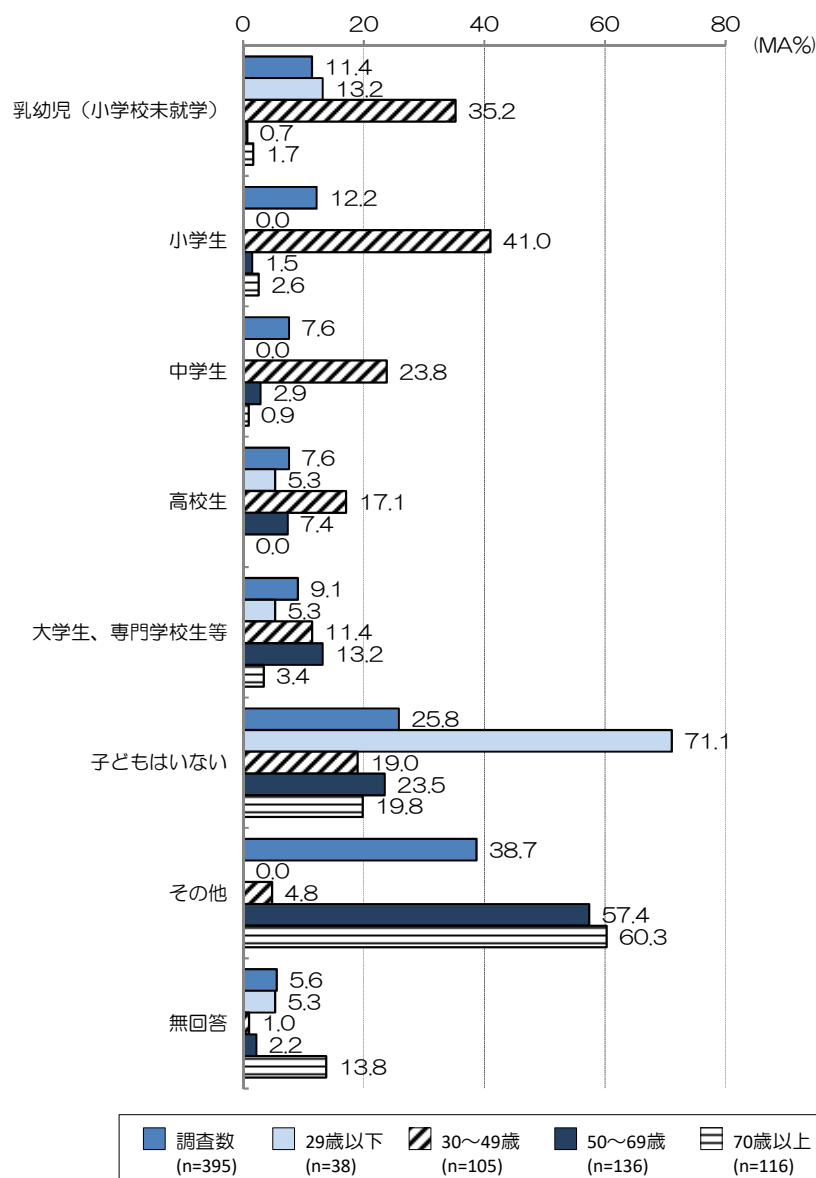
③ 同居のご家族

- ④ 回答者の同居のご家族は、「親子（親族の同居を含む）」が47.1%で最も多く、次いで「夫婦」が32.2%となっている。



⑤ 子どもの年代

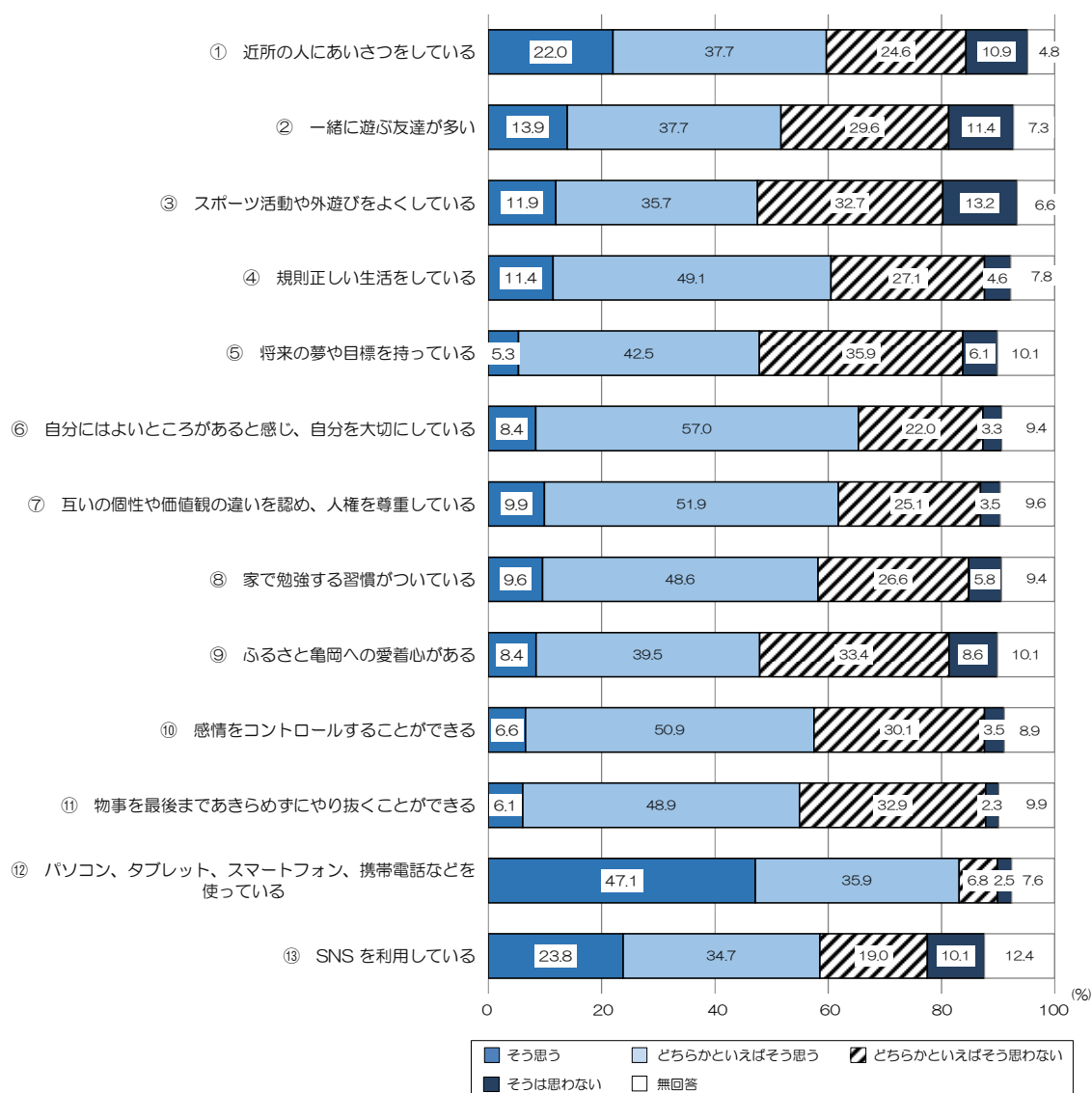
回答者の子どもの年代は、「その他」と「子どもはいない」を除くと、「小学生」が12.2%、「乳幼児（小学校未就学）」が11.4%と続いている。



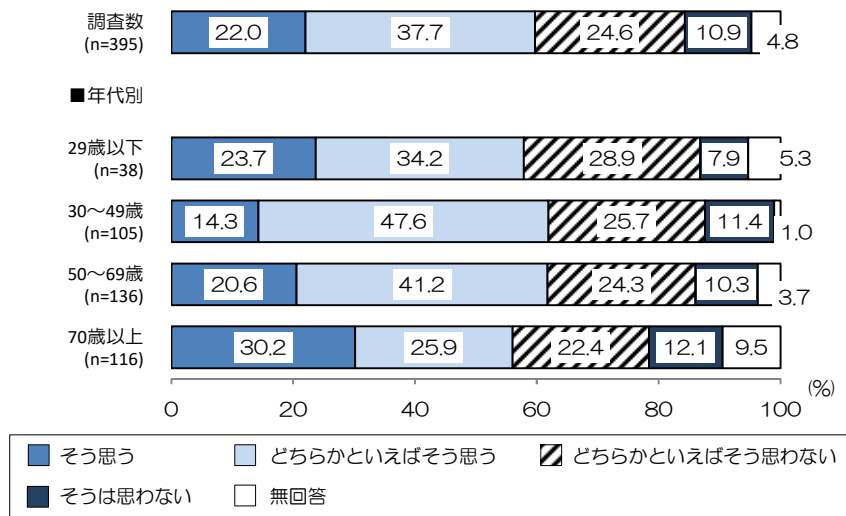
2. 教育を取り巻く現状（環境）について

問5 現在の亀岡市の子どもたちの生活や行動について、どのように感じられますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

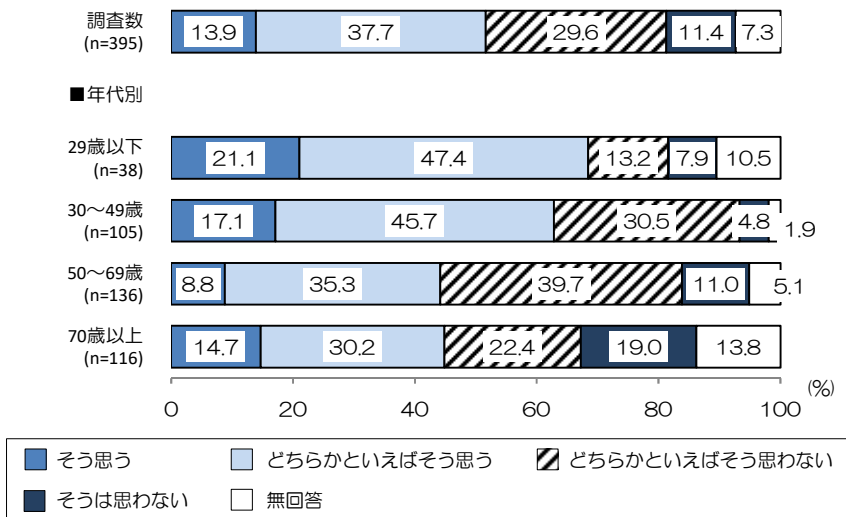
全体で“そう思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）の割合が高いのは、「⑫パソコン、タブレット、スマートフォン、携帯電話などを使っている」（83.0%）、「⑥自分にはよいところがあると信じ、自分を大切にしている」（65.4%）、「⑦互いの個性や価値観の違いを認め、人権を尊重している」（61.8%）といった項目の割合が高くなっている。



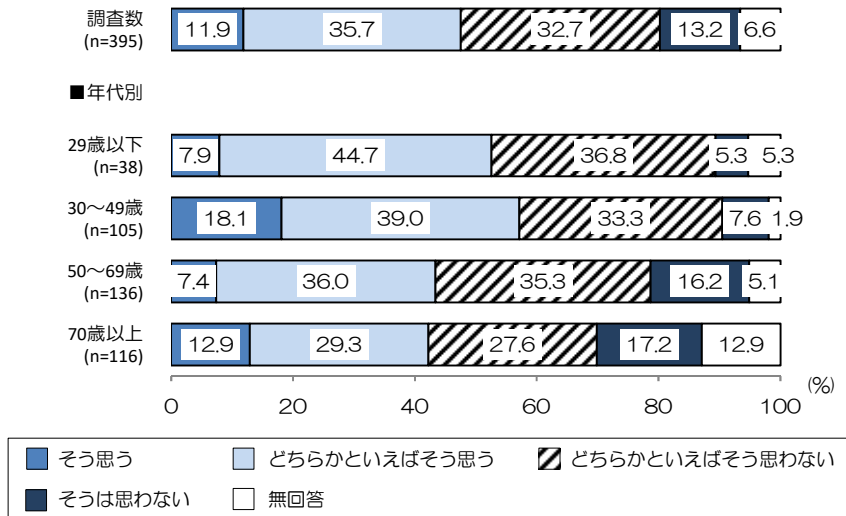
【①近所の人にあいさつをしている】



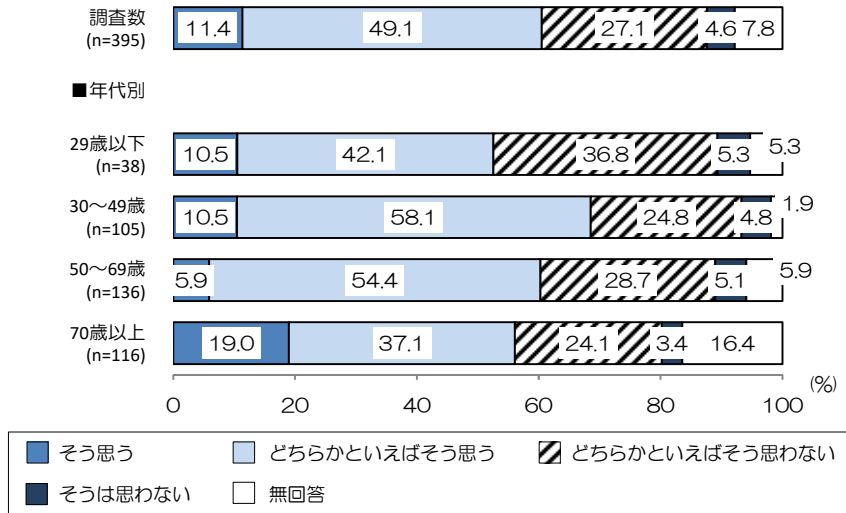
【②一緒に遊ぶ友達が多い】



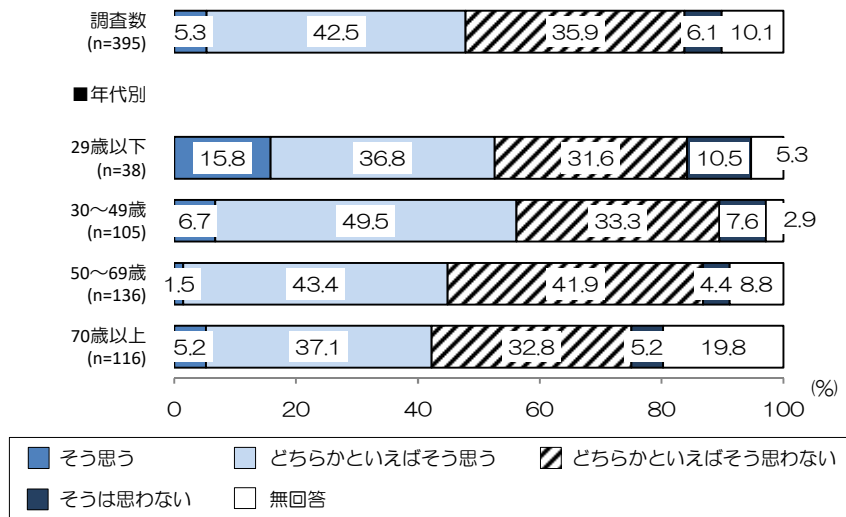
【③スポーツ活動や外遊びをよくしている】



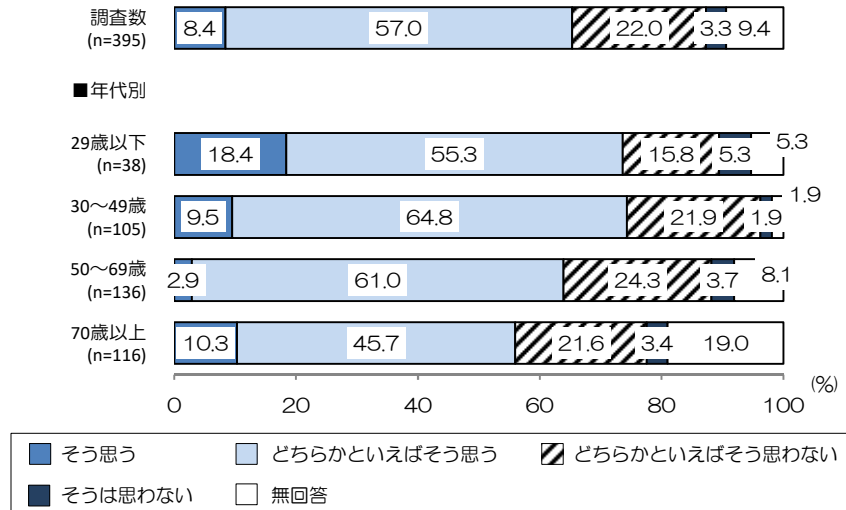
【④規則正しい生活をしている】



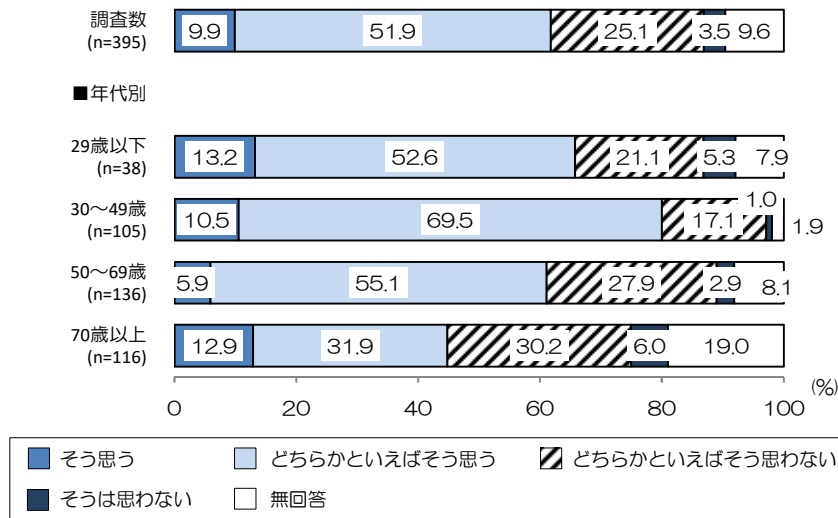
【⑤将来の夢や目標を持っている】



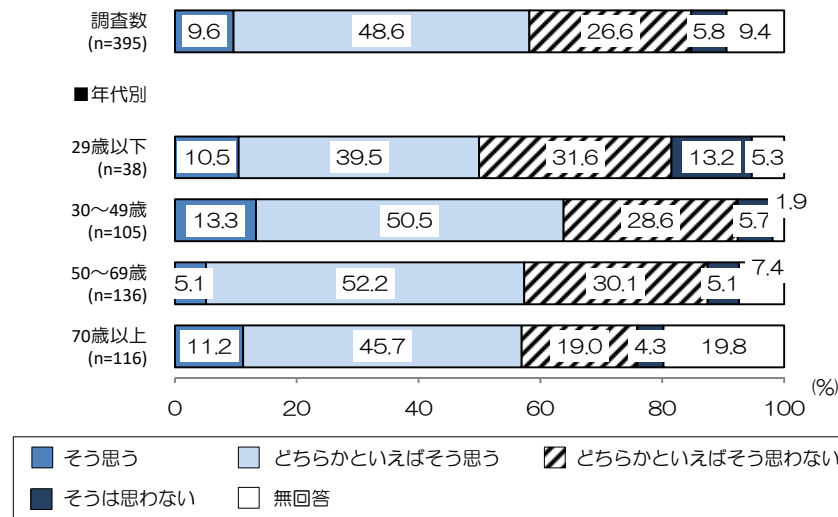
【⑥自分にはよいところがあると感じ、自分を大切にしている】



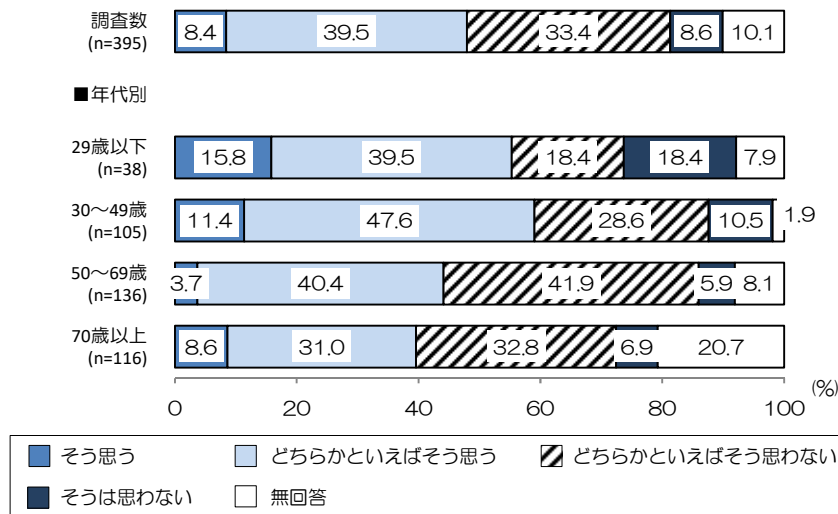
【⑦互いの個性や価値観の違いを認め、人権を尊重している】



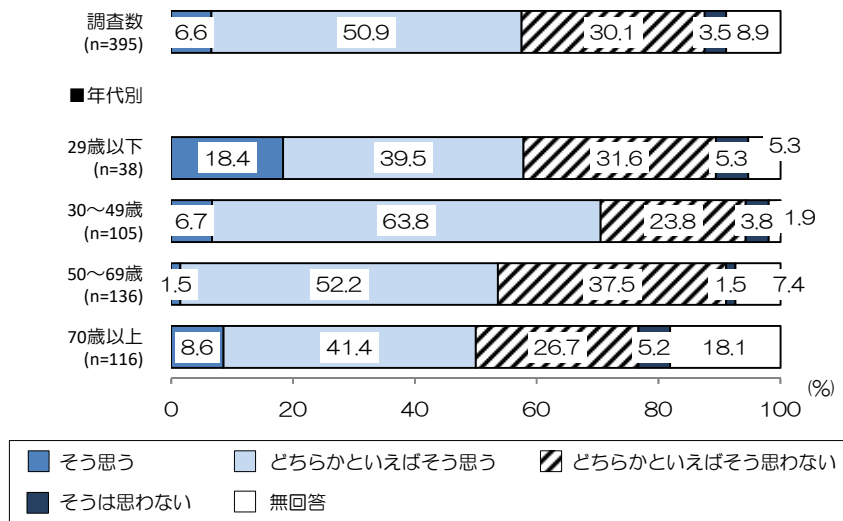
【⑧家で勉強する習慣がついている】



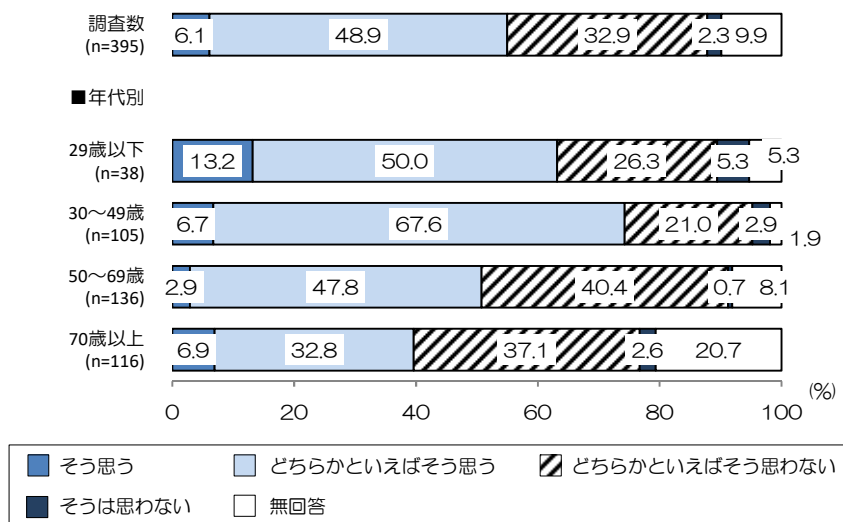
【⑨ふるさと亀岡への愛着心がある】



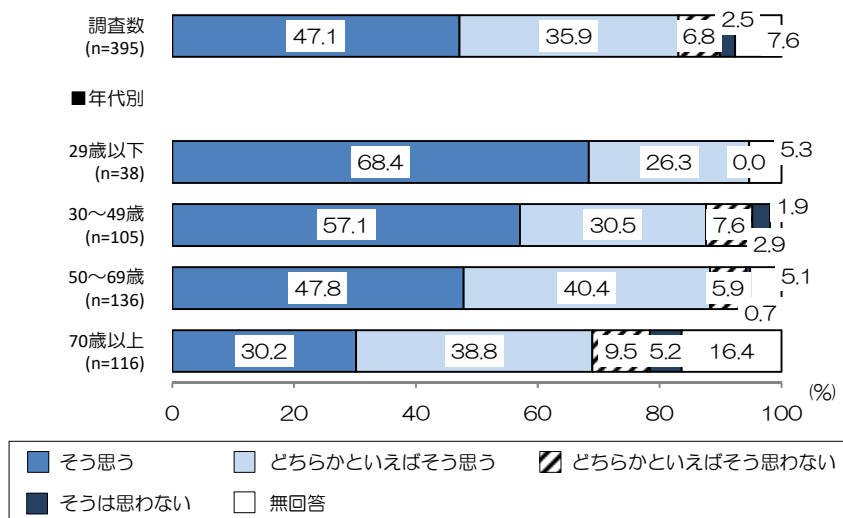
【⑩感情をコントロールすることができる】



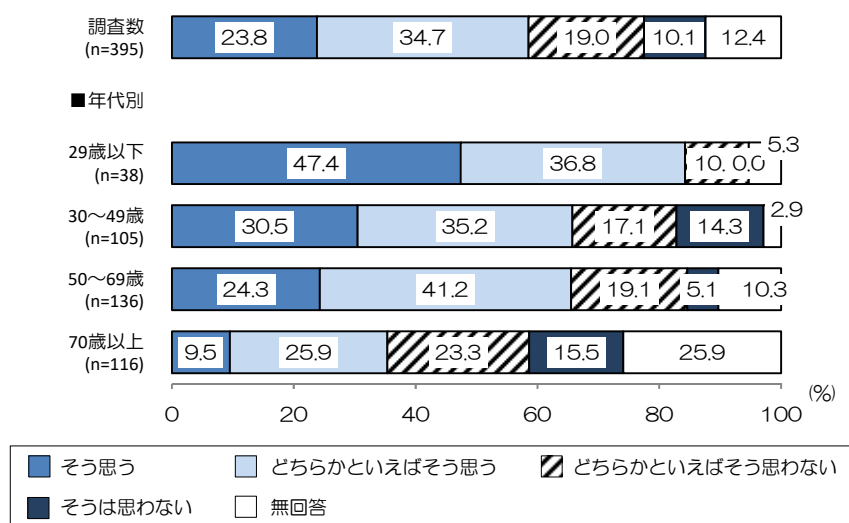
【⑪物事を最後まであきらめずにやり抜くことができる】



【⑫パソコン、タブレット、スマートフォン、携帯電話などを使っている】

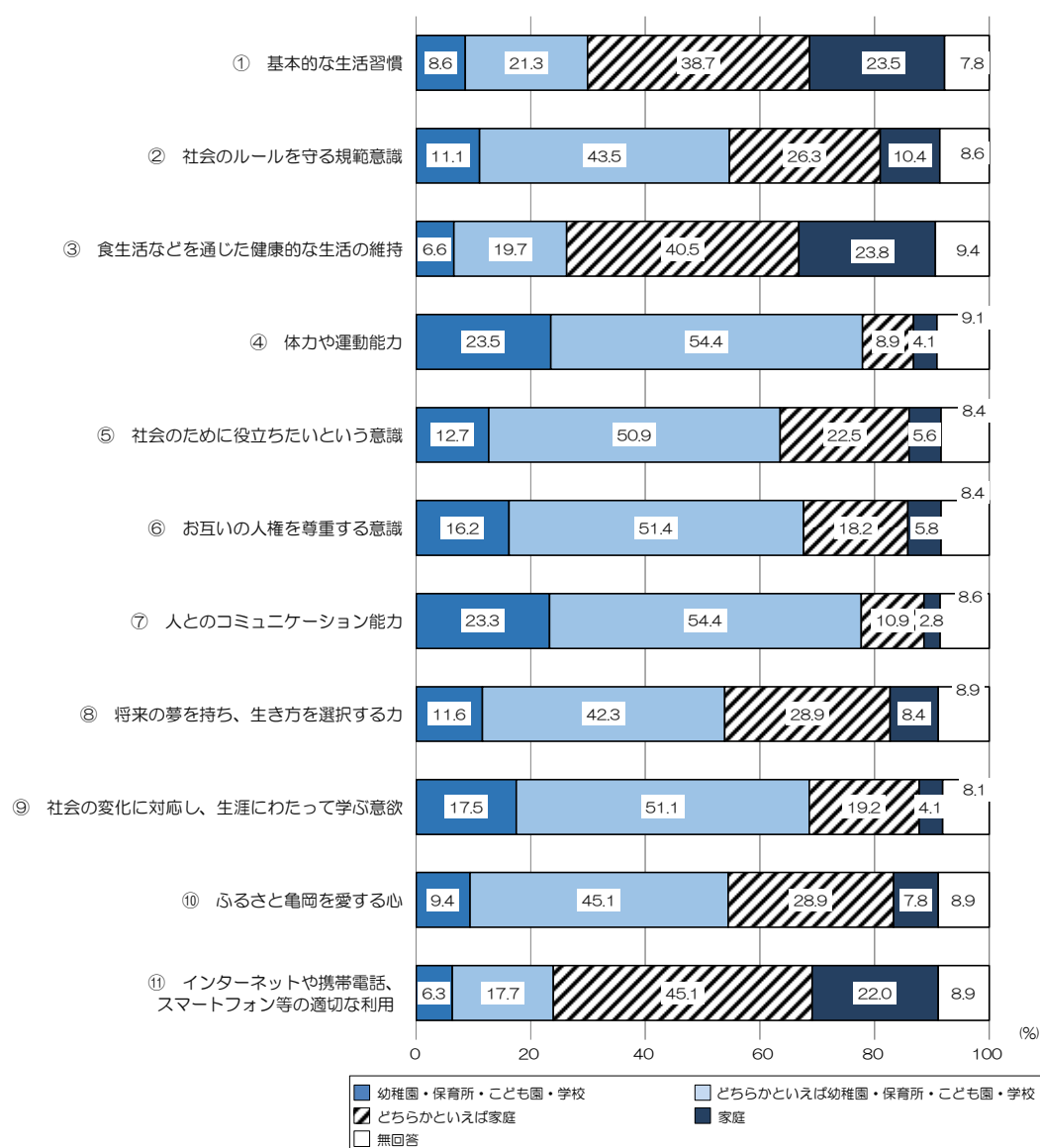


【⑬SNS を利用している】

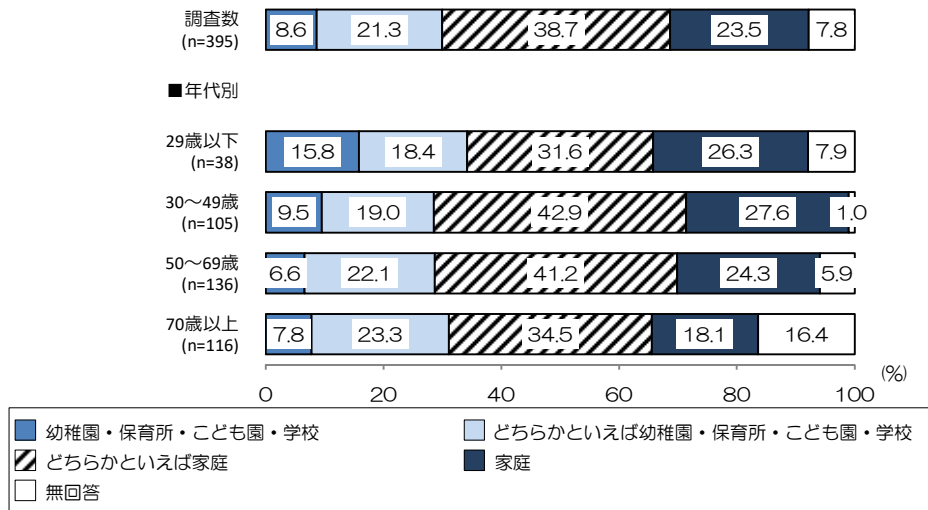


問6 子どもの育成・支援に関する次の各項目について、現状では幼稚園・保育所・こども園・学校と家庭とではどちらが中心になって取り組んでいると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

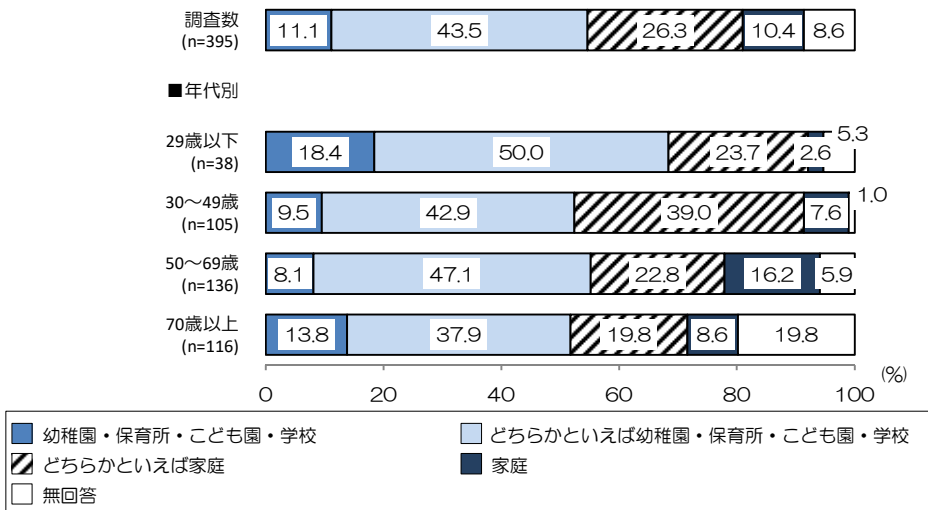
全体で“学校が中心に取り組んでいる”（「幼稚園・保育所・こども園・学校」+「どちらかといえば幼稚園・保育所・こども園・学校」）の割合が高いのは、「④体力や運動能力」（77.9%）、「⑦人とのコミュニケーション能力」（77.7%）、といった項目であった。一方で、“家庭が中心に取り組んでいる”（「家庭」+「どちらかといえば家庭」）の割合が高いのは、「⑪インターネットや携帯電話、スマートフォン等の適切な利用」（67.1%）、「③食生活などを通じた健康的な生活の維持」（64.3%）「①基本的な生活習慣」（62.2%）といった項目であった。



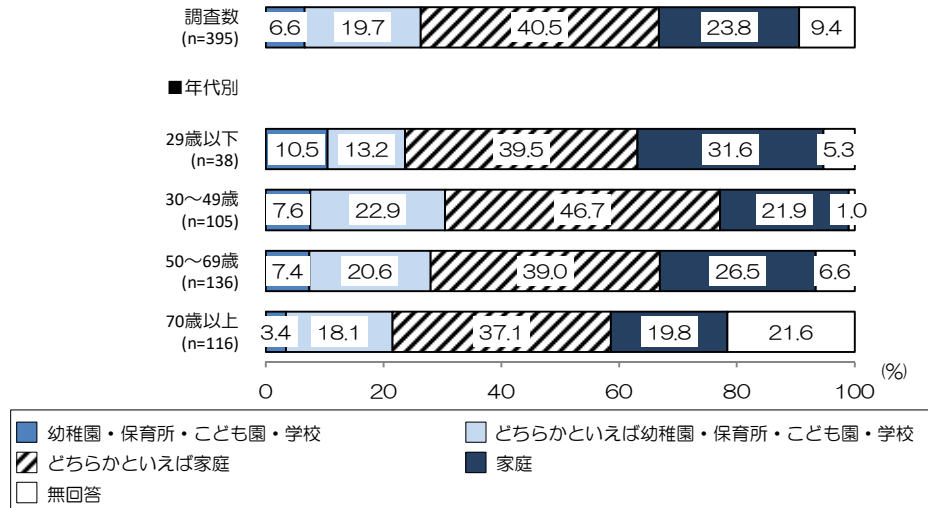
【①基本的な生活習慣】



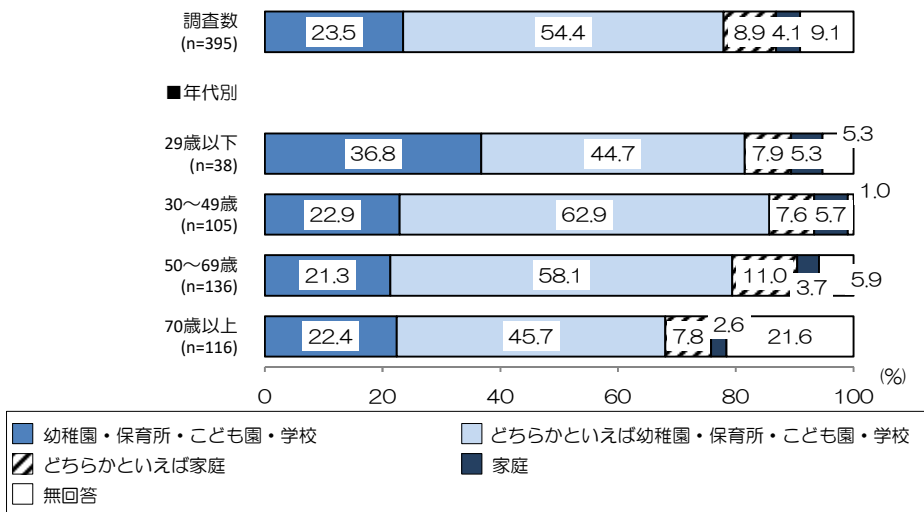
【②社会のルールを守る規範意識】



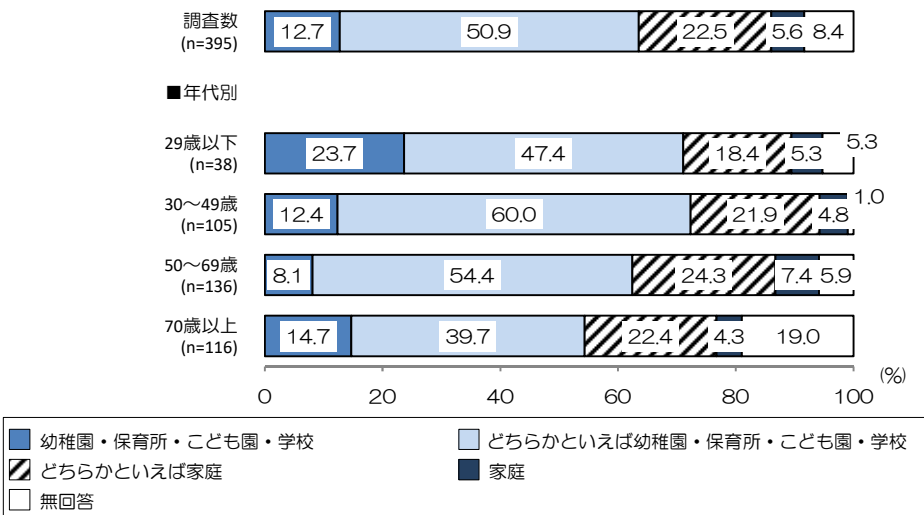
【③食生活などを通じた健康的な生活の維持】



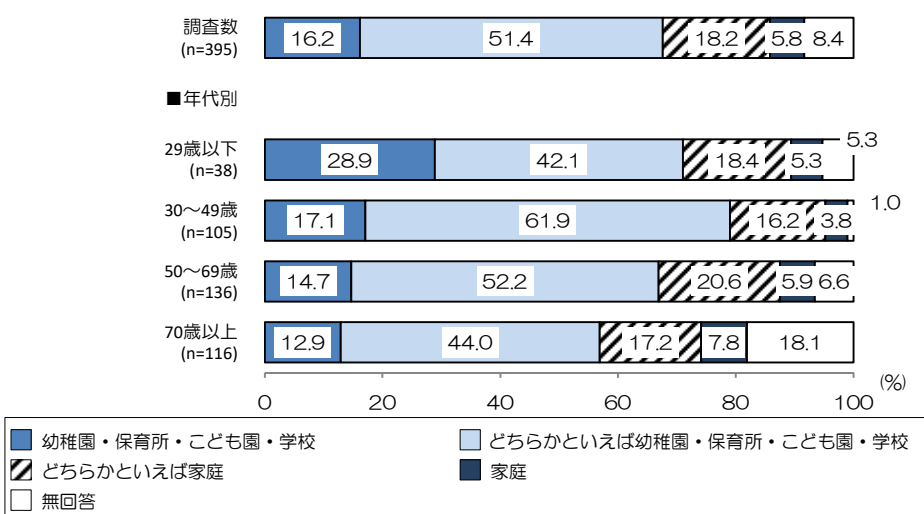
【④体力や運動能力】



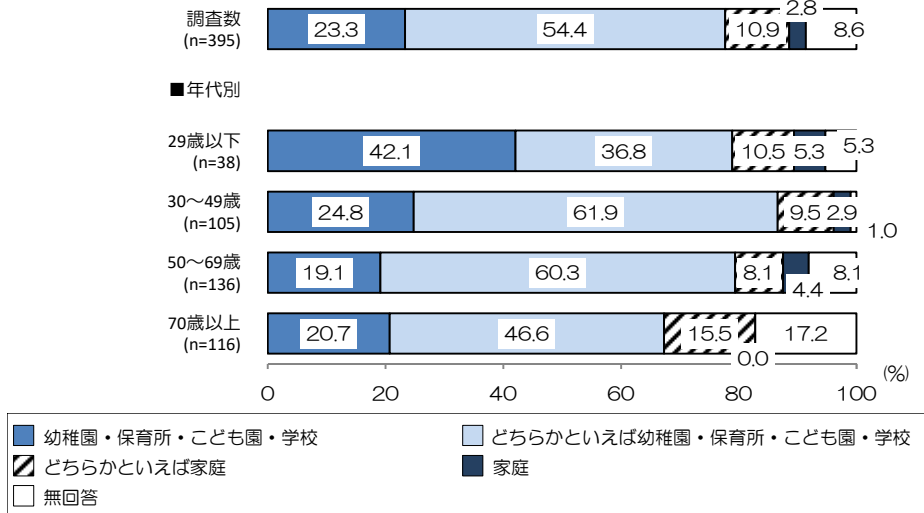
【⑤社会のために役立ちたいという意識】



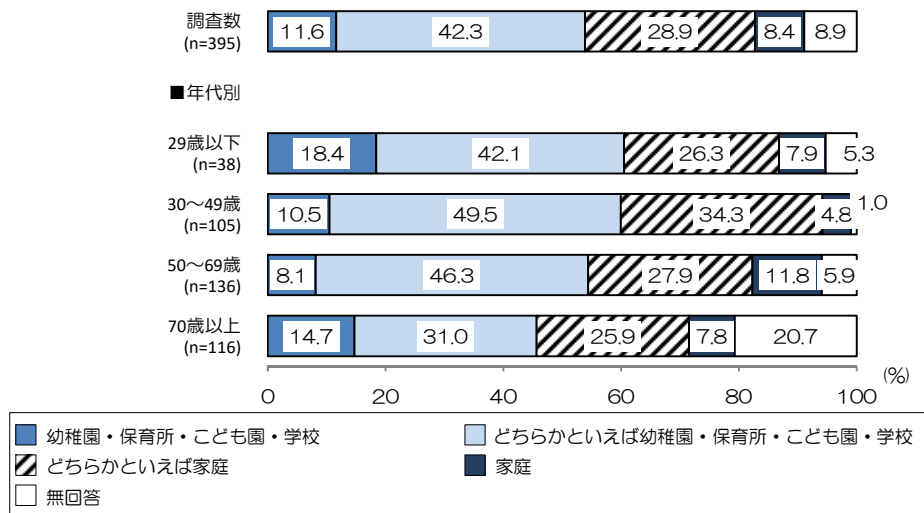
【⑥お互いの人権を尊重する意識】



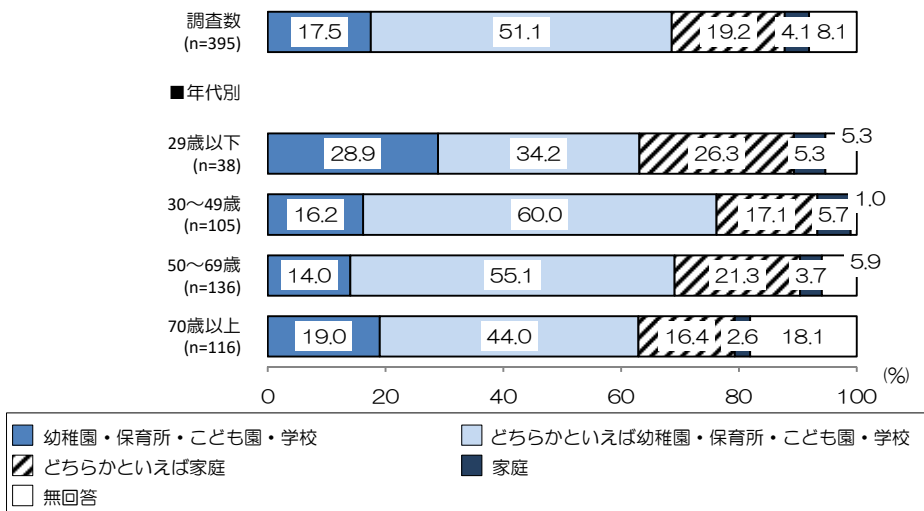
【⑦人とのコミュニケーション能力】



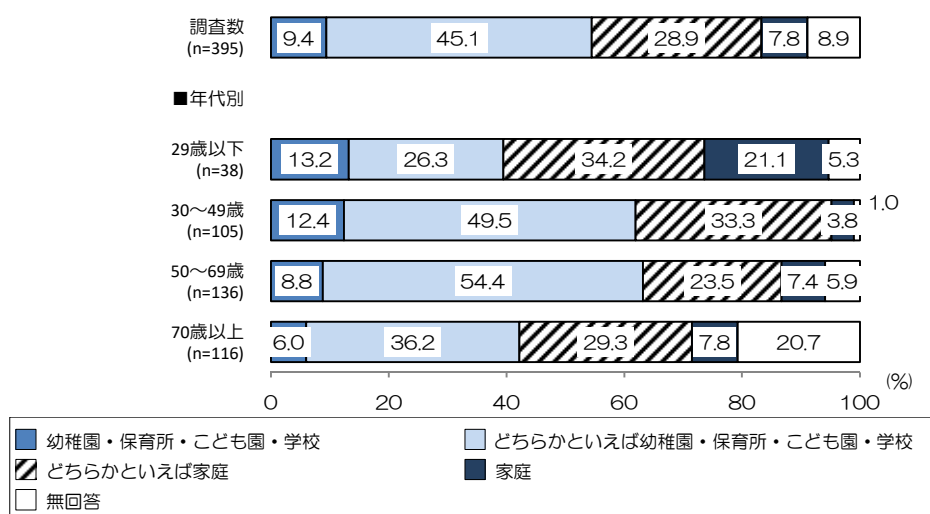
【⑧将来の夢を持ち、生き方を選択する力】



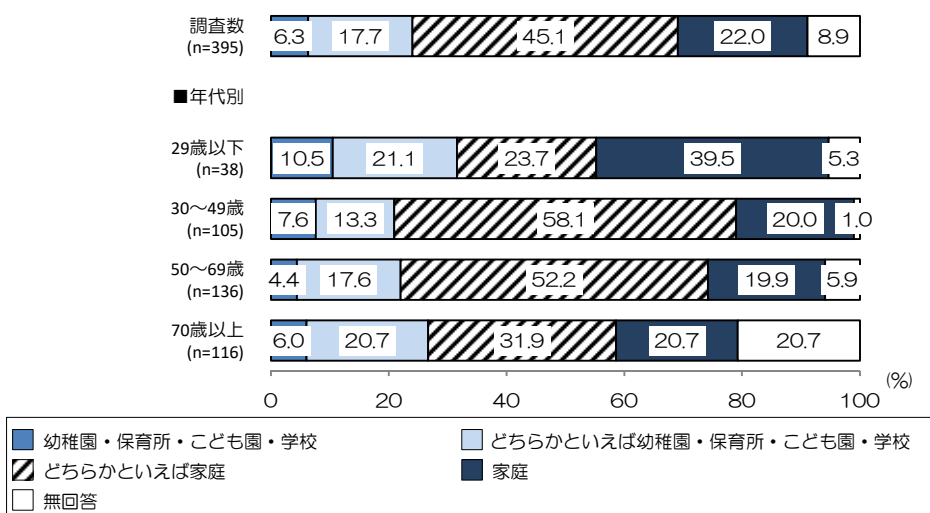
【⑨社会の変化に対応し、生涯にわたって学ぶ意欲】



【⑩ふるさと亀岡を愛する心】



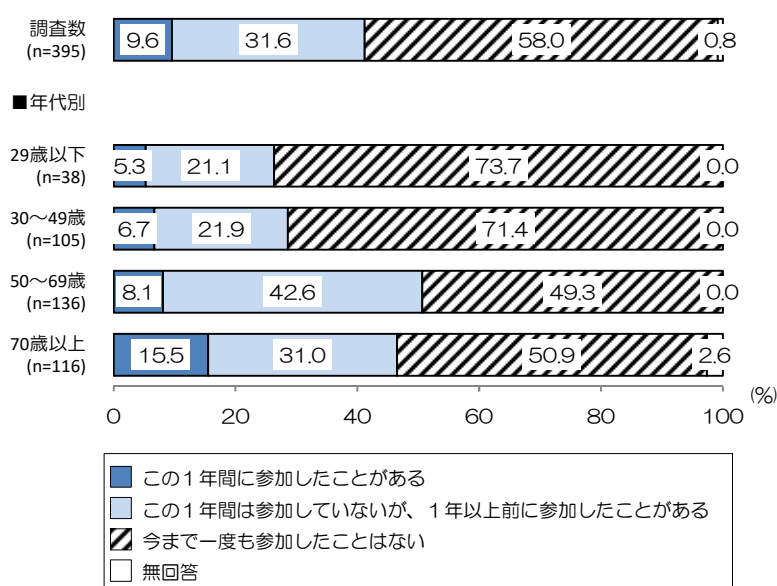
【⑪インターネットや携帯電話、スマートフォン等の適切な利用】



問7 あなたは、社会教育活動に参加したことはありますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「この1年間に参加したことがある」が9.6%、「この1年間は参加していないが、1年以上前に参加したことがある」が31.6%で、過去1度でも参加したことがあるのは全体の41.2%であった。

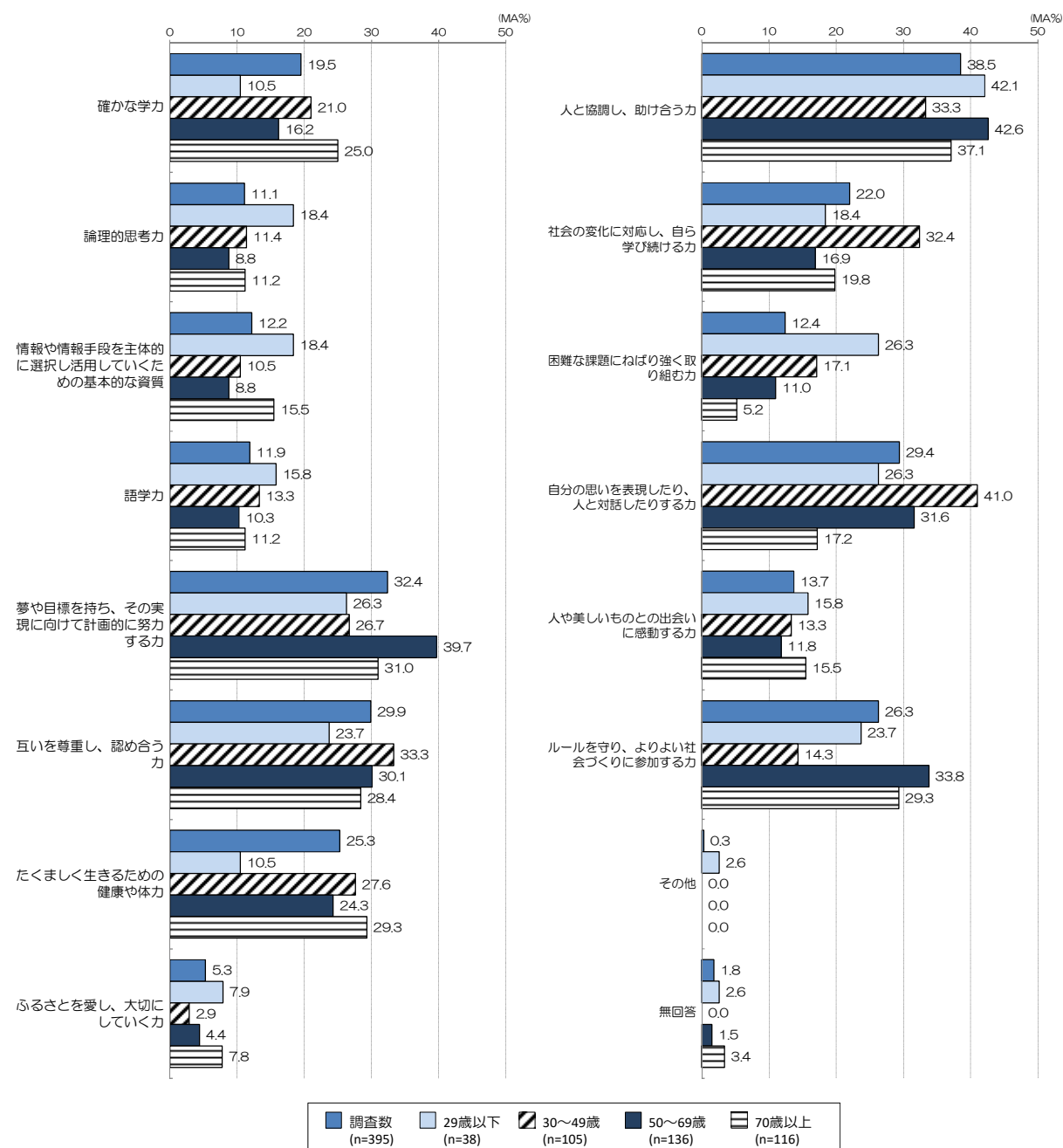
年代別にみると、29歳以下や30～49歳では約7割が「今まで一度も参加したことはない」と答えているが、50～69歳では「今まで一度も参加したことはない」の割合は49.3%、70歳以上では50.9%と5割程度に留まっている。



3. これからの亀岡市の教育のあり方について

問8 子どもたちに、特にどのような力を身に付けてほしいと思われますか。
あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に「○」を付けてください。「自分の
まち」としての愛着をどの程度感じていますか。(○は1つ)

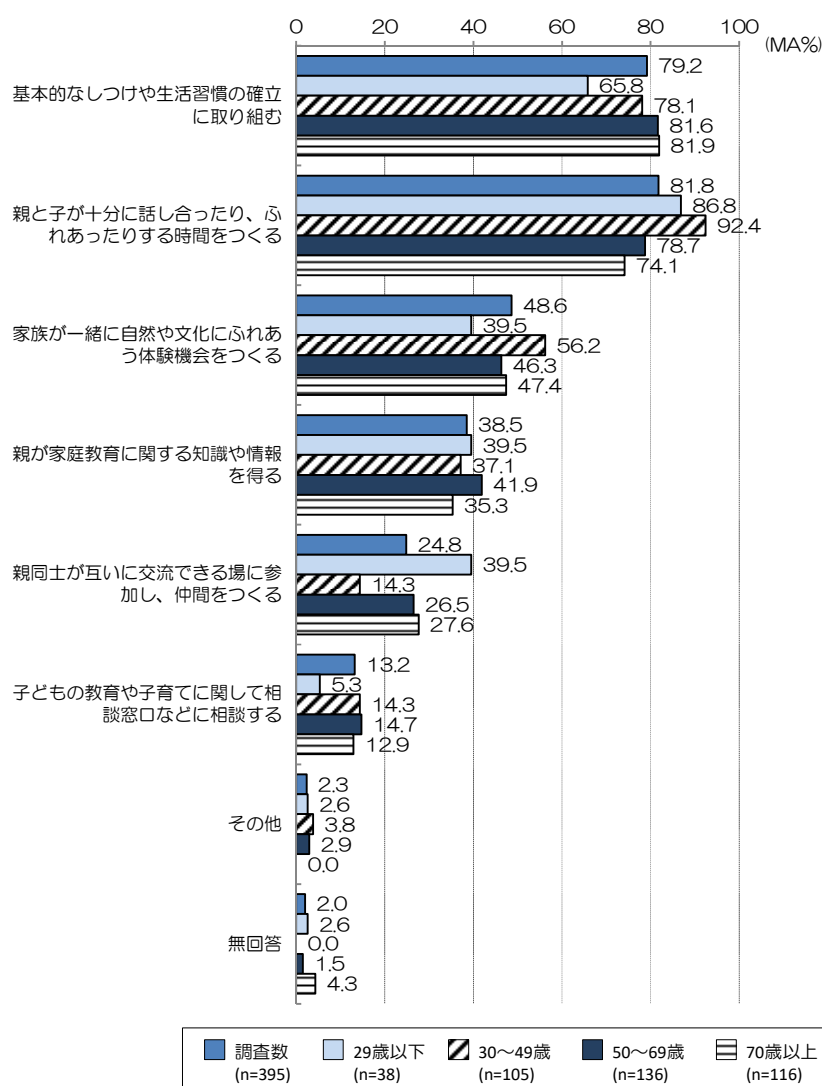
全体では、「人と強調し、助け合う力」が38.5%で最も高く、次いで「夢や目標を持
ち、その実現に向けて計画的に努力する力」が32.4%、「互いを尊重し、認め合う力」
が29.9%と続いている。



問9 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に「○」を付けてください。

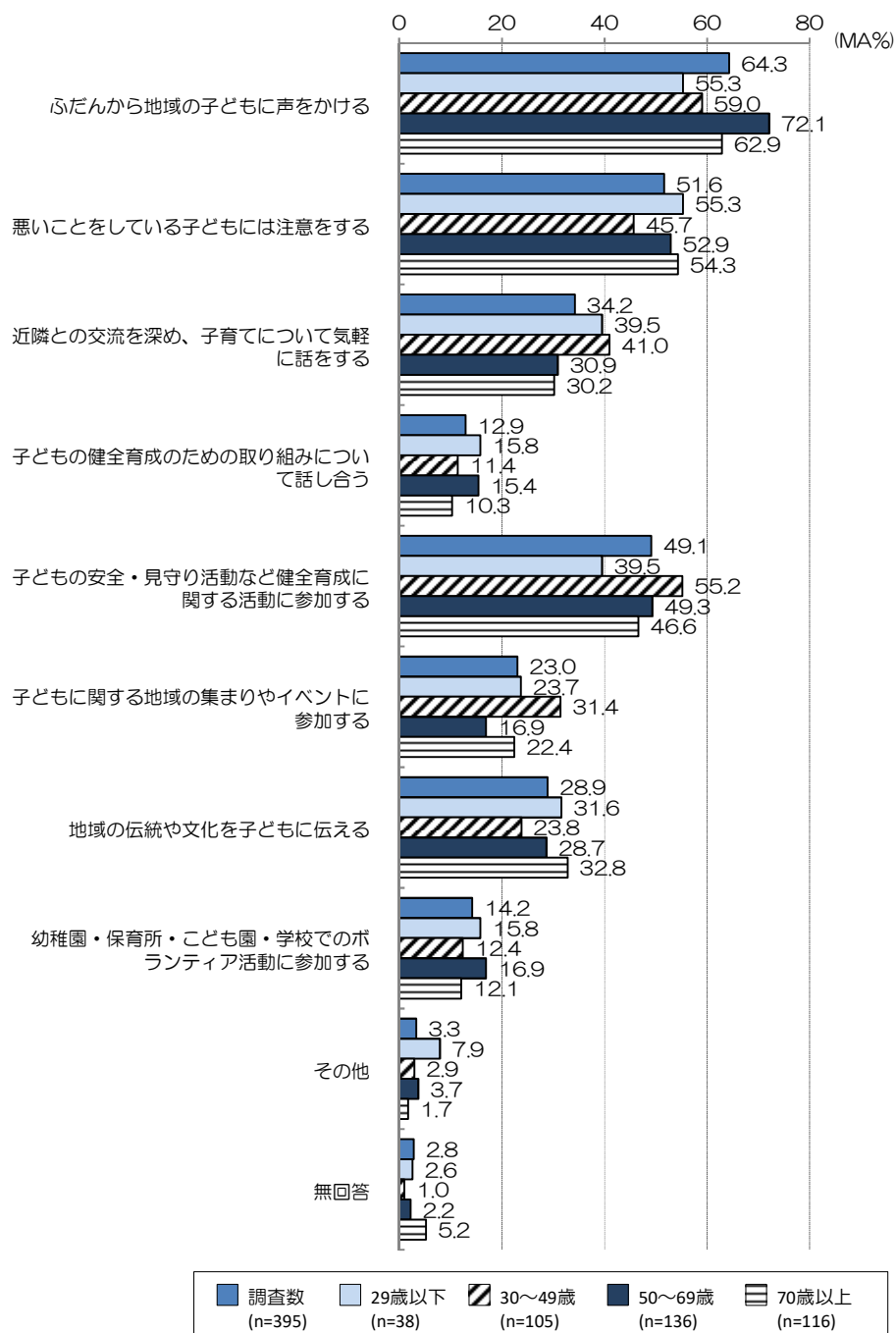
全体では、「親と子が十分に話し合ったり、ふれあったりする時間をつくる」が81.8%で最も高く、次いで「基本的なしつけや生活習慣の確立に取り組む」が79.2%と続いている。

年齢別でも、上位2項目については各年齢層で変わらないが、29歳以下以外の年齢層については、3番目に高い項目として「家族と一緒に自然や文化にふれあう体験機会をつくる」が続いているのに対し、29歳以下では、本項目に加えて、「親が家庭教育に関する知識や情報を得る」、「親同士が互いに交流できる場に参加し、仲間を作る」の2項目についても、39.5%で同割合となっている。



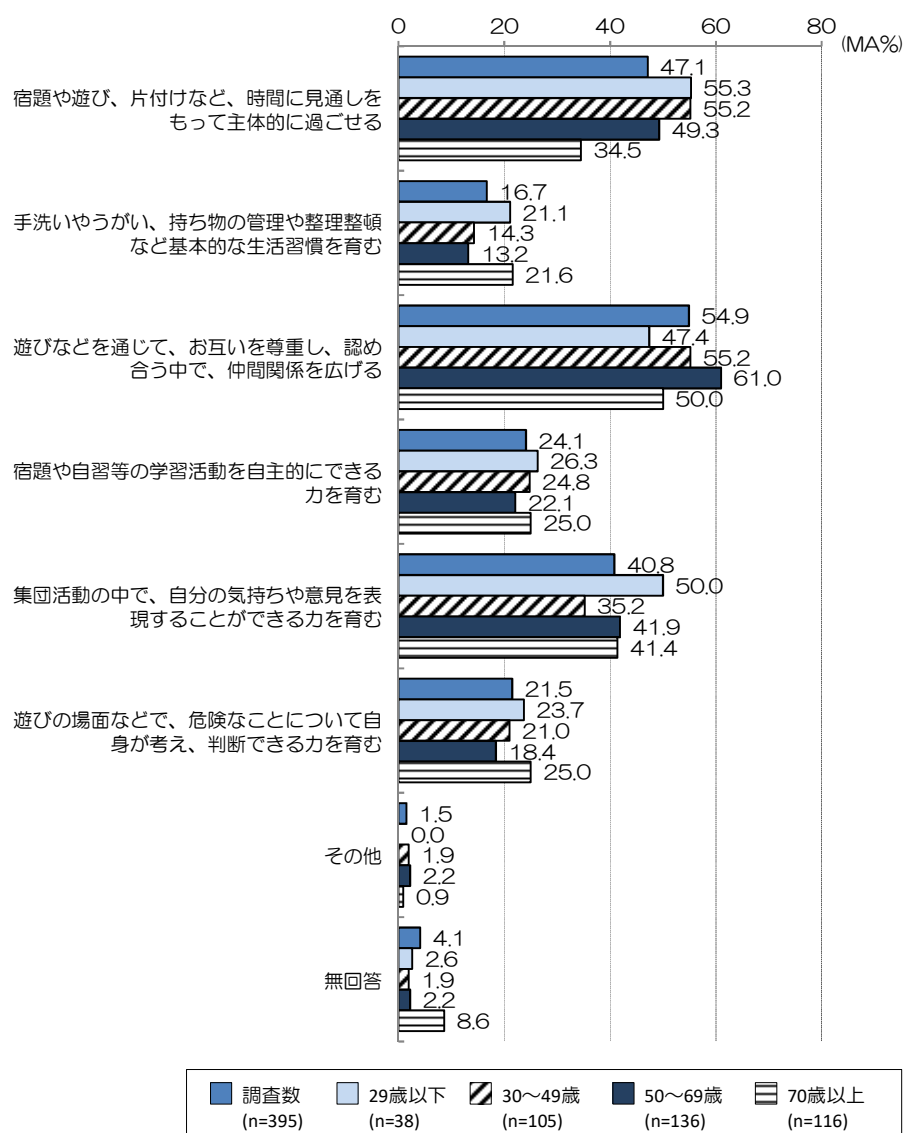
問 10 子どもの健全育成のために、地域住民に期待されることはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。（○は3つまで）

全体では、「ふだんから地域の子どもの声をかける」が64.3%で最も高く、次いで「悪いことをしている子どもには注意をする」が51.6%、「子どもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に参加する」が49.1%となっている。



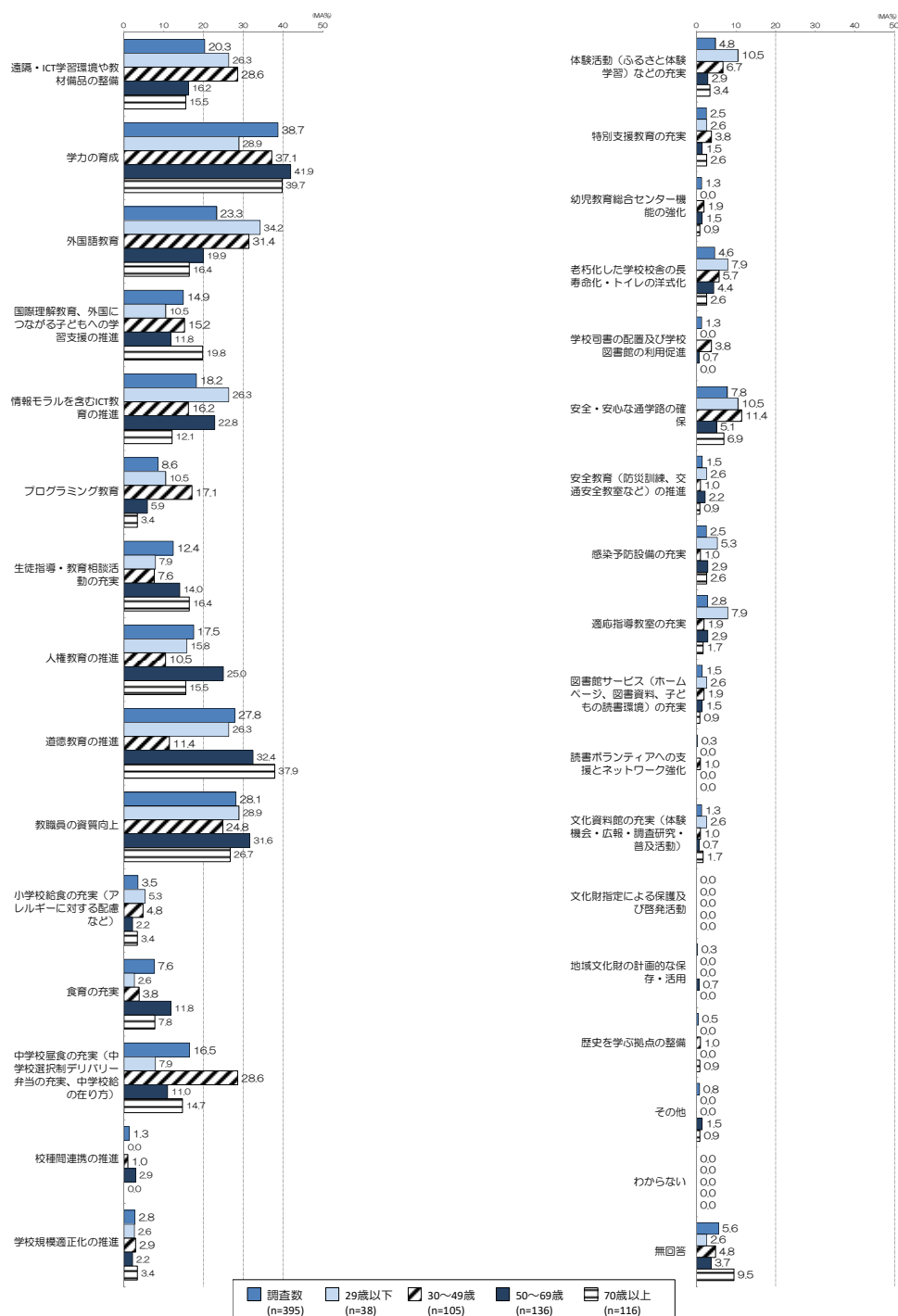
問 11 放課後児童会における子どもたちへの育成支援として期待されることはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「遊びなどを通じて、お互いを尊重し、認め合う中で、仲間関係を広げる」が54.9%で最も高く、次いで「宿題や遊び、片付けなど、時間に見通しをもって主体的に過ごせる」が47.1%と続いている。



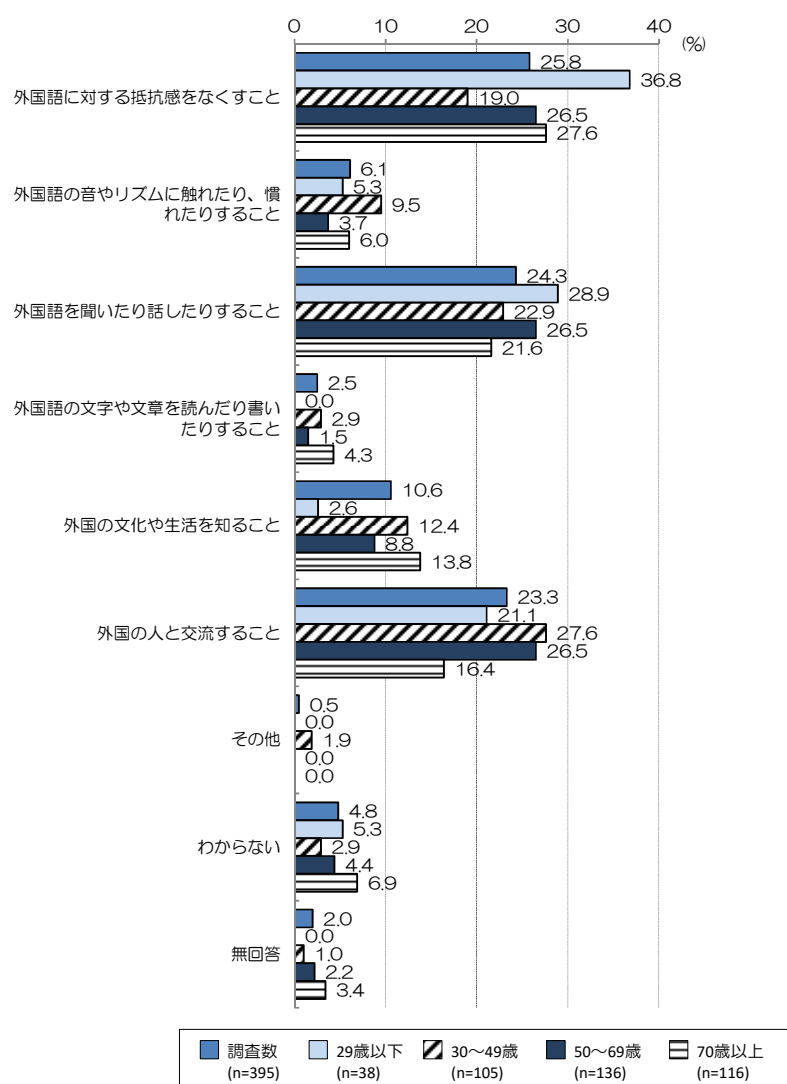
問 12 今後、亀岡市が特に優先して取り組んでいくべき教育施策はどのようなことだと思いますか。当てはまるものを3つ以内で選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「学力の育成」が38.7%で最も高く、次いで「教職員の資質向上」が28.1%、「道徳教育の推進」が27.8%と続いている。その他、「外国語教育」23.3%の割合も高くなっており、教員の育成を含む教育の内容についての項目が高くなっている。



問 13 今後、亀岡市立の学校で行われる外国語教育について、あなたは特にどのようなことを重視されますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

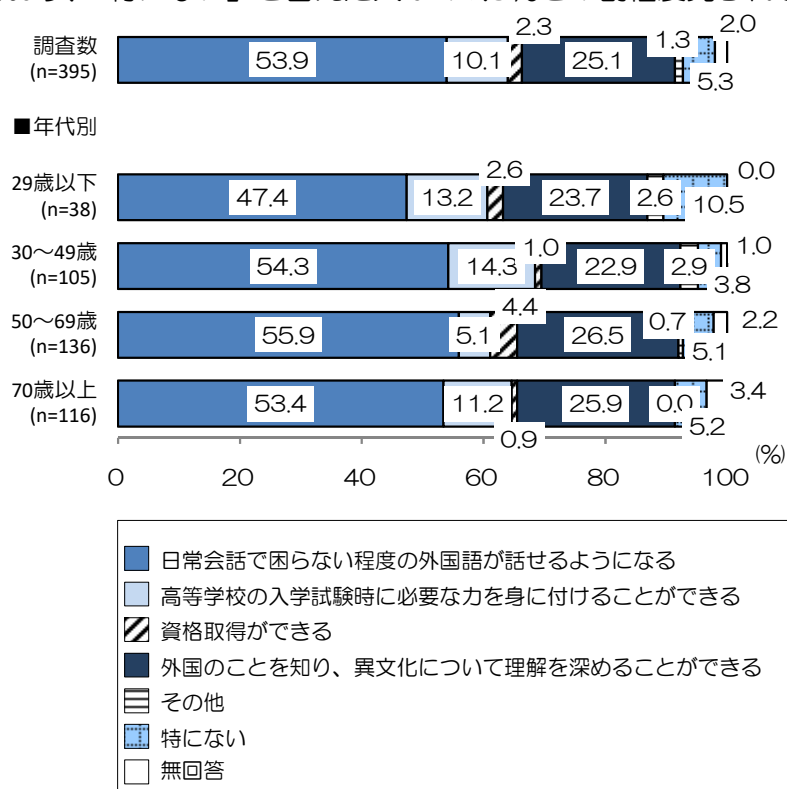
全体では、「外国語に対する抵抗感をなくすこと」が25.8%、「外国語を聞いたり話したりすること」が24.3%、「外国の人と交流すること」で23.3%と、僅差で続いており、本3項目の割合が特に高くなっている。



問 14 今後、亀岡市立の学校で行われる外国語教育について、あなたが学習の効果として期待されることはどのようなことですか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「日常会話で困らない程度の外国語が話せるようになる」が53.9%で最も高い。

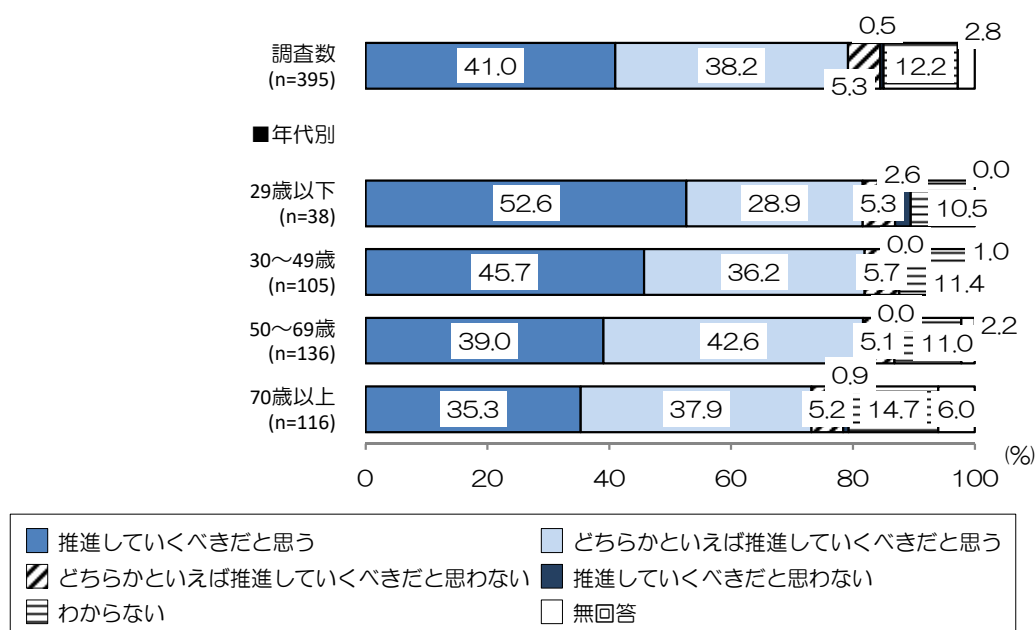
年齢別にみると、29歳以下以外の年齢層では傾向に大きな差は見られないが、29歳以下では「日常会話で困らない程度の外国語が話せるようになる」の割合が47.4%に留まっており、「特にない」と答えた人が10.5%と1割程度見られる。



問 15 今後、亀岡市立の学校で、ICT教育を推進していくことについて、あなたはどのように思われますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

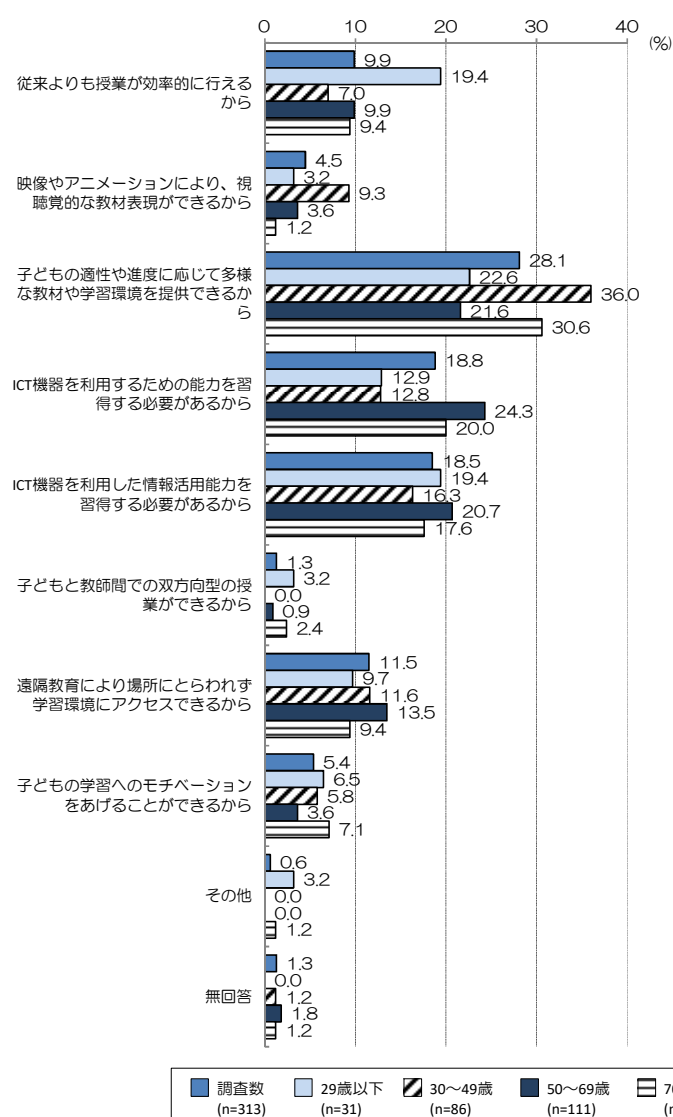
全体では、「推進していくべきだと思う」が41.0%、「どちらかといえば推進していくべきだと思う」が38.2%で、79.2%が“推進してくべき”と回答している。

年代別にみると、29歳以下では、52.6%が「推進していくべきだと思う」と回答しているが、年代が上がるごとにその割合は減少していき、70歳以上では「推進していくべき」と回答した人は35.3%に留まっている。



問 15-1 問 15で「1. 推進していくべきだと思う」「2. どちらかといえば推進していくべきだと思う」と答えた方にお聞きします。そのように思われる理由について、あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

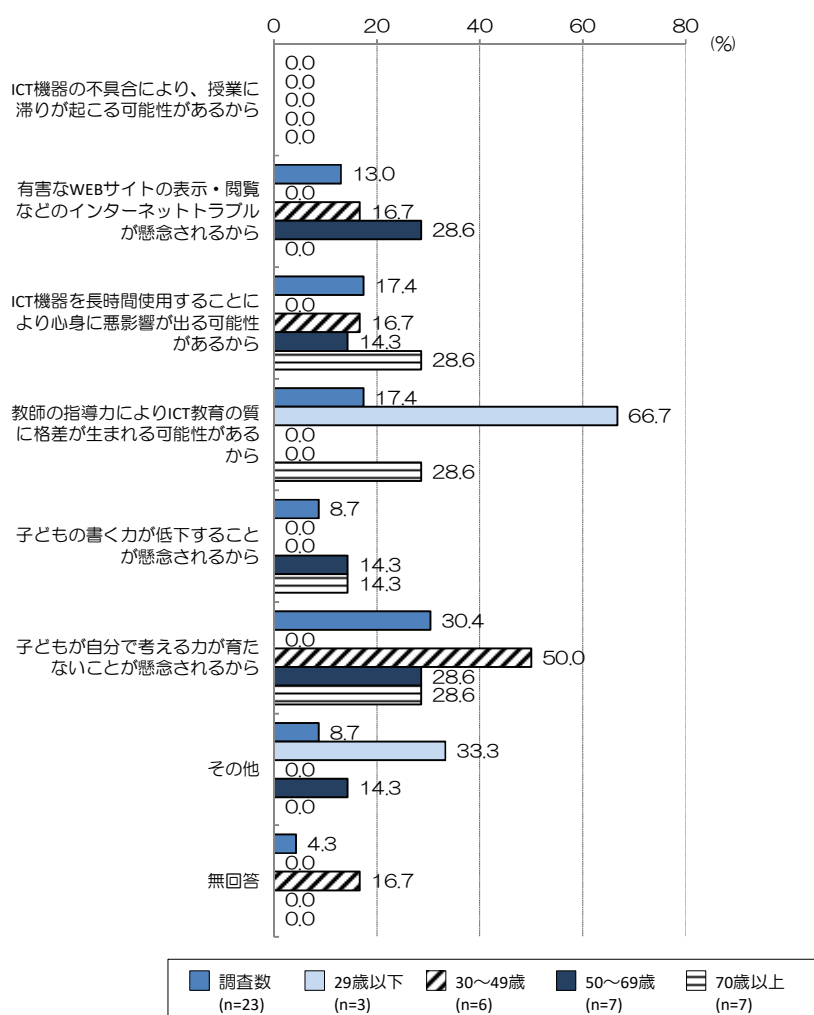
全体では、「子どもの適性や進度に応じて多様な教材や学習環境を提供できるから」の割合が28.1%で最も高い。次いで、「ICT 機器を利用するための能力を習得する必要があるから」が18.8%、「ICT 機器を利用した情報活用能力を習得する必要があるから」が18.5%と続いている。



問 15-2 問 15 で「3. どちらかといえば推進すべきだと思わない」、「4. 推進すべきだと思わない」と答えた方にお聞きします。そのように思われる理由について、あなたの考えに近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「子どもが自分で考える力が育たないことが懸念されるから」が30.4%で最も高くなっている。

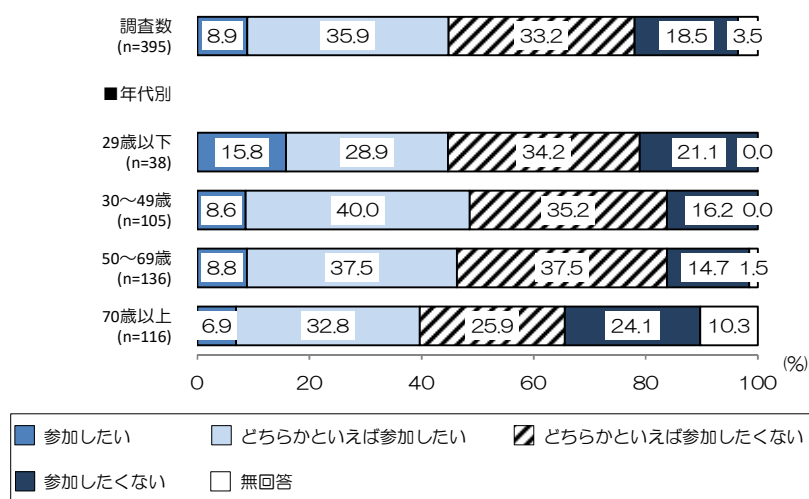
※回答者数が全体で23サンプルと少ないため、結果は参考値



問 16 あなたは、今後、社会教育活動に参加したいと思われませんか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「参加したい」が8.9%、「どちらかといえば参加したい」が35.9%で、“参加したい”と回答した人は44.8%となっている。

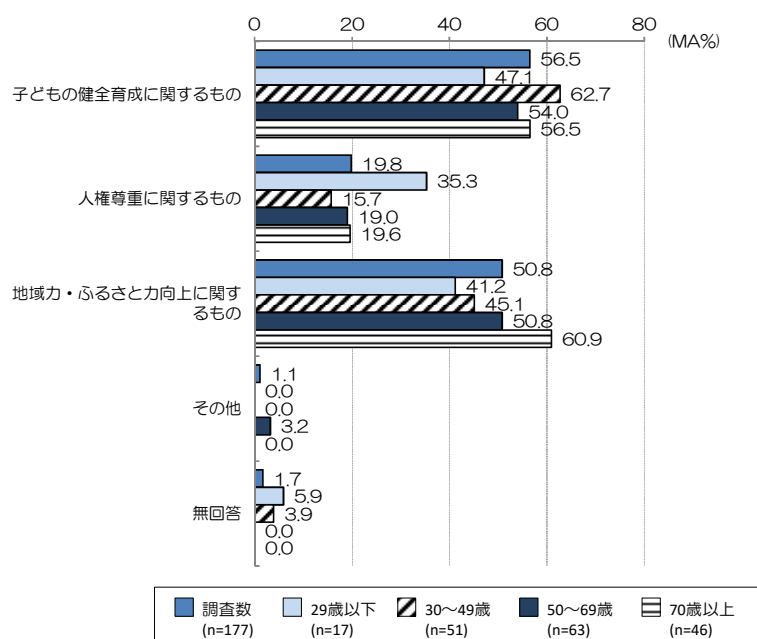
年代別でみると、29歳以下では、「参加したい」と回答した人が15.8%みられる。



問 16-1 問 16で「1. 参加したい」、「2. どちらかといえば参加したい」と答えた方にお聞きします。どのような活動、事業に参加しようと思われませんか。当てはまるものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「子どもの健全育成に関するもの」が56.5%で最も高く、次いで地域力、ふるさと力向上に関するもの」が50.8%と続いている。

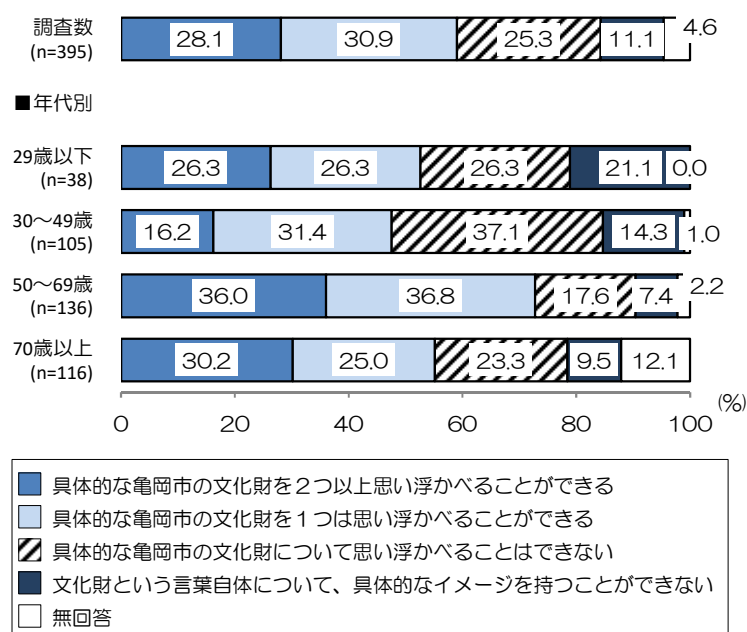
年代別では、29歳以下では「人権尊重に関するもの」と回答した人も35.3%みられる。



4. 亀岡市の文化財や社会教育施設について

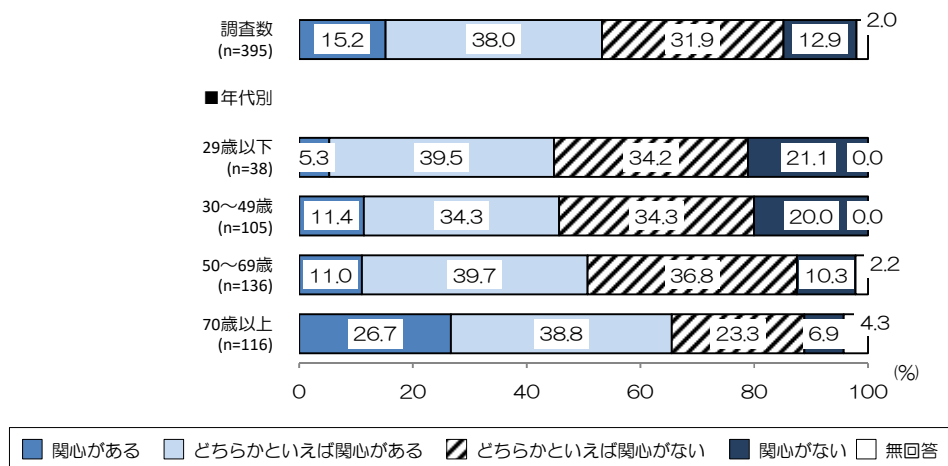
問 17 あなたは「亀岡市の文化財」について、どの程度イメージを持たれていますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「具体的な亀岡市の文化財を2つ以上思い浮かべることができる」が28.1%、「具体的な文化財を1つは思い浮かべることができる」が30.9%で、全体の59.0%と約6割は、具体的な亀岡市の文化財を2つ以上思い浮かべることができる。



問 18 あなたは亀岡市の文化財（建造物・絵画・彫刻・史跡・民俗など）について、どの程度関心がありますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

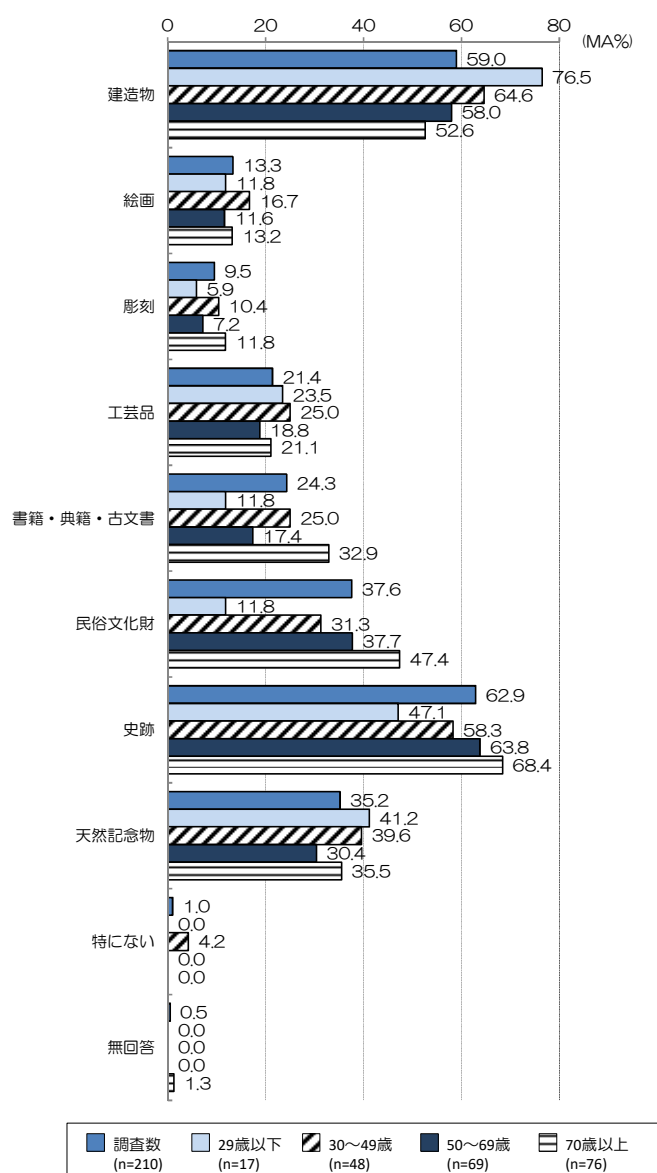
全体では、「関心がある」が15.2%、「どちらかといえば関心がある」が38.0%で、53.2%が“関心がある”と回答している。



問 18-1 問 18 で「1. 関心がある」、「2. どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きします。 今後、あなたが亀岡市の文化財で、特に重視し守っていききたいと思うものをすべて選んで番号に「○」を付けてください。

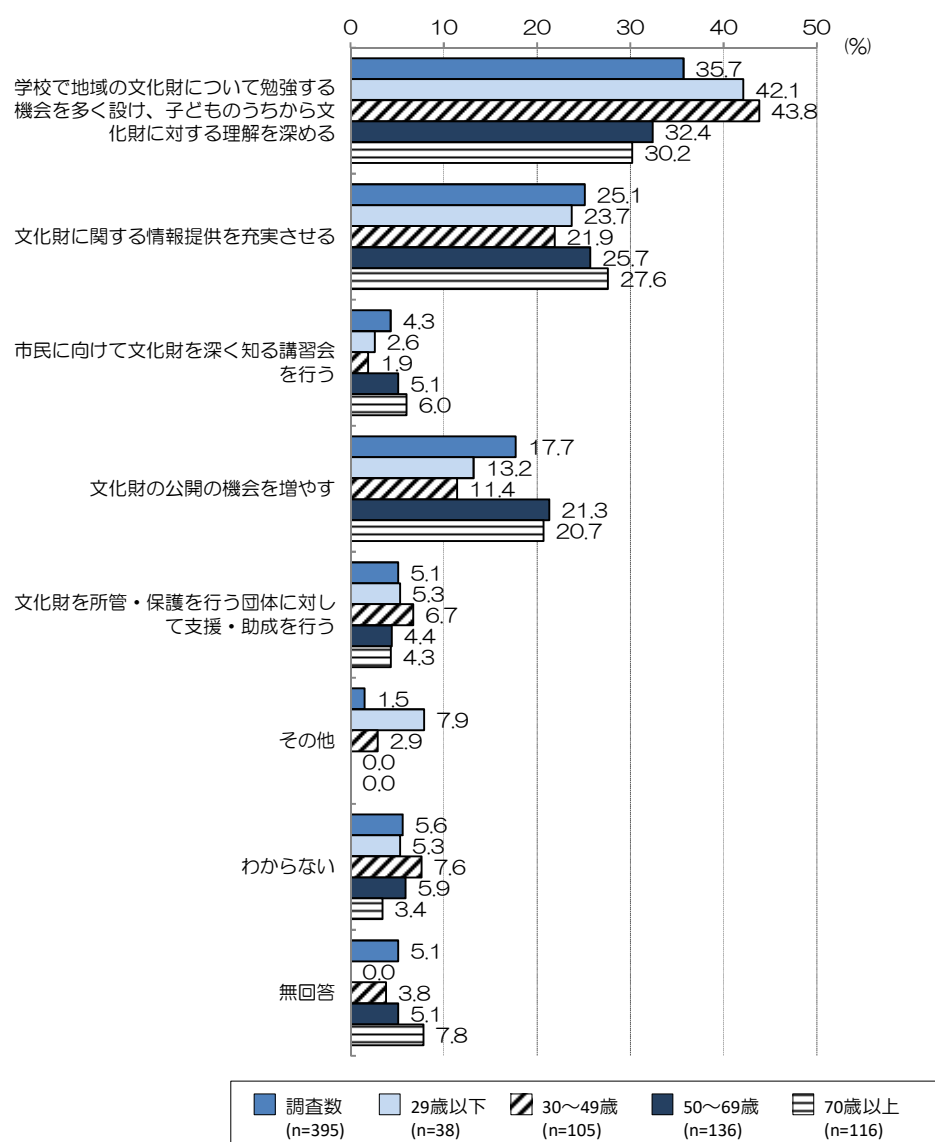
全体では、「史跡」の割合が最も高く、62.9%となっている。次いで、「建造物」が59.0%と続いている。

年代別にみると、29 歳以下と 30～49 歳では、「建造物」の割合が最も高くなっており、50～69 歳と 70 歳以上では、「史跡」の割合が最も高くなっている。



問 19 今後、文化財を守り、継承していくために亀岡市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「学校で地域の文化財について勉強する機会を多く設け、子どものうちから文化財に対する理解を深める」が35.7%で最も高く、次いで、「文化財に対する情報提供を充実させる」が25.1%と続いている。

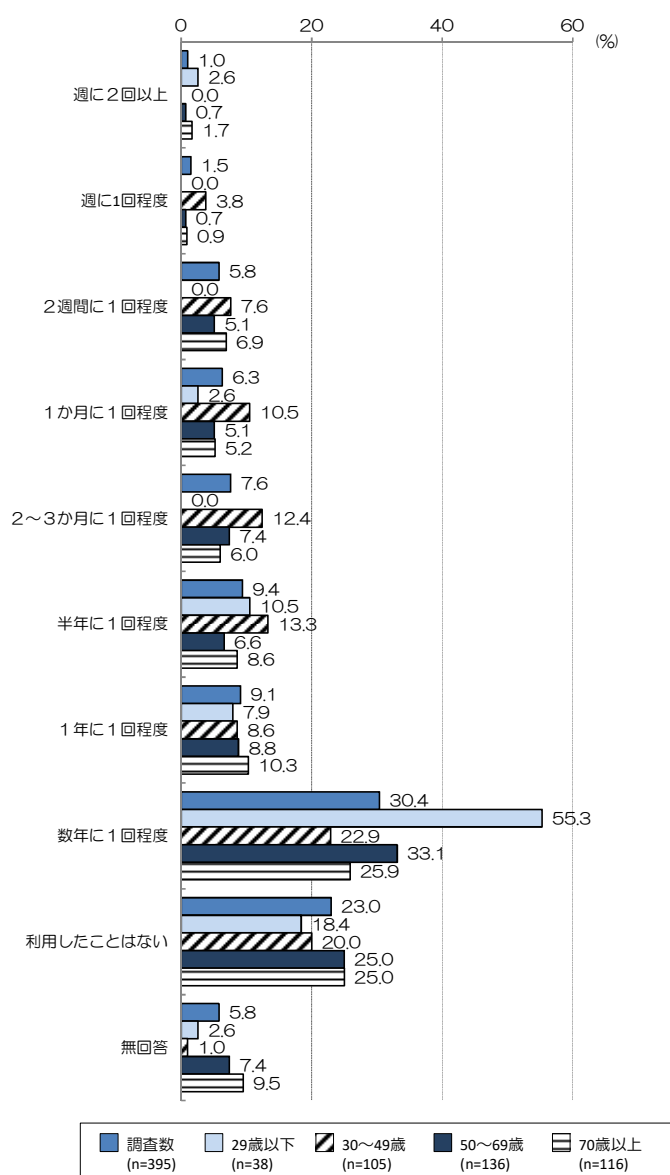


問 20 亀岡市の図書館及び文化資料館について、利用されたことがありますか。それぞれ当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

【図書館】

全体では、「数年に1回程度」が最も多く30.4%となっている。また、“1年に1回以上”利用するのは全体の40.7%となっている。

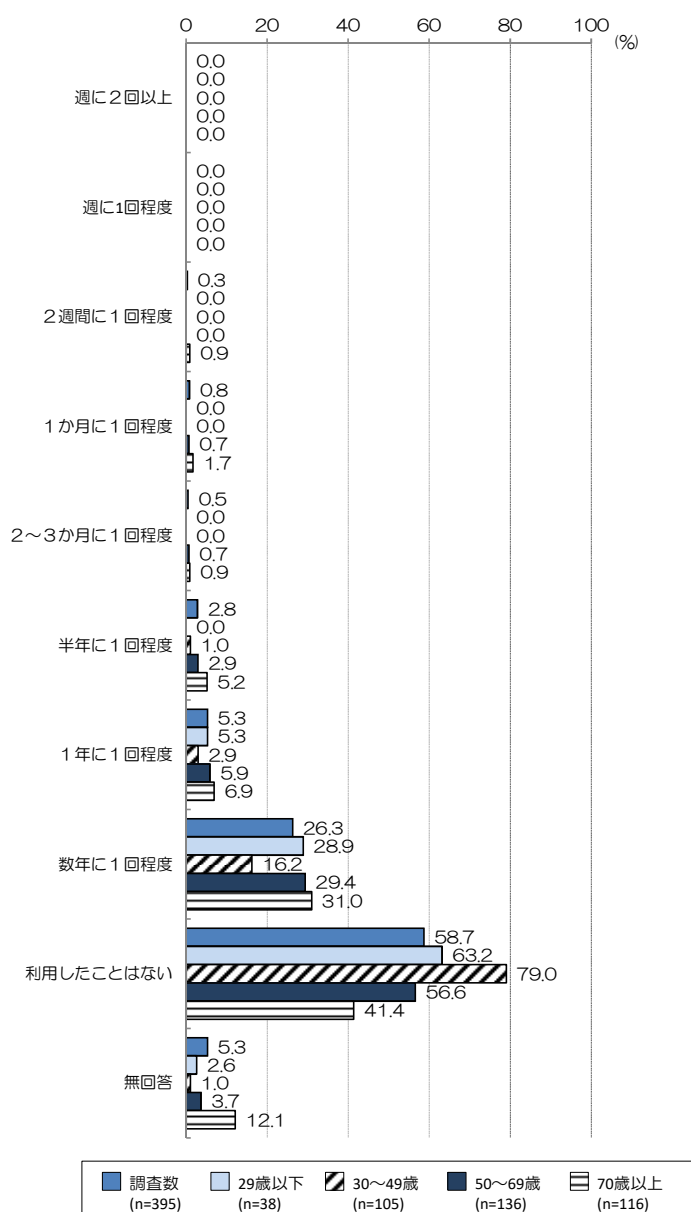
年代別で見ると、29歳以下では、55.3%が「数年に1回程度」の利用と回答している。



【文化資料館】

全体では、「利用したことはない」が58.7%で最も高くなっている。次いで、「数年に1回程度」が26.3%と続いている。また、“1年に1回以上”利用するのは全体の9.7%となっている。

年代別では、30～49歳で、「利用したことがない」の割合が79.0%で、回答者の8割近くが利用経験がなしとなっている。

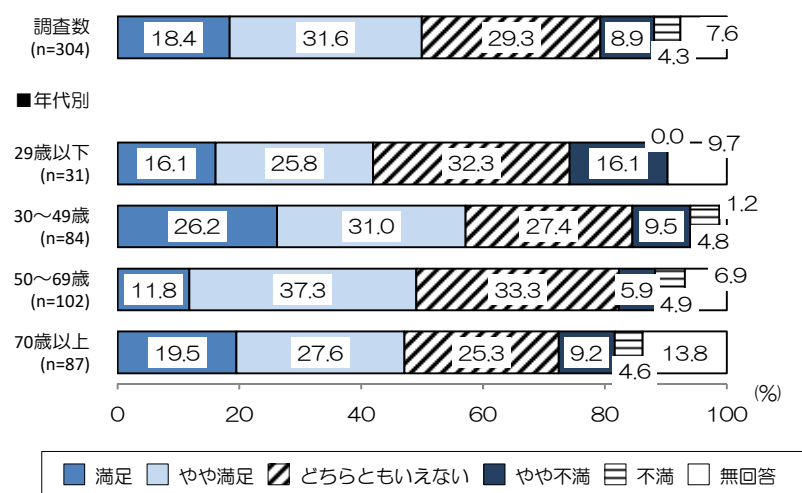


問 21 亀岡市の図書館及び文化資料館について、一度でも利用されたことがある方にお聞きします。図書館及び文化資料館について利用した際の満足度について、それぞれ当てはまるものを1つ選んで番号に「〇」を付けてください。

【図書館】

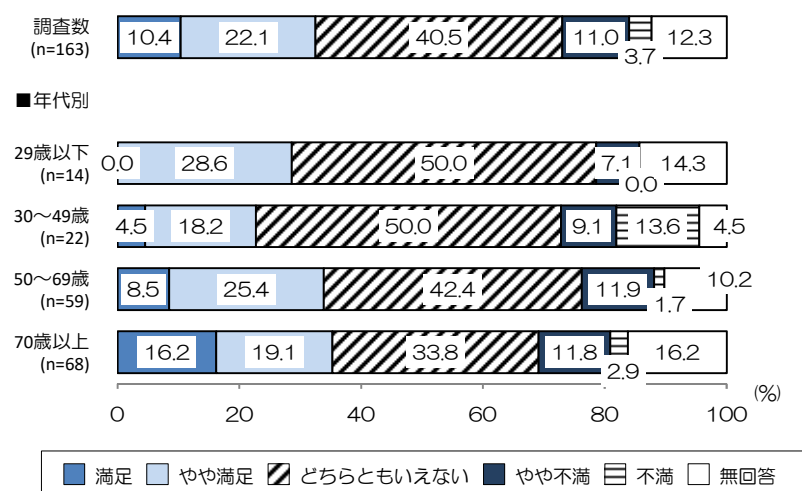
全体では、「満足」が18.4%、「やや満足」が31.6%で、50.0%が“満足”と感じている。

年代別では、29歳以下で「やや不満」の割合が16.1%と、2割弱見られる。



【文化資料館】

全体では、「満足」が10.4%、「やや満足」が22.1%で、32.5%が“満足”と感じている。

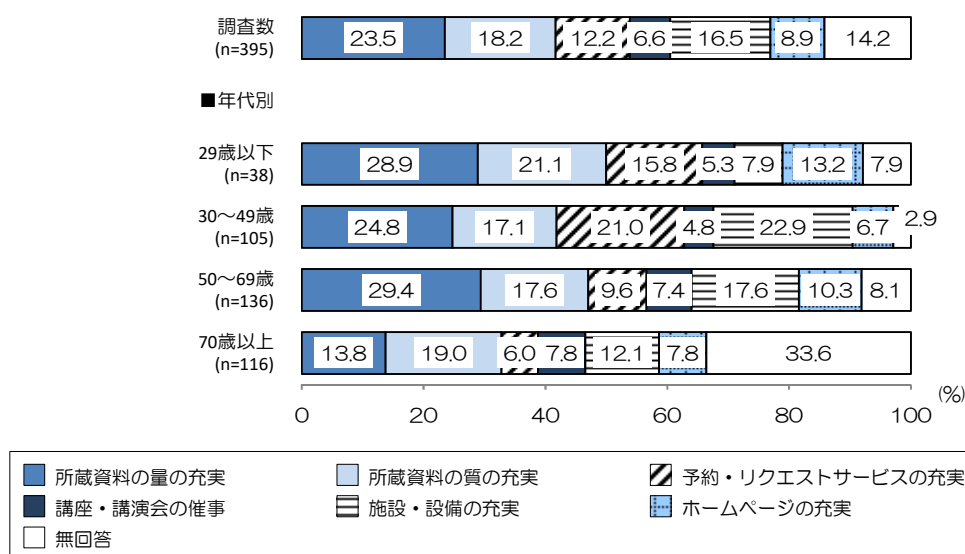


問 22 亀岡市の図書館及び文化資料館について、特に力を入れてほしい取り組みは何ですか。それぞれ当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

【図書館】

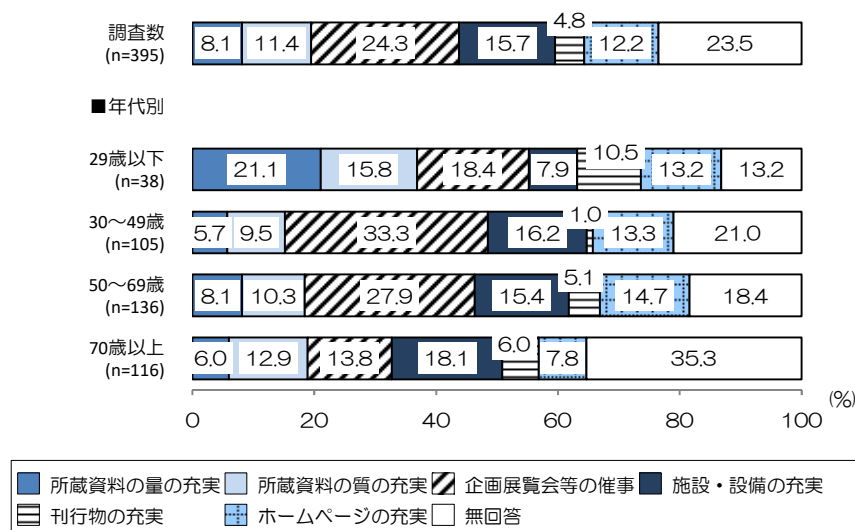
全体では、「所蔵資料の量の充実」が23.5%で最も高く、次いで「所蔵資料の質の充実」が18.2%と続いている。

年代別では、30～49歳では、「予約・リクエストサービスの充実」が21.0%で「所蔵資料の量の充実」の24.8%に次いで2番目に高い項目となっている。



【文化資料館】

全体では、「企画展覧会等の催事」が24.3%で最も高く、次いで、「施設・設備の充実」が15.7%と続いている。

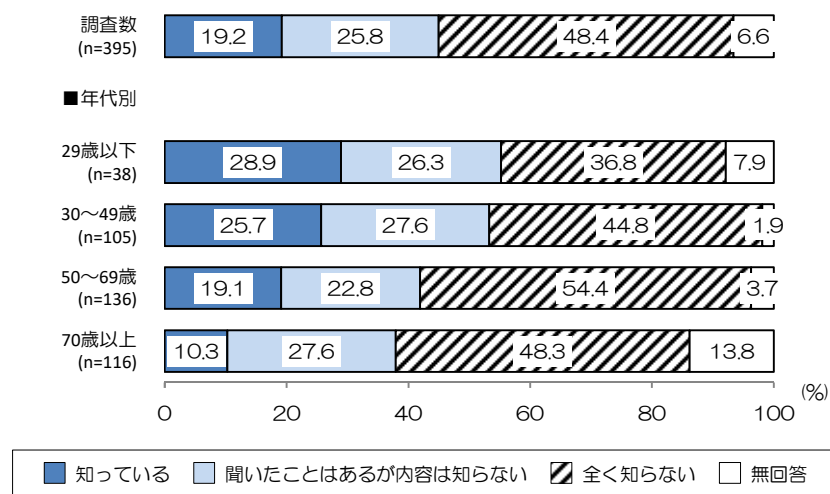


5. 持続可能な開発目標（SDGs）について

問 23 あなたは「持続可能な開発目標（SDGs）」を知っていますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「知っている」が19.2%、「聞いたことがあるが内容は知らない」が25.8%、「全く知らないが」48.4%で、約5割が知らないと回答している。

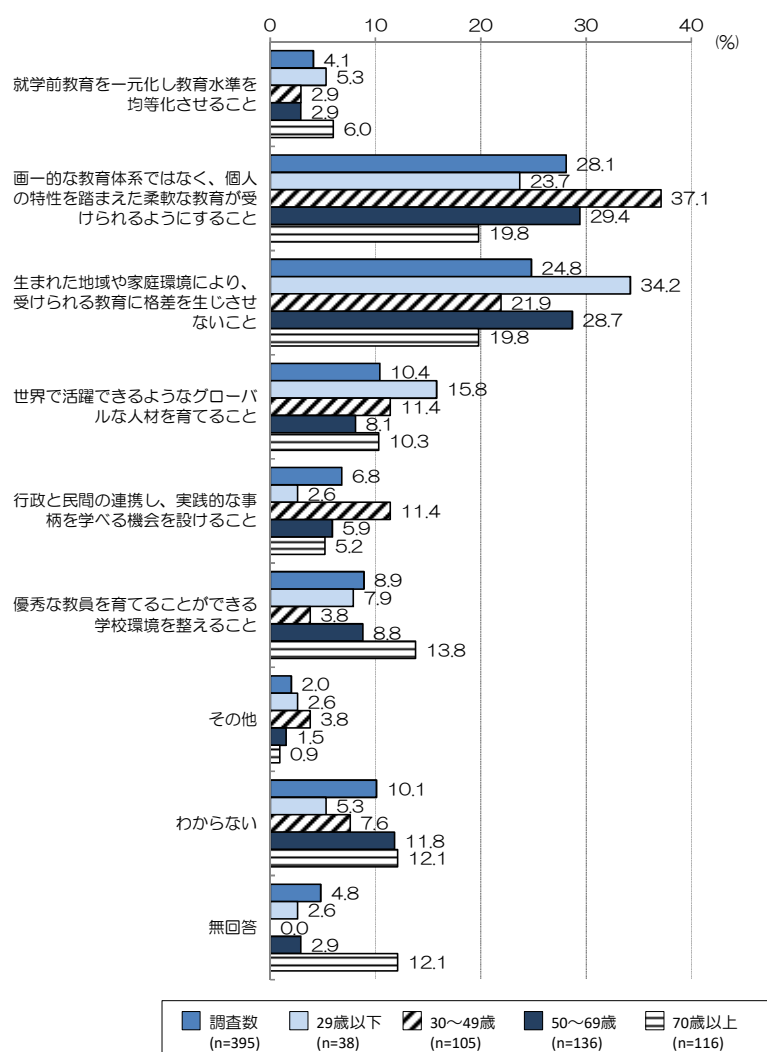
年代別にみると、29歳以下では「知らない」の割合は36.8%と4割弱に留まっており、「知っている」の割合が28.9%となっている。また、30～49歳でも、「知っている」の割合は25.7%と2割を超えている。



問 24 「持続可能な開発目標（SDGs）」では、教育に関する目標として、「質の高い教育をみんなに」が掲げられており、一貫した質の高い教育を誰でも平等に受けられることを目指しています。主に学校教育において、今後、教育の質を高めていくうえで、必要と思われることは何ですか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

全体では、「画一的な教育体系ではなく、個人の特性を踏まえた柔軟な教育が受けられるようにすること」が28.1%で最も高く、次いで「生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと」が24.8%と続いている。

年代別でみると、29歳以下では、「生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと」の割合が34.2%で最も高く、それ以外の年代層では「画一的な教育体系ではなく、個人の特性を踏まえた柔軟な教育が受けられるようにすること」の割合が最も高くなっている（70歳以上は「生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと」同割合）。



最後に、本市の教育について、日頃お気付きの点や今後期待すること等、お感じになっていることがございましたら、ご自由にお書きください。（自由意見）

395 件の回答中、自由意見について記載があったものは 84 件であった。下記に、各意見内容の件数と、主な意見について抜粋し記載する。なお、ひとつの意見の中に複数の内容がある場合があるため、各意見内容の件数の合計は 84 件を超えている。

教育の内容（授業や授業の内容について）	14件
・強制的な教育より自発的(子供が興味を持つ)な教育になればと考えます。 ・教育においての能力（勉学）だけではなく、各々の個性を見出し育てていく。余裕のある教育を望みます。 ・亀岡市は高齢化が進んでいると思うけど、都会ではどんどんICT化や、最新のものが出てきています。なので、地域や保護者の世代から最初は絶対に文句を言われると思うけど、今のままの教育を続けるのではなく、子供たちの為に新しい環境を作っていってほしい。僕もそれに向けて頑張ります（全然具体的じゃなくてすいません。）。	
教員の質について	10件
・教員の質の向上をお願いします。 ・教員と生徒の連携が不十分であり、信頼関係が築けていないと感じる事が多い。コロナで教員の負担が増えているためか、教員の質が低下しているためかはわかりませんが、生徒の気持ちに寄り添ってくれる教員が減ってきていると思います。 ・子どもが成長し今の現状はわかりません。教師の質も大事です。教育は家庭が基本と思いますが、できない家庭をどうフォローしていくか、個性を認める教育は、してほしい。家庭対応に苦慮される先生はたいへんですが、その先生をフォローすることも大事だと思います。	
家庭や地域での教育について	9件
・以前外国の方とお話しする機会があり、どのような思いで子供を育てているのかお聞きした時、即座に返ってきた言葉です。第一に社会貢献できる人間に育ってほしい。第二に人生の楽しさや面白さを知ってほしい。素晴らしい答えだと思いました。社会に貢献できる能力、知力を養い、どんな状況下でも楽しさや喜びを感じられる感性を育てるために、家庭はもちろん、地域社会でどんな手助けが必要なのでしょうか？未来を担う子供たちは地域社会の国の世界の…人類の宝だと思っています。 ・最近、コロナ禍の為か、昼間団地内で全く児童生徒の姿を見なくなった。又児童の集団登校時、自治会の時の見守り活動にも、あいさつをしても何の返答もない、何か元気のなさを感じる。今、自分達の子供時代を思いかえせば、貧しい苦しい生活で学校も家庭もほぼ放置状態であった。しかし、自分達それぞれが助けあい何かしらの目標をもち、輝く未来に期待し成長してきたものだと思う。今、時代も大きく変化し、昔の様にはいかないが家庭、学校、地域社会が一体となり、1人1人の子供が未来に期待を持って努力出来る環境を作ってやる必要があると思う。	

学校関連の制度や市の施策について（学区編成・規模適正化・小規模認定制度など）	6件
・校区が変わるという動きの中にいます。非常に残念です。自宅から遠くなります。それによって、考えていた小学校生活が変わります。 学童を利用するつもりでしたが、遠くなりました。微々たる差ではありますが、迎えにいく距離と手間が増えます。 ・校区変更対象地区だったため、転校する事になりましたが、前年に何度も行われた説明会では教員の異動も配慮すると言っていたにもかかわらず、顔見知りの先生は一人だったりゼロだったり全く話が違ふと感じました。転校生を入れたクラスの担任に異動してきた校区変更地区とは全く無関係の先生を配置したりと、今回の計画において教育委員会は実行後の改善や子供たちの学力向上、また教員の育成にまでは責任を持たないのだなという印象を強く受けました。	
子どもの課外活動について	5件
・中学生の文化祭、運動会等スタジアムを使うなど良いアイデアだと思います。亀岡にある施設を教育現場でどんどん使わせる。 ・私は大学で教職を履修し、教育現場の難しさを多少なりとも理解を深めたと感じてはいます。それを踏まえ、私は小・中・高の縦の関係、また小学校なら他の小学校同士での繋がりなど関係の広さが狭い様に感じています。現在は、多くの児童が何かしらの習い事、スポーツに挑戦し、その学外での学びの一つに地域を越えた仲間との新たな関係があります。しかし、多くとは言っても家庭による都合は様々で、そう言った機会に触れられない子もいるのが現状です。私自身、サッカーを通じて、市内の他の学校、また市府を超えた仲間ができたのは大切な経験ですし、世界が広がったのを覚えています。これを学校現場特に幼く多感な小学校の過程で行うことができれば、よりその後の進路の選択肢を広げられるのではないかと思います。私の世代が小学生だった頃は、陸上交換記録会や駅伝大会のみが他校と触れ合える唯一の機会でした。今は当時よりSNSも発達し、多くの人と触れあえますが、Face to Faceの関係を作る支えをしてあげるとより充実した学びに繋がるのではないかと思います。	
教員の待遇・負担軽減について	5件
・教職員の負担が多すぎる感じがする。長時間労働の改善、余裕のある教育を。 ・教員のレベルアップで聖職の意識を高めるため、それなりの報酬のアップが自信を持つ事になる。保護者の信頼が何より必要、現状は雑事が多すぎる。	
子ども同士の関係について	5件
・少子化により何かにつけ子供同士の切磋琢磨が少し悪くなっているように感じられます。習い事も多いのでしょうか。 ・子供のクラスに数人は不登校、自由登校（決まった時間に登下校できない）の方がおられるようです。事情は様々なようですが、だんだん増えておられるように感じます。一生に一度の学生生活、楽しめるようになればいいかなと思います。大人からではなく子供からの意見も	

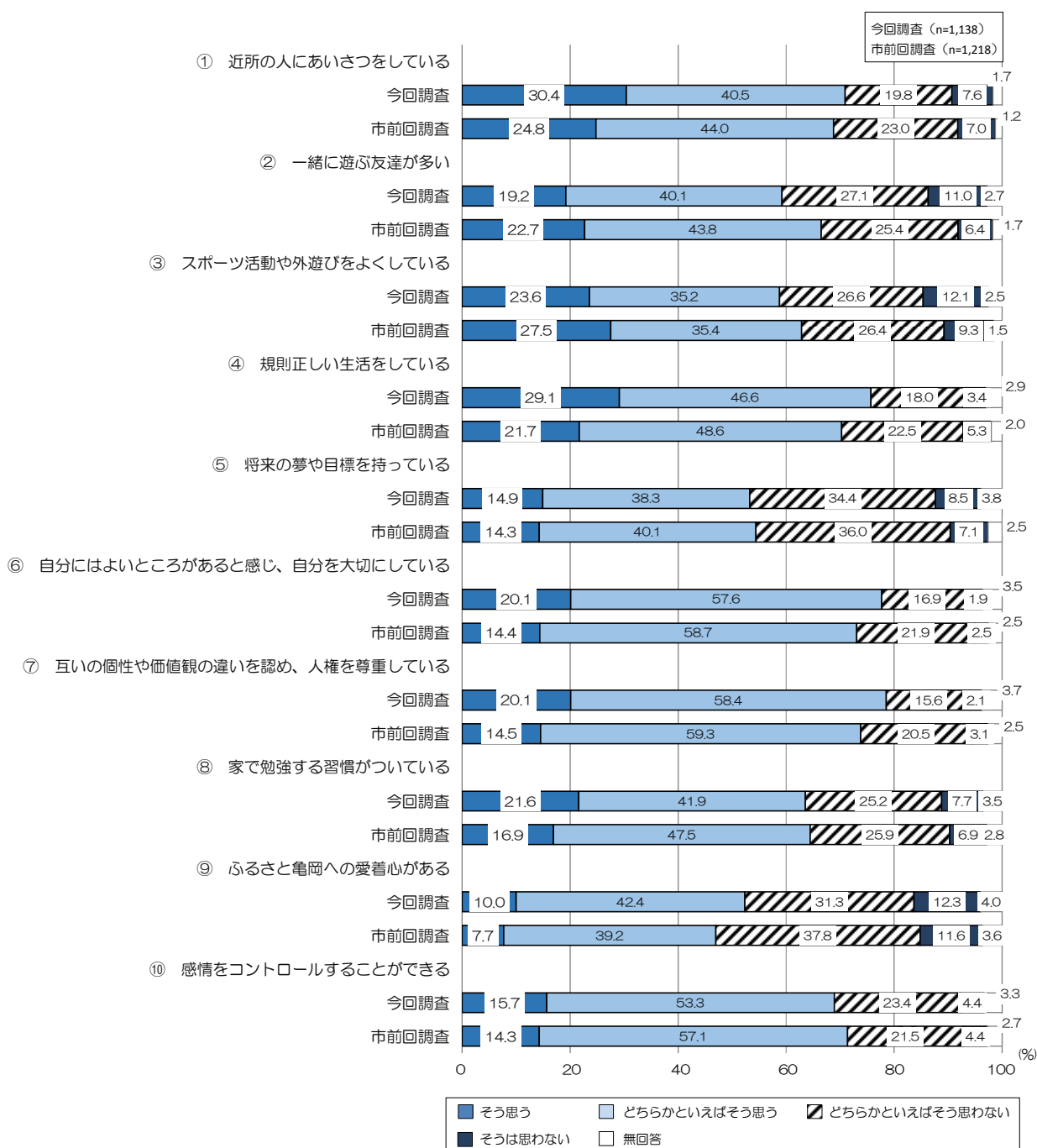
同じように聞いていただけたら良いのではないかと思います。間にもありました様に何事にも感謝する感性を育む機会が多くあればと思います。	
登下校について	4件
・40代になった子供たちが通学している頃から問題になっている通学路がいまだに改善されていない現状をどのように理解したらよいのか。	
学校外の地域の施設や設備について	3件
・図書館民営化してほしい。亀岡駅前に図書館がほしい。もしくは本屋を誘致してほしい。	
教育環境の均等化について	3件
・学校によって教育設備、教育環境の違いがある事が気になります（特に亀岡川東学園との違い等） ・校舎があまりにも古くトイレも汚く臭いです。今の時代からかなりのかけ離れた冷たい空間で市内では建て替えが進んでいます。子どもたちの勉強に対する意欲を高めるためにも早急に校舎の建て替えをお願いしたいです。	
学校の施設・設備について	2件
・児童が増えるから教室を増やすのは当然のことですが、遊具を撤去するしか方法はないのでしょうか？	
特別支援学級について	2件
・全ての学校で特別支援教育を中心に据えた学校経営をしないといけないと思う。	
その他のご意見	23件
・学校の事柄（実施状況）を家庭に伝えてほしい（授業の活動の写真等）。 ・孫が京都私学大学に通っていますが、大学も補助があれば（授業料）いいのと思う。勉強をさすにもお金がかかる（塾や公文など）。親は大変です。できる子に援助して、出来ない子にも応援してほしい。	

IV. 【参考】過去調査との比較

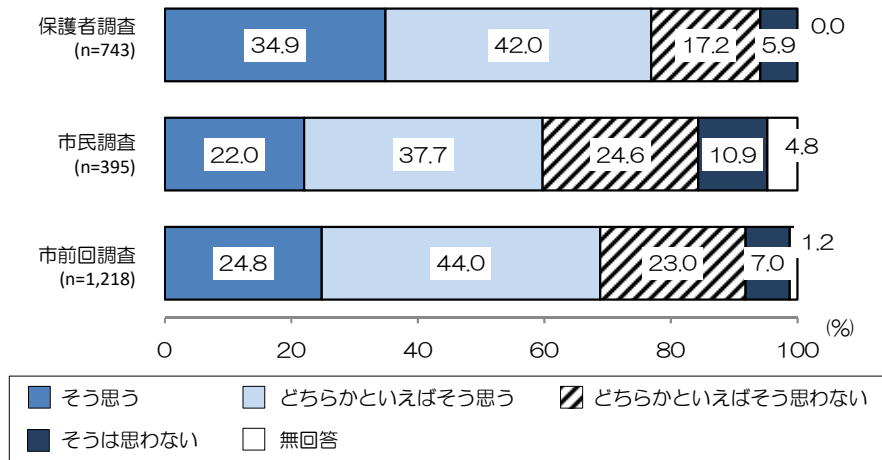
前回調査から継続している設問については、経年の傾向把握のため比較を行う。なお、本比較では、前回調査に合わせるため、保護者アンケートと市民アンケートで重複している設問については、合算をして集計を行っている。但し、アンケートの設計上、保護者アンケートと市民アンケートを重複して回答している方がいる可能性があるため、合算の集計については同一者の重複回答が含まれる場合があるため、本比較の結果については参考地として掲載していることに留意。

あなたのお子様の生活や行動について、どのように感じられますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで「○」を付けてください。

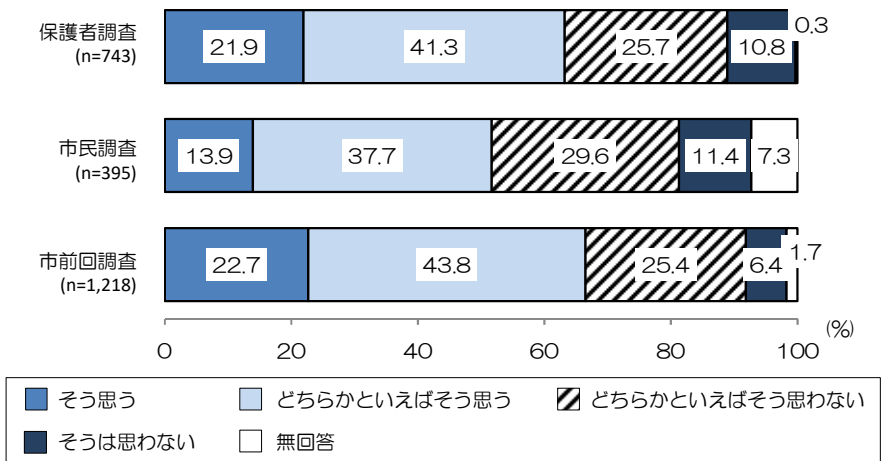
“そう思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）の割合が前回調査より増加したのは、「④規則正しい生活をしている」、「⑨ふるさと亀岡への愛着心がある」（ともに+5.4 ポイント）といった項目となっている。一方で、「②一緒に遊ぶ友達が多い」では“そう思う”の割合は低下している（-7.1 ポイント）。



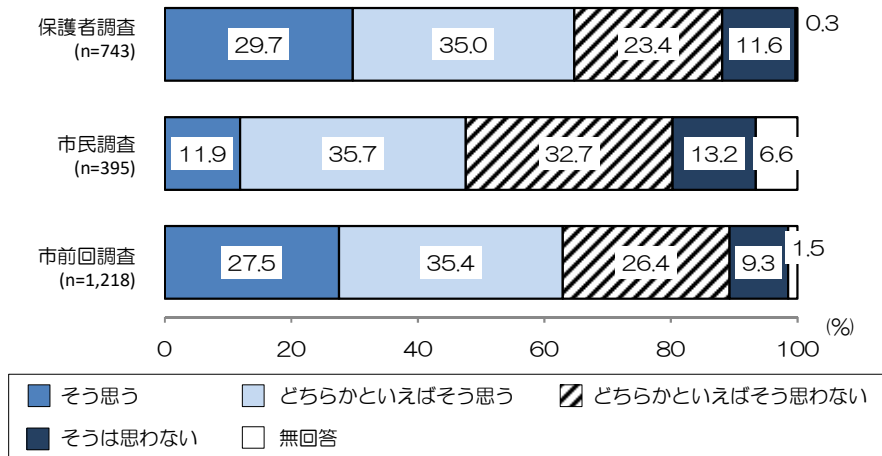
【①近所の人にあいさつをしている】



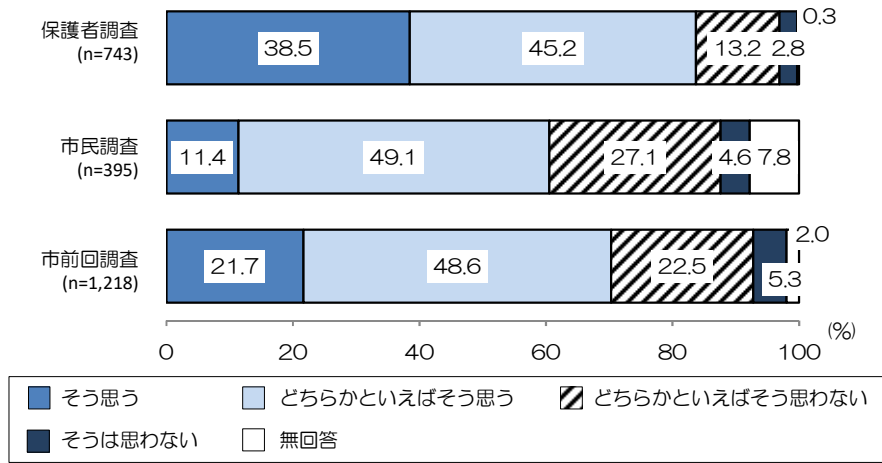
【②一緒に遊ぶ友達が多い】



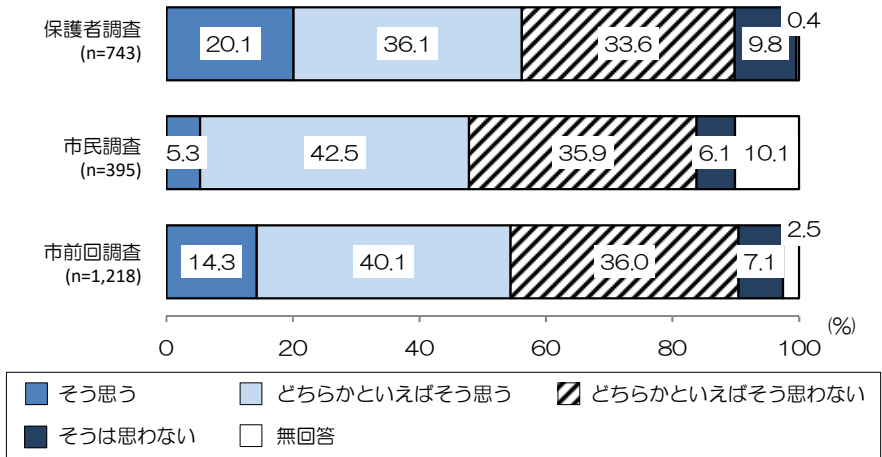
【③スポーツ活動や外遊びをよくしている】



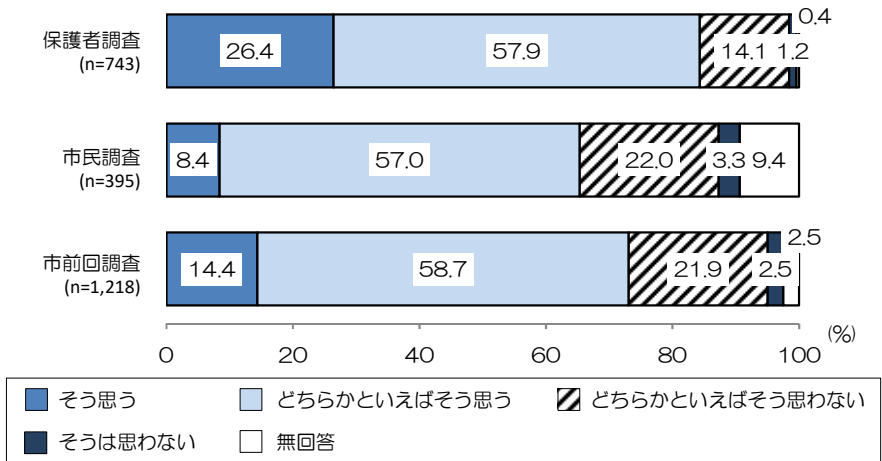
【④規則正しい生活をしている】



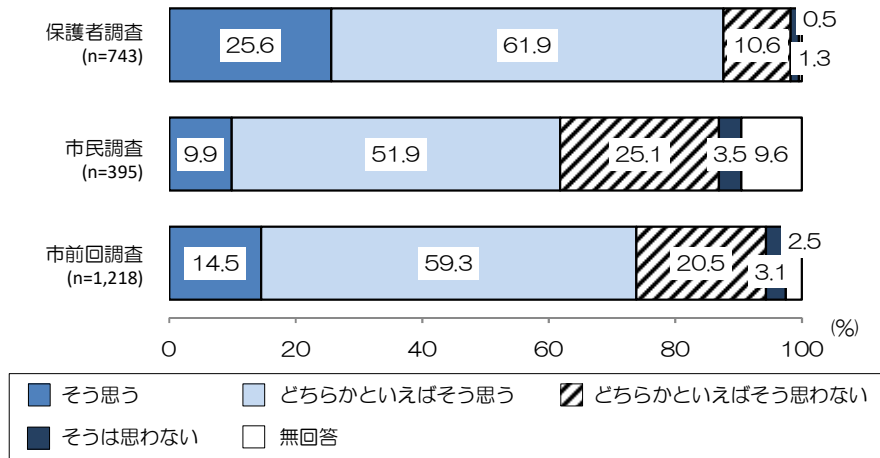
【⑤将来の夢や目標を持っている】



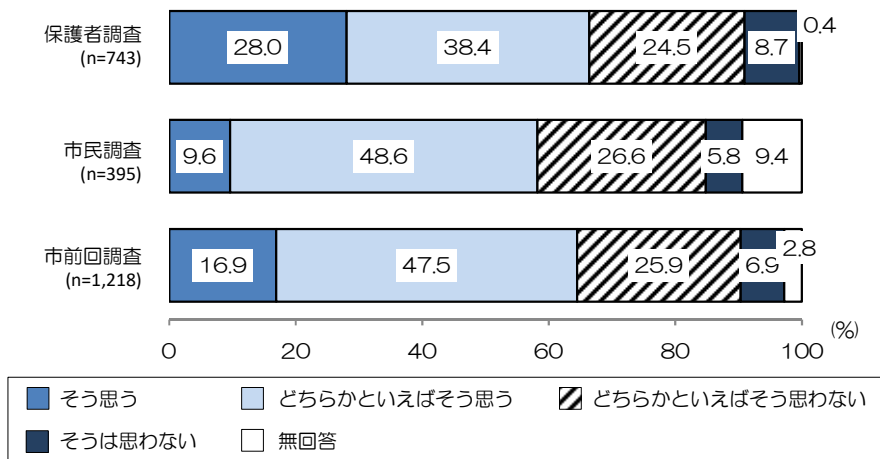
【⑥自分にはよいところがあると感じ、自分を大切にしている】



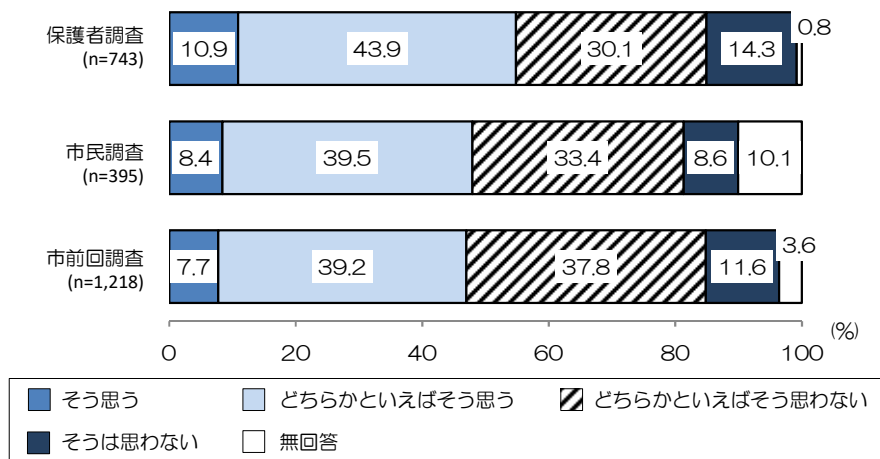
【⑦互いの個性や価値観の違いを認め、人権を尊重している】



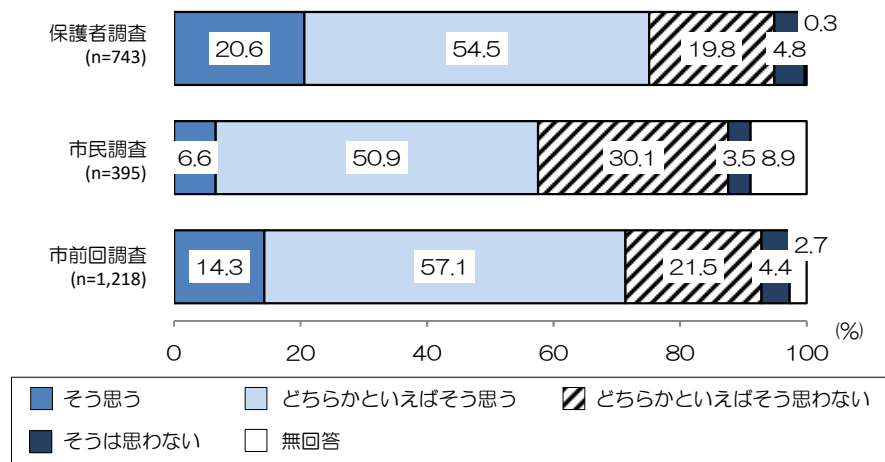
【⑧家で勉強する習慣がついている】



【⑨ふるさと亀岡への愛着心がある】



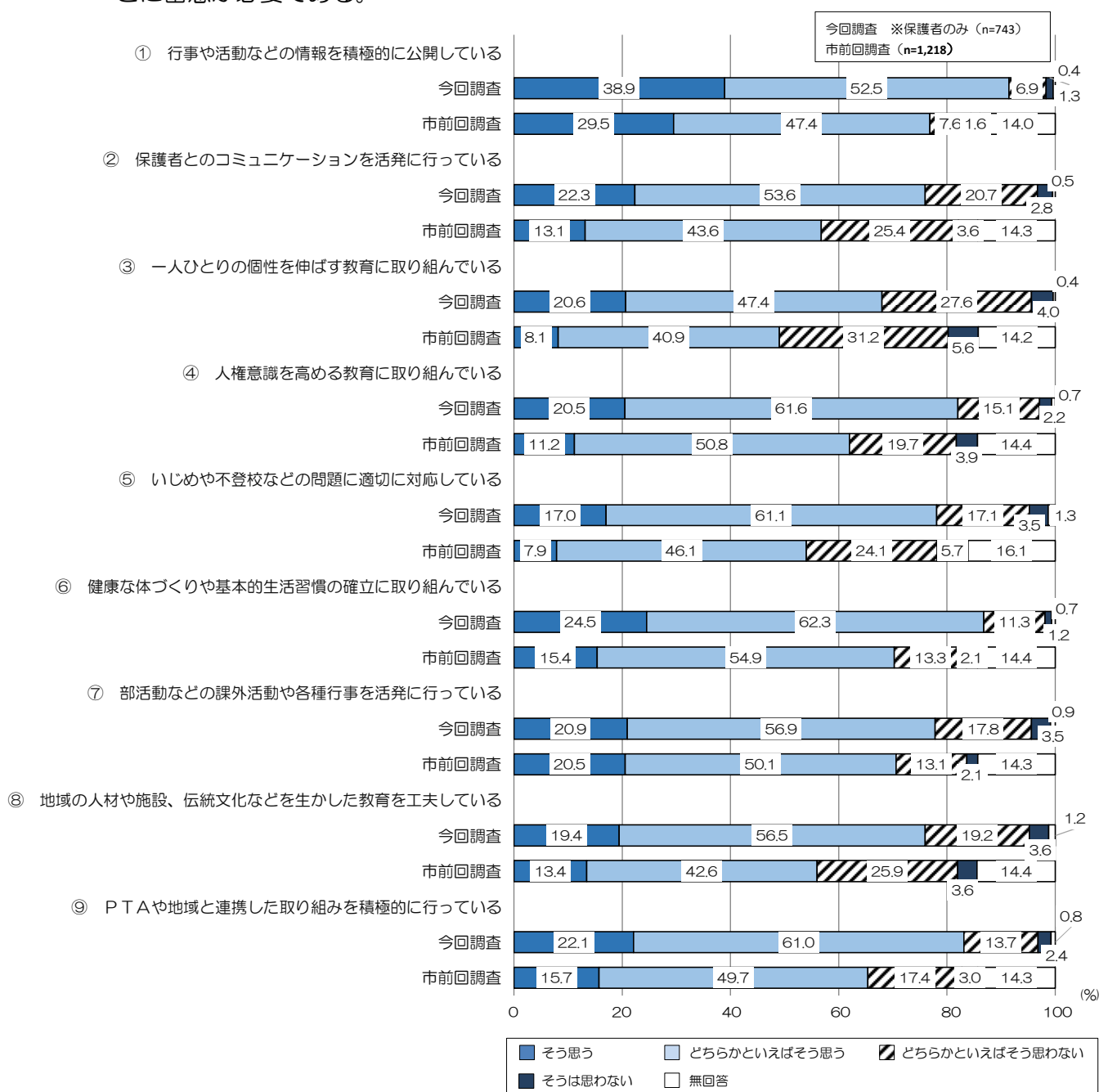
【⑩感情をコントロールすることができる】



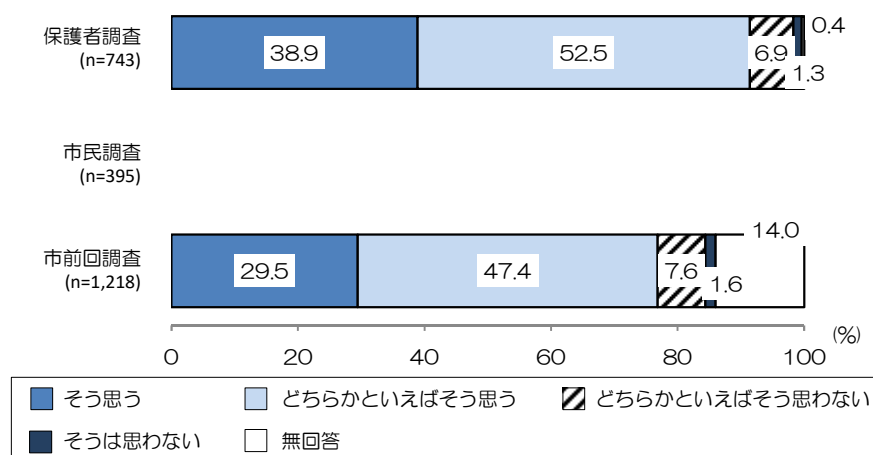
※⑪以降は前回調査無し

あなたのお子様が通っている亀岡市立の幼稚園・保育所・こども園・学校の取り組みについて、どのように感じておられますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで「○」を付けてください。

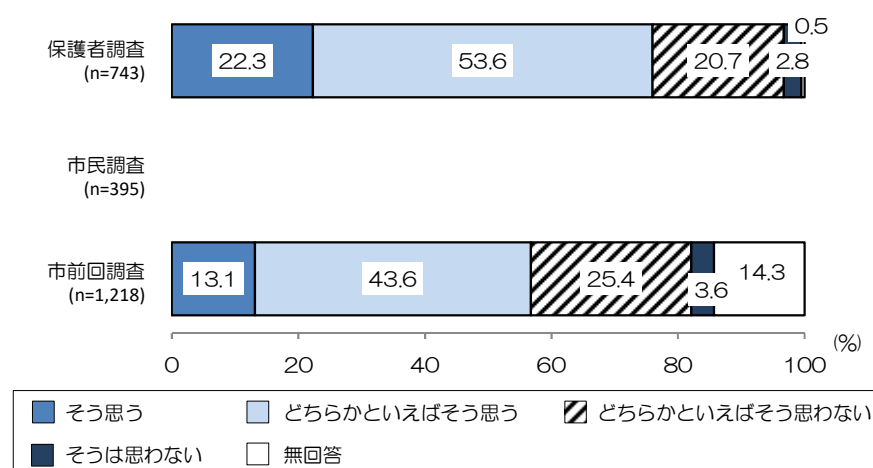
“そう思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）の割合は各項目とも市前回調査より増加しており、特に、「⑤いじめや不登校などの問題に適切に対応している」（+24.1 ポイント）、「④人権意識を高める教育に取り組んでいる」（+20.1 ポイント）といった項目で上がり幅が大きい。但し、今回調査は保護者のみへの聴取であることに留意が必要である。



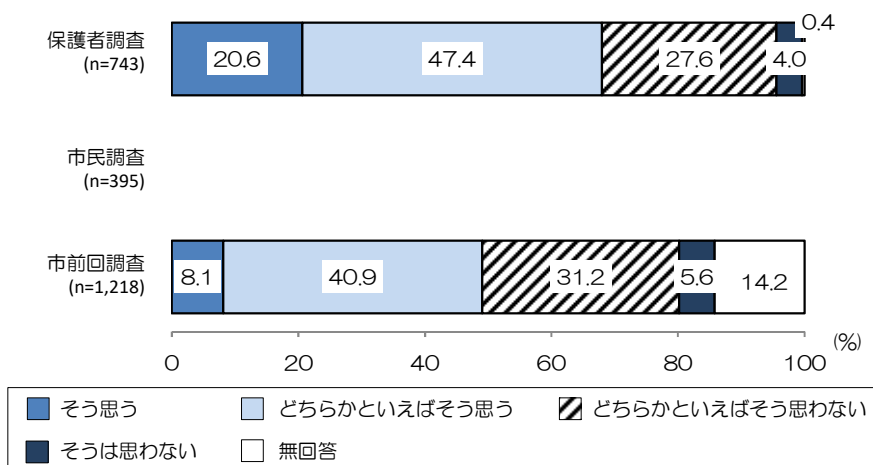
【①行事や活動などの情報を積極的に公開している】



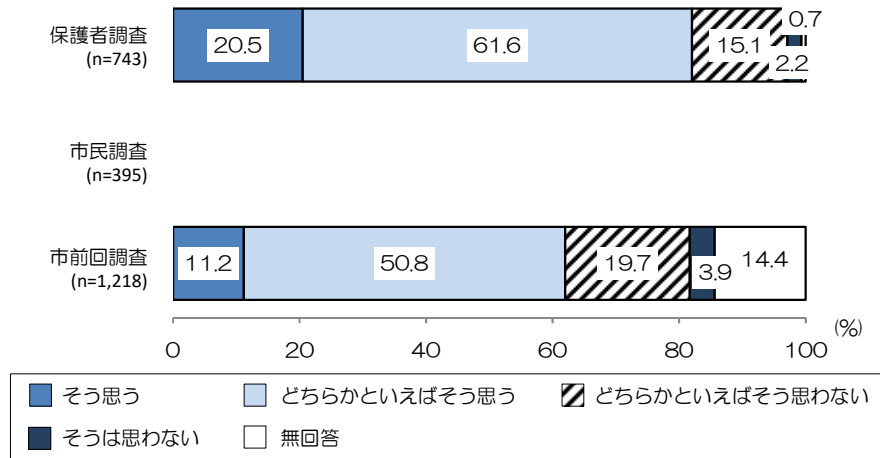
【②保護者とのコミュニケーションを活発に行っている】



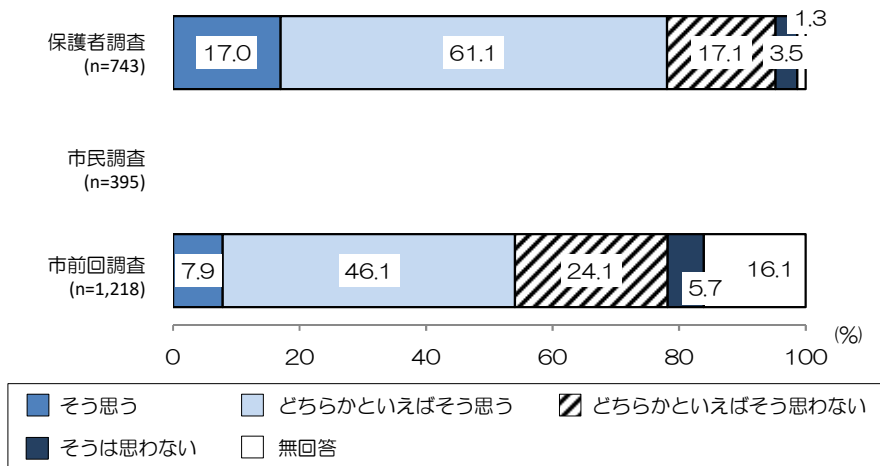
【③一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組んでいる】



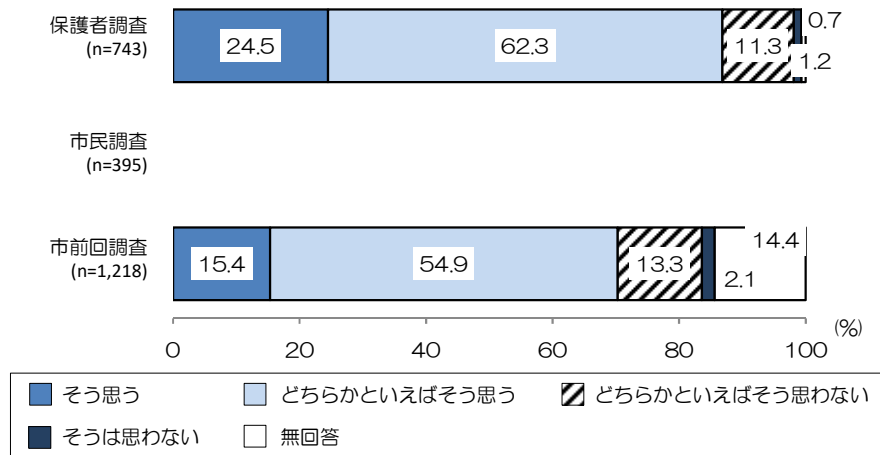
【④人権意識を高める教育に取り組んでいる】



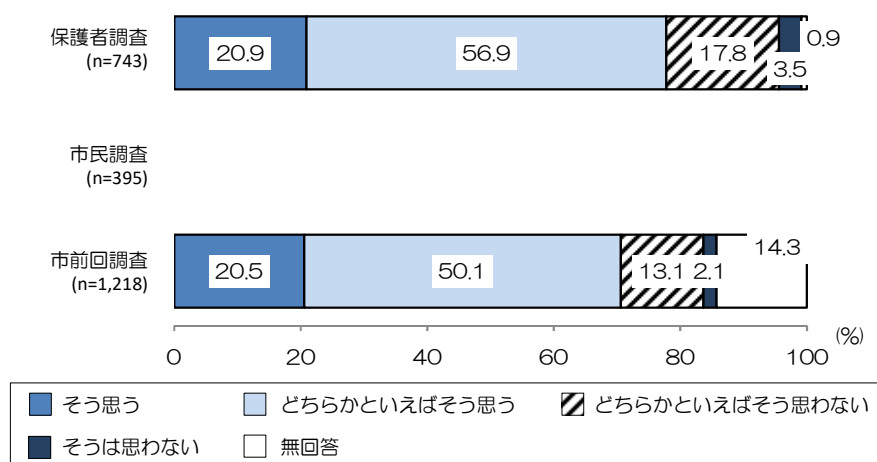
【⑤いじめや不登校などの問題に適切に対応している】



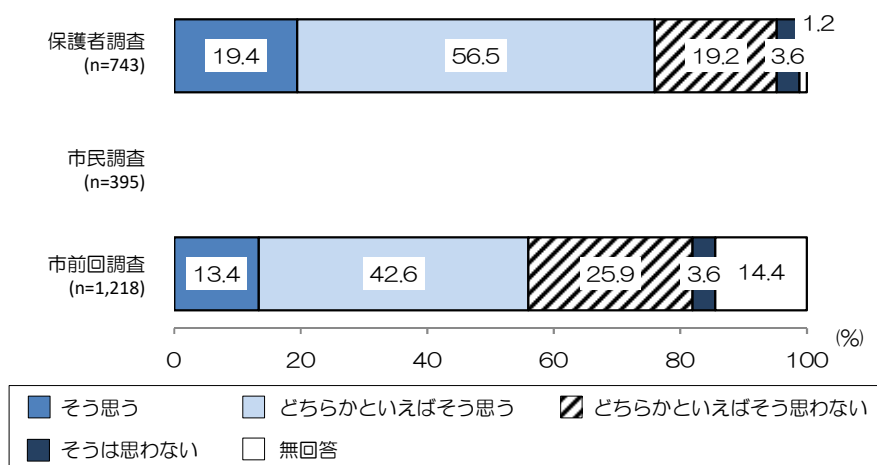
【⑥健康な体づくりや基本的生活習慣の確立に取り組んでいる】



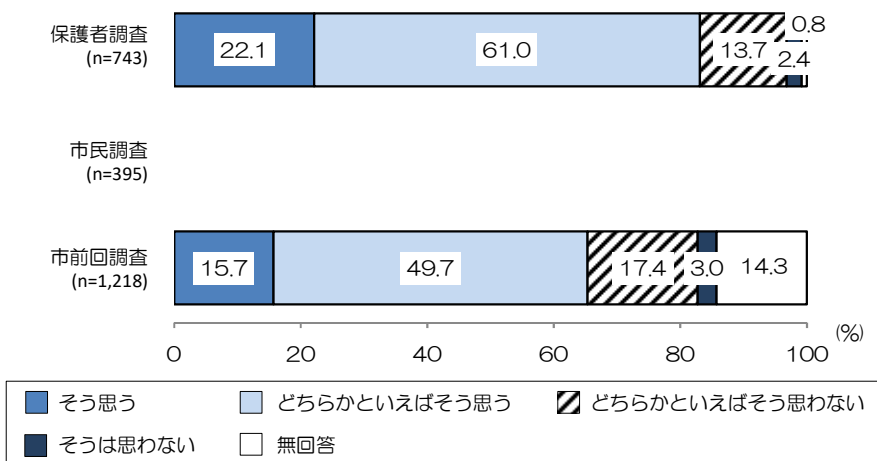
【⑦部活動などの課外活動や各種行事を活発に行っている】



【⑧地域の人材や施設、伝統文化などを生かした教育を工夫している】

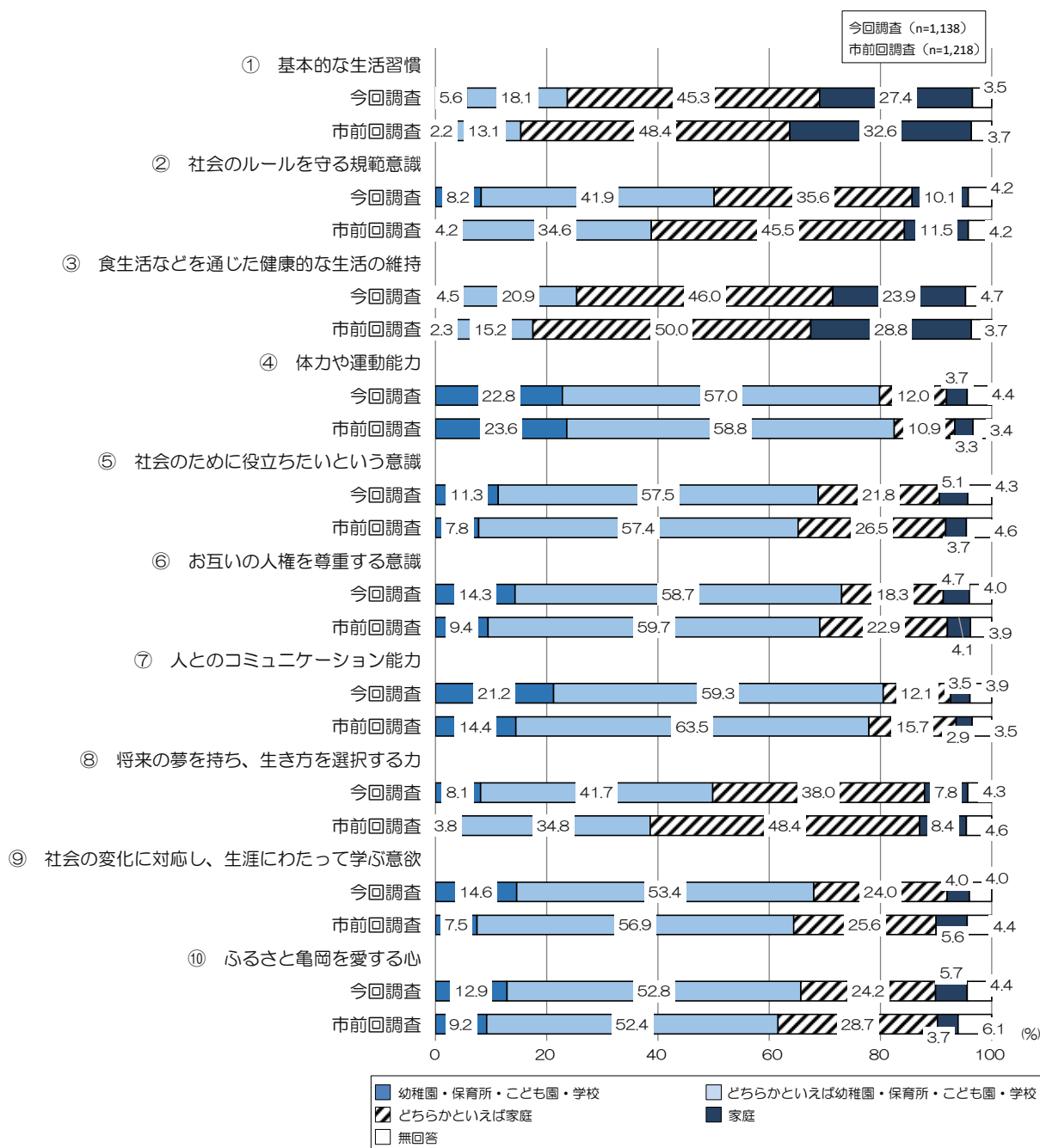


【⑨PTAや地域と連携した取り組みを積極的に行っている】

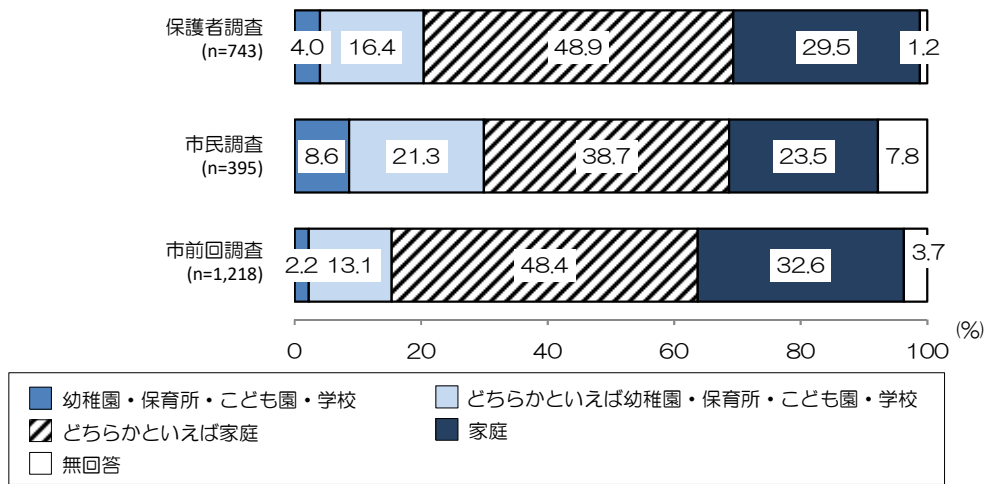


子どもの育成・支援に関する次の各項目について、現状では幼稚園・保育所・こども園・学校と家庭とではどちらが中心になって取り組んでいると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

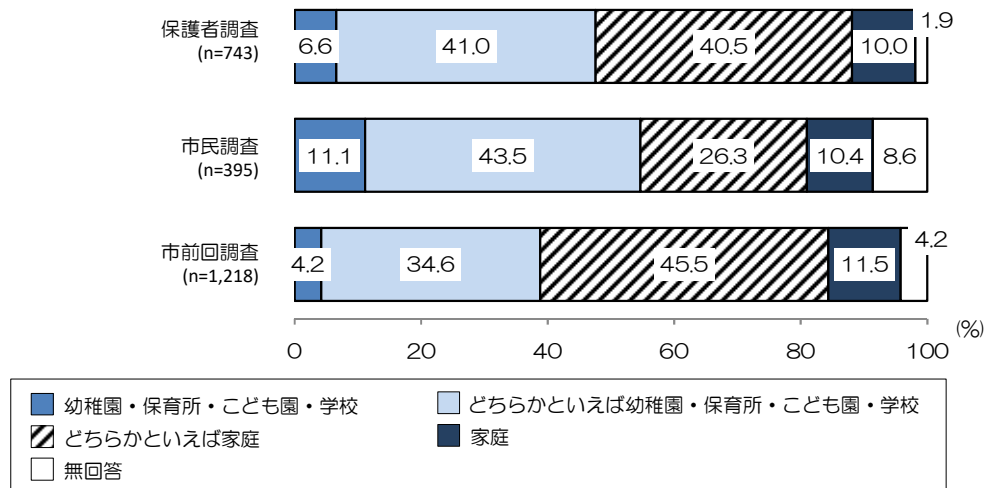
全体的に、市前回調査と比較して“学校が中心に取り組んでいる”（「幼稚園・保育所・こども園・学校」+「どちらかといえば幼稚園・保育所・こども園・学校」）の割合が増加している傾向にあり、特に「②社会のルールを守る規範意識」（+11.3ポイント）、「⑧将来の夢を持ち、生き方を選択する力」（+11.2ポイント）では、11ポイント以上増加している。



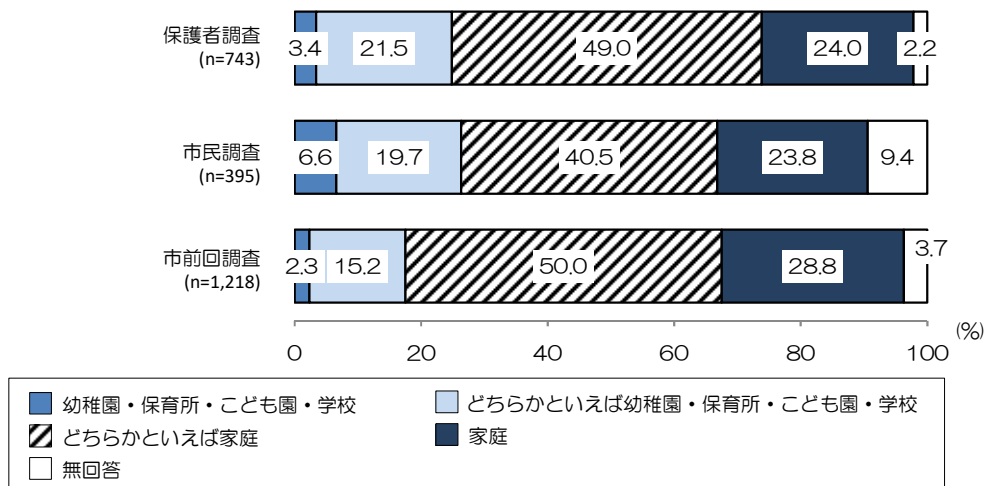
【①基本的な生活習慣】



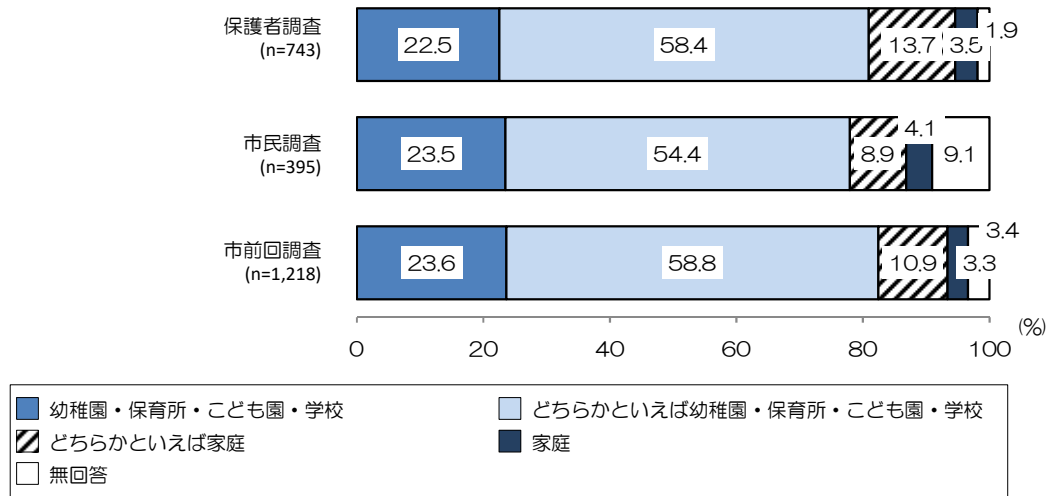
【②社会のルールを守る規範意識】



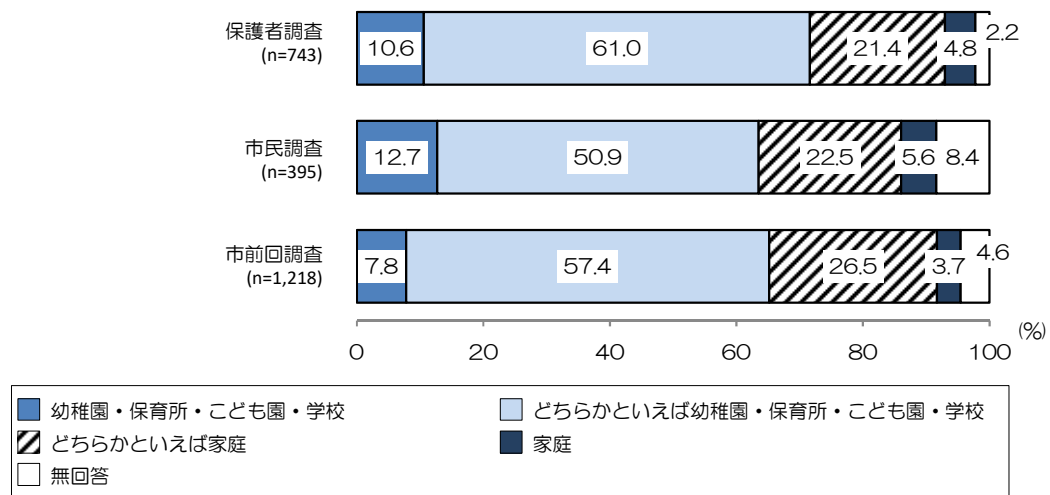
【③食生活などを通じた健康的な生活の維持】



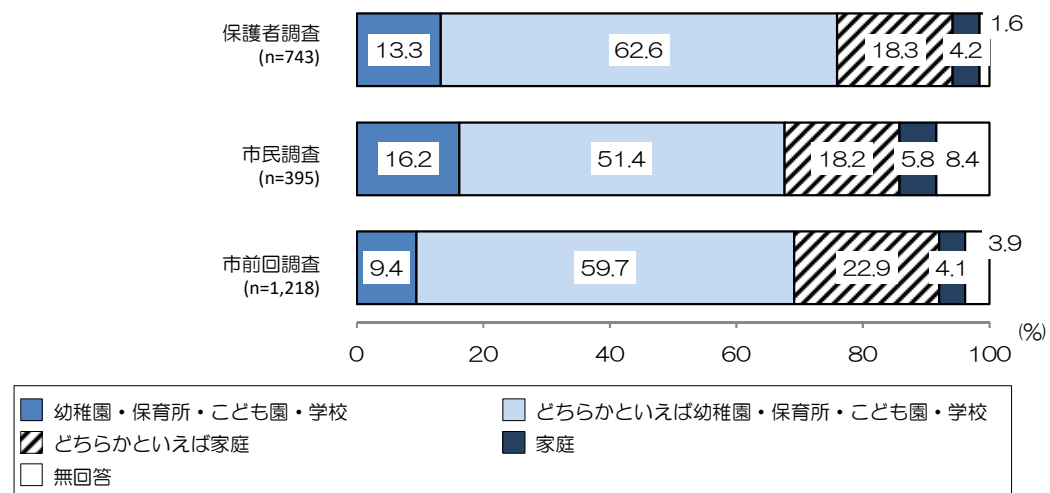
【④体力や運動能力】



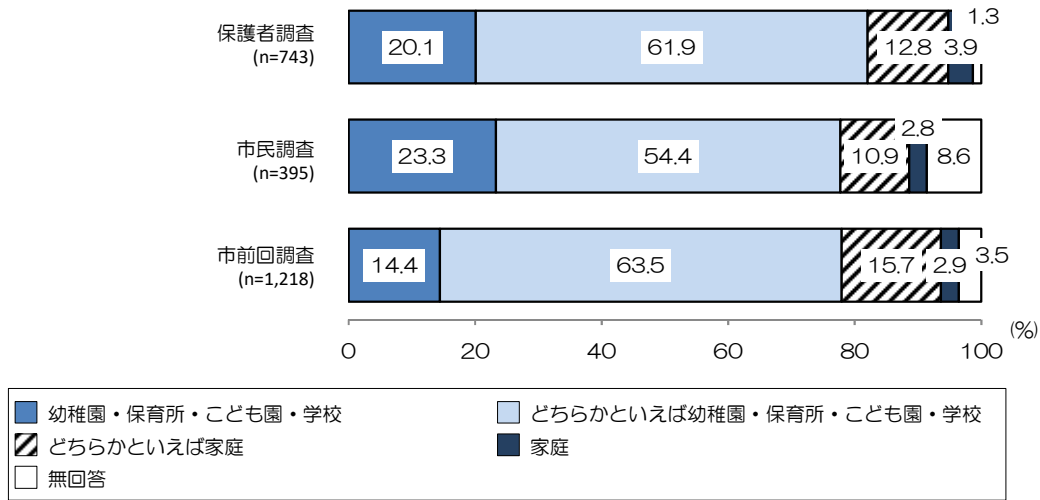
【⑤社会のために役立ちたいという意識】



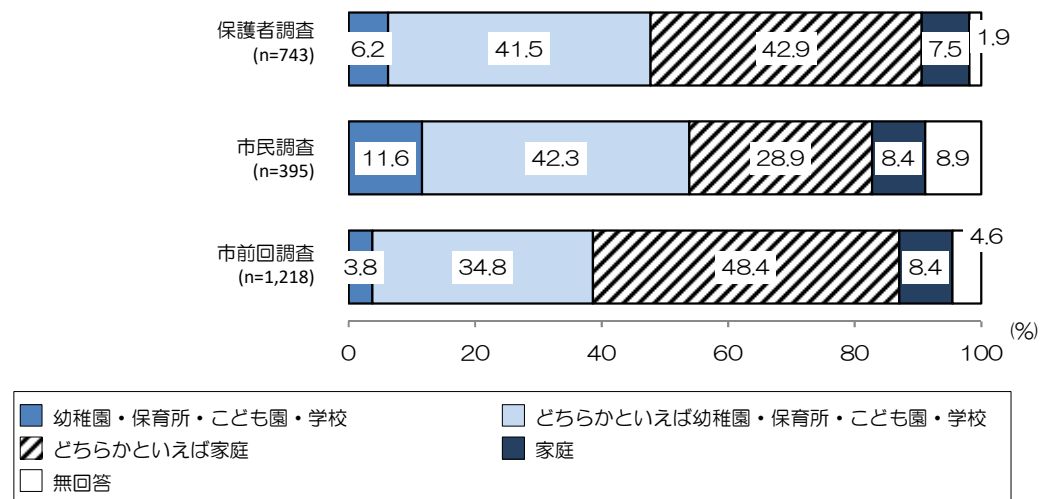
【⑥お互いの人権を尊重する意識】



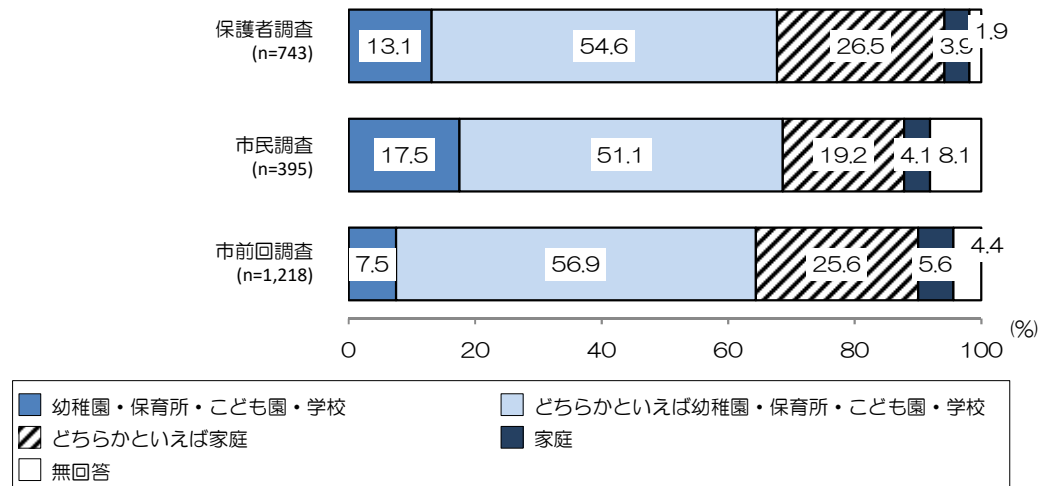
【⑦人とのコミュニケーション能力】



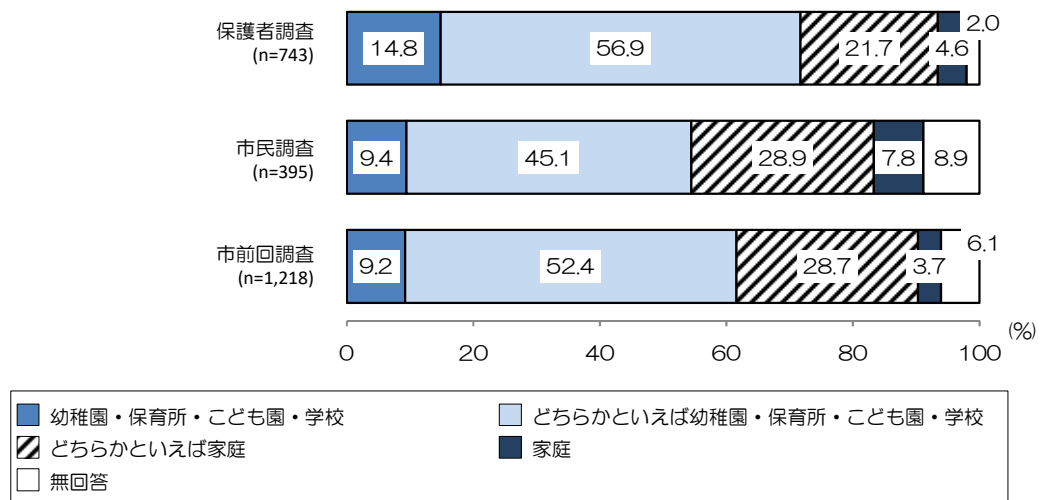
【⑧将来の夢を持ち、生き方を選択する力】



【⑨社会の変化に対応し、生涯にわたって学ぶ意欲】



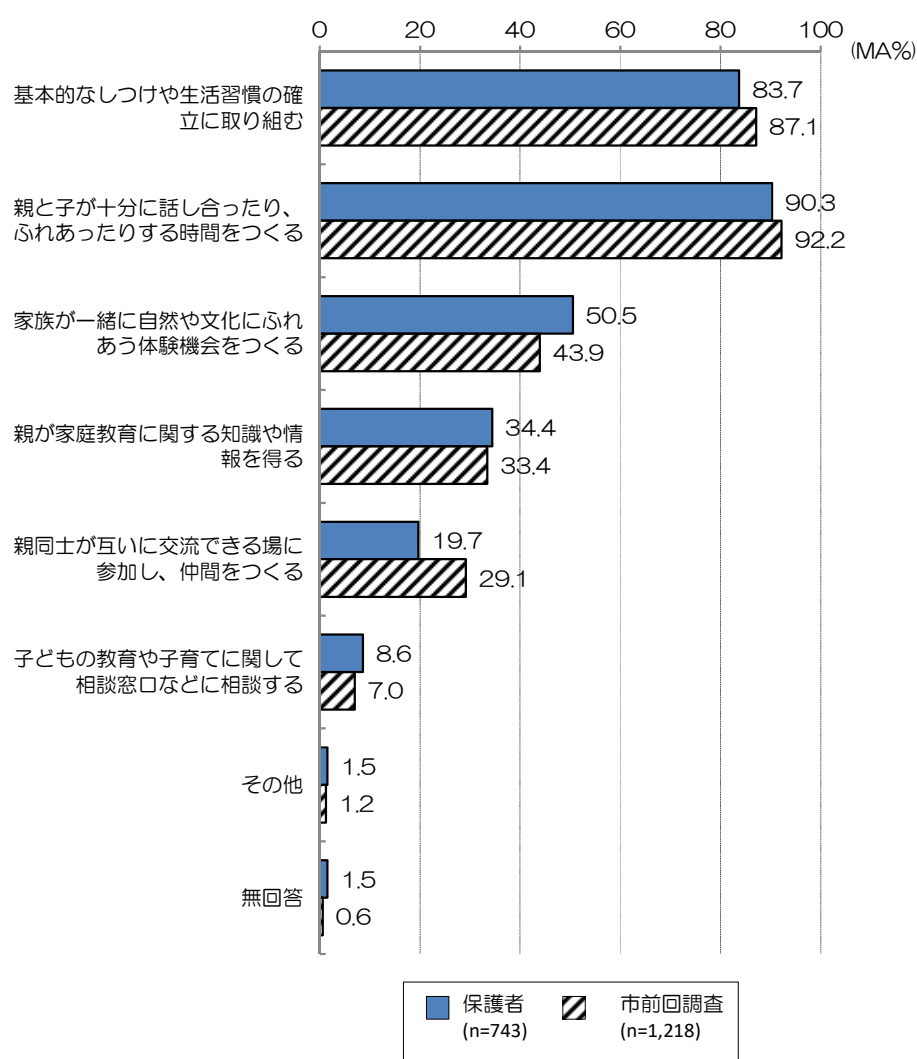
【⑩ふるさと亀岡を愛する心】

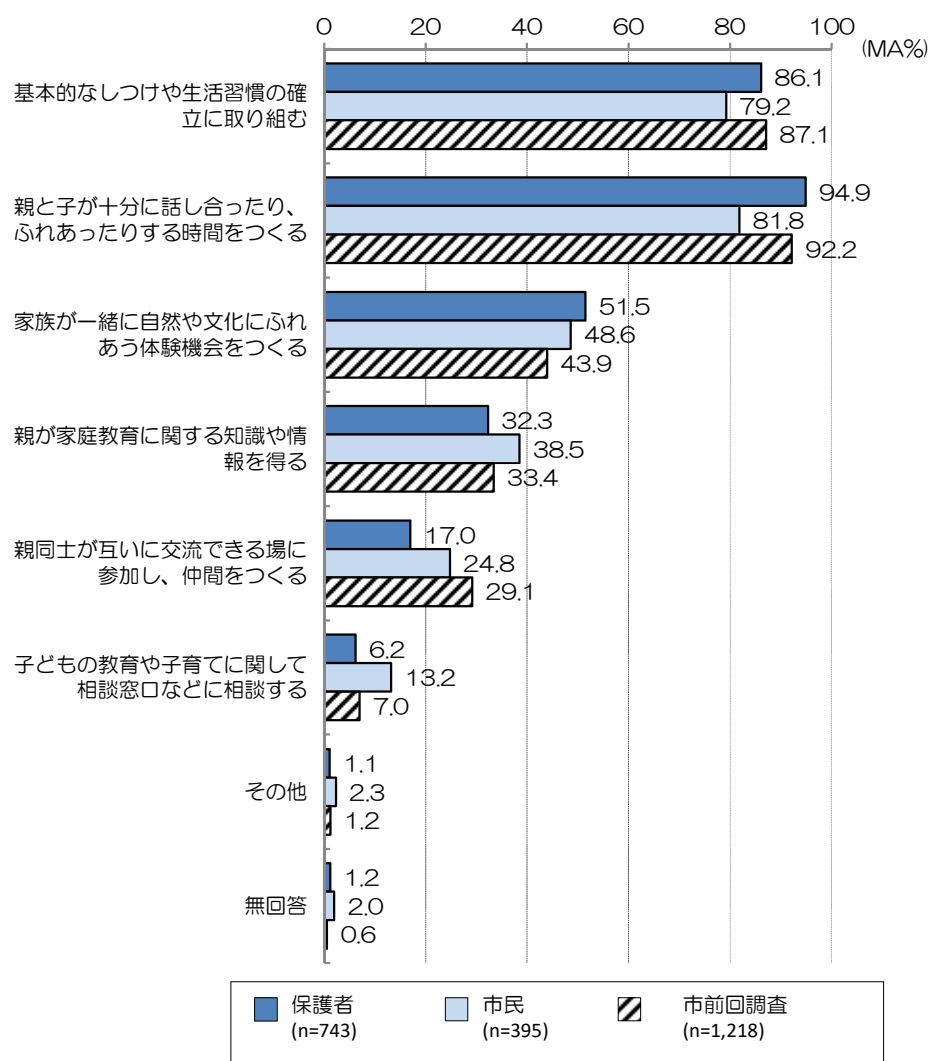


※⑪以降は前回調査無し

家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みが必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に「○」を付けてください。

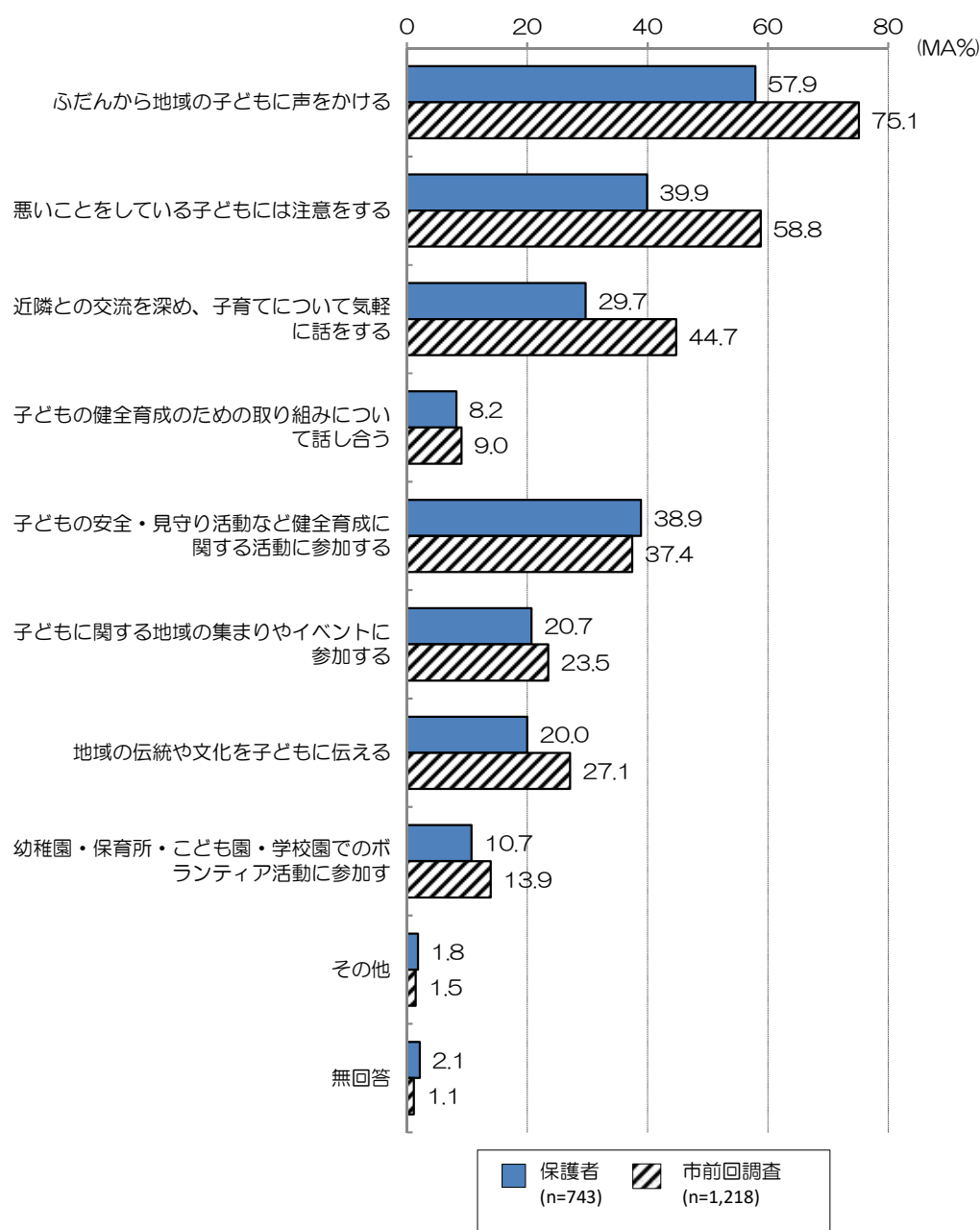
全体的に、市前回調査と比較してあまり大きな変化は見られないが、「家族が一緒に自然や文化にふれあう体験機会をつくる」の割合は前回調査より 6.6 ポイント増加している。また一方で、「親同士が互いに交流できる場に参加し、仲間をつくる」の割合は前回調査より 9.4 ポイント低下している。

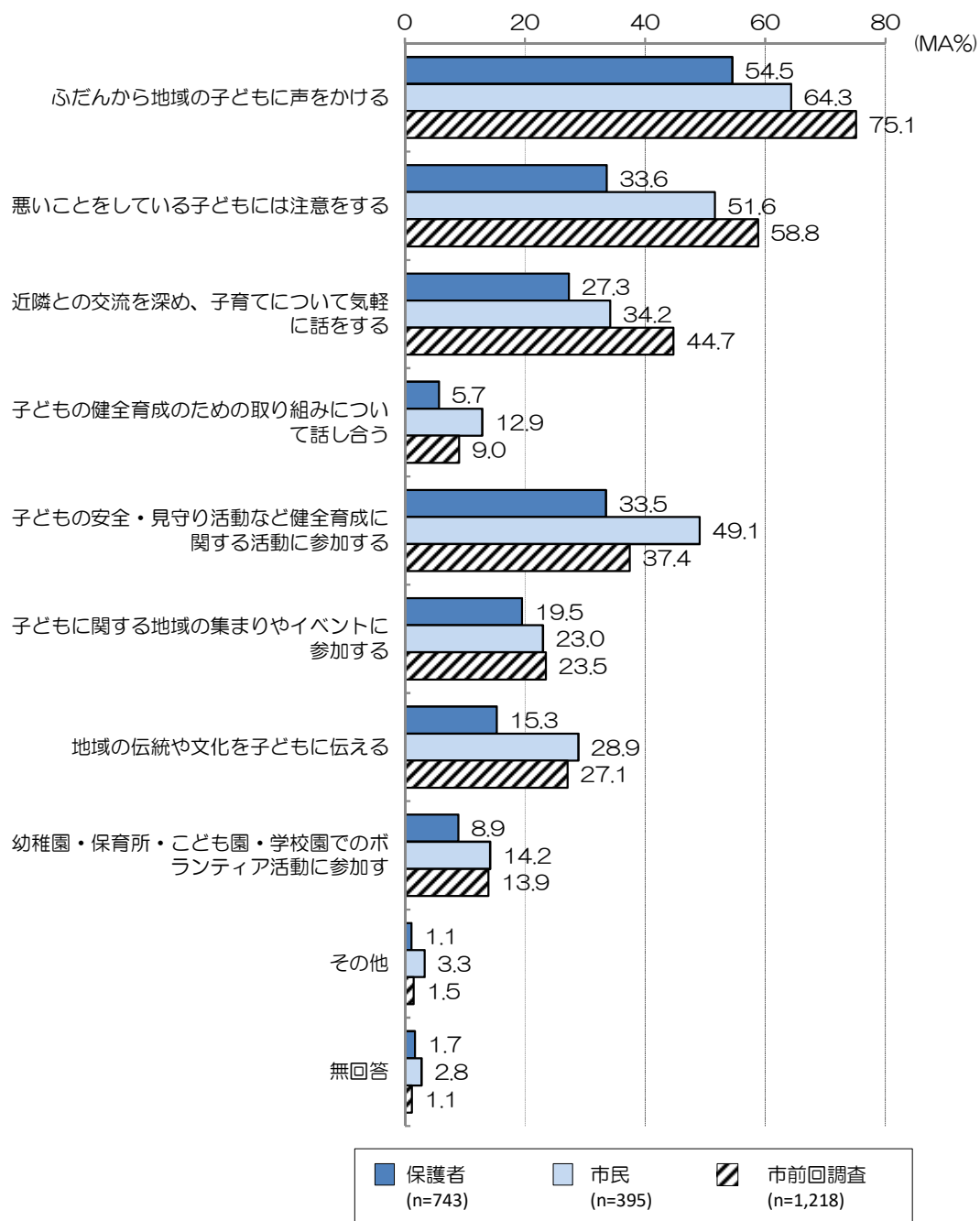




子どもの健全育成のために、地域住民に期待されることはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。
(○は3つまで)

市前回調査と比較して、上位2項目（「ふだんから地域の子どもに声をかける」、「悪いことをしている子どもには注意をする」）の順位は変化していないが、前回調査では、「近隣との交流を深め、子育てについて気軽に話をする」の割合が44.7%で3番目に高かったのに対して、今回の調査では、29.7%と15.0ポイント低下し、4番目に高い項目となっている。





V. 付録（調査票）

1. 保護者向けアンケート調査

次期「亀岡市教育振興基本計画」策定に向けたアンケート調査票

アンケート調査へのご協力のお願い

亀岡市立幼稚園・保育所・こども園及び小・中・義務教育学校に通う園児、児童、生徒の保護者の皆様におかれましては、日ごろより亀岡市の教育にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、亀岡市教育委員会では、目指すべき教育の基本的な方向性や重点施策を示す「亀岡市教育振興基本計画」を平成25年に策定し、「ともに学び ともに育ち ともに生きる かめおか教育の創造」を基本理念として掲げ、さまざまな施策を推進してまいりました。

本計画が令和3年度で計画期間を終えることから、次期亀岡市教育振興基本計画の策定を進めております。

このアンケートは、保護者の皆様の教育に対する考えやご意見をいただき、計画策定にあたり、その内容や方向性を検討するための基礎資料とさせていただくことを目的に行うものであり、亀岡市立の幼稚園・保育所・こども園に通う4歳児組の保護者様、亀岡市立小・中・義務教育学校に通う小学校2年生、小学校5年生の保護者様及び中学校2年生の保護者様にアンケートのご協力をお願いしております。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査の内容はすべて統計的に処理いたしますので、回答者の方々にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

亀岡市教育委員会

《ご回答についてのお願い》

- ◆ご回答については、当てはまる番号を「○」で囲んでください。なお、「○」の数については、質問によって異なりますので、質問の内容により「○」をお付けください。
- ◆ご記入いただいた後は、この用紙をそのまま折りたたんで、添付の回答用封筒に入れて、
12月14日（月）までに幼稚園・保育所・こども園・学校へ提出してください。
- ◆お子様が複数おられる等の理由で2通以上のアンケートを受け取られた場合は、それぞれのお子様について、ご回答いただき、お子様が通っている幼稚園・保育所・こども園・学校にご提出ください。
- ◆本調査につきましてご不明の点やご質問などがございましたら、下記へお問い合わせください。

亀岡市教育委員会 教育総務課

〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地

電話：0771-25-5052（直通） FAX：0771-23-3100

回答者ご自身とお子様のことについて、お伺いします

問1 あなたの年齢（1つだけ○）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 29歳以下 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60歳以上 | |

問2 あなたのお住まいの地域（1つだけ○）

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 曾我部町・吉川町・穂田野町 | 2. 東別院町・西別院町 |
| 3. 本梅町・東本梅町・畑野町・宮前町 | 4. 大井町・千代川町 |
| 5. 東つつじヶ丘・西つつじヶ丘・南つつじヶ丘 | 6. 篠町 |
| 7. 馬路町・旭町・千歳町・河原林町・保津町 | 8. 亀岡地区 |

問3 あなたの同居のご家族についてお答えください。（1つだけ○）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 親子（親族の同居を含む） | 2. 3世代（親族の同居を含む） |
| 3. その他（ ） | |

問4 あなたのお子様について、当てはまる番号すべてに「○」を付けてください。

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 乳幼児（小学校未就学） | 2. 小学生 | 3. 中学生 |
| 4. 高校生 | 5. 大学生、専門学校生等 | 6. その他（ ） |

問5 あなたのお子様に通っている幼稚園、保育所、こども園、小・中・義務教育学校（以下、「幼稚園・保育所・こども園・学校」という。）について、1つ選んで「○」を付けてください。なお、お子様が複数おられる等の理由で2通以上のアンケートを受け取られた場合は、提出される幼稚園・保育所・こども園・学校に通っているお子様についてお答えください。

- | | | | |
|---------------------|--------|---------|---------------------|
| 1. 幼稚園 | 2. 保育所 | 3. こども園 | 4. 小学校・亀岡川東学園（前期課程） |
| 5. 中学校・亀岡川東学園（後期課程） | | | |

教育を取り巻く現状（環境）について、お伺いします

問6 あなたのお子様の生活や行動について、どのように感じられますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで「○」を付けてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
①近所の人にあいさつをしている	1	2	3	4
②一緒に遊ぶ友達が多い	1	2	3	4
③スポーツ活動や外遊びをよくしている	1	2	3	4

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そうは思わな い
④規則正しい生活をしている	1	2	3	4
⑤将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4
⑥自分にはよいところがあると感じ、自分 を大切にしている	1	2	3	4
⑦互いの個性や価値観の違いを認め、人権 を尊重している	1	2	3	4
⑧家で勉強する習慣がついている	1	2	3	4
⑨ふるさと亀岡への愛着心がある	1	2	3	4
⑩感情をコントロールすることができる	1	2	3	4
⑪物事を最後まであきらめずにやり抜く ことができる	1	2	3	4
⑫パソコン、タブレット、スマートフォン、 携帯電話などを使っている	1	2	3	4
⑬SNSを利用している	1	2	3	4

問7 あなたのお子様が通っている亀岡市立の幼稚園・保育所・こども園・学校の取り組みについて、どのように感じておられますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んで「○」を付けてください。

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そうは思わな い
①行事や活動などの情報を積極的に公開 している	1	2	3	4
②保護者とのコミュニケーションを活発 に行っている	1	2	3	4
③一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り 組んでいる	1	2	3	4
④人権意識を高める教育に取り組んでい る	1	2	3	4
⑤いじめや不登校などの問題に適切に対 応している	1	2	3	4
⑥健康な体づくりや基本的生活習慣の確 立に取り組んでいる	1	2	3	4
⑦部活動などの課外活動や各種行事を活 発に行っている	1	2	3	4

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そうは思わな い
⑧地域の人材や施設、伝統文化などを 生かした教育を工夫している	1	2	3	4
⑨P T Aや地域と連携した取り組みを 積極的に行っている	1	2	3	4

問8 子どもの育成・支援に関する次の各項目について、現状では幼稚園・保育所・こども園・学校と家庭とではどちらが中心になって取り組んでいると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

	幼稚園・ 保育所・ こども園・ 学校	どちらかとい えば幼稚園・ 保育所・ こども園・ 学校	どちらかとい えば家庭	家庭
①基本的な生活習慣	1	2	3	4
②社会のルールを守る規範意識	1	2	3	4
③食生活などを通じた健康的な生活の維持	1	2	3	4
④体力や運動能力	1	2	3	4
⑤社会のために役立ちたいという意識	1	2	3	4
⑥お互いの人権を尊重する意識	1	2	3	4
⑦人とのコミュニケーション能力	1	2	3	4
⑧将来の夢を持ち、生き方を選択する力	1	2	3	4
⑨社会の変化に対応し、生涯にわたって学ぶ意欲	1	2	3	4
⑩ふるさと亀岡を愛する心	1	2	3	4
⑪インターネットや携帯電話、スマートフォン等 の適切な利用	1	2	3	4

問9 あなたは、今までに幼稚園・保育所・こども園・学校の行事や活動に参加したことはありますか。当てはまる番号を1つ選んで「○」を付けてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

問9-1 問9で「1. ある」と答えた方にお聞きます。あなたは今までどのような行事や活動に参加されましたか。当てはまる番号すべてに「○」を付けてください。

1. PTA活動	2. 授業補助や放課後指導の支援
3. 部活動の指導や運営	4. 登下校など子どもの安全管理
5. 非行防止や生徒指導への協力	6. 花壇や芝生の手入れなど学校の環境整備
7. 幼稚園・保育所・こども園・学校公開日や授業参観への参加	8. 学校図書館の運営支援や読み聞かせ
9. 幼稚園・保育所・こども園・学校外での地域活動体験の手伝い	10. 子ども会・育成会の活動
11. その他（ ）	

問10 あなたは、お子様の幼稚園・保育所・こども園・学校の情報をどのように得ていますか。

当てはまる番号すべてに「○」を付けてください。

※9. を選択した場合は、SNSの種類をご記入ください。

1. 子どもとの会話	2. 幼稚園・保育所・こども園・学校からの配布物
3. 亀岡市立学校情報メール	4. 公立保育所・認定こども園・市立幼稚園情報メール
5. 他の保護者との会話	6. 学校の懇談会等を通じて
7. 学校のホームページ	8. 他の保護者とのメール等
9. SNS (LINE、Facebook、Twitter など)	10. その他（ ）
(SNSの種類：)	

問11 あなたは、亀岡市教育委員会が行っている、次の取り組みをご存じですか。

当てはまる番号をそれぞれ1つ選んで「○」を付けてください。

	知っている	聞いたことがある	知らない
①地域未来塾 (※1)	1	2	3
②少人数教育の推進	1	2	3
③家庭教育支援事業 (※2)	1	2	3
④学校安全メール (※3)	1	2	3
⑤子ども見守りシステム (※4)	1	2	3
⑥京都亀岡学校応援事業 (ふるさと納税) (※5)	1	2	3
⑦楽器寄附ふるさと納税 (※6)	1	2	3
⑧外国語指導助手 (ALT) 設置事業 (※7)	1	2	3
⑨仕事・文化体験活動推進事業 (※8)	1	2	3
⑩地域ふれあいサイエンスフェスタ (※9)	1	2	3

問 13 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みが必要だと思われますか。

あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に「○」を付けてください。

1. 基本的なしつけや生活習慣の確立に取り組む
2. 親と子が十分に話し合ったり、ふれあったりする時間をつくる
3. 家族と一緒に自然や文化にふれあう体験機会をつくる
4. 親が家庭教育に関する知識や情報を得る
5. 親同士が互いに交流できる場に参加し、仲間をつくる
6. 子どもの教育や子育てに関して相談窓口などに相談する
7. その他（

問 14 子どもの健全育成のために、地域住民に期待されることはどのようなことですか。

あなたの考えに近いものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。

1. ふだんから地域の子どもに声をかける
2. 悪いことをしている子どもには注意をする
3. 近隣との交流を深め、子育てについて気軽に話をする
4. 子どもの健全育成のための取り組みについて話し合う
5. 子どもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に参加する
6. 子どもに関する地域の集まりやイベントに参加する
7. 地域の伝統や文化を子どもに伝える
8. 幼稚園・保育所・こども園・学校でのボランティア活動や行事等に参加する
9. その他（

問 15 放課後児童会(※¹)における子どもたちへの育成支援として期待されることはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。

1. 宿題や遊び、片付けなど、時間に見通しをもって主体的に過ごせる力を育む
2. 手洗いやうがい、持ち物の管理や整理整頓など基本的な生活習慣を育む
3. 遊びなどを通じて、お互いを尊重し、認め合う中で、仲間関係を広げる力を育む
4. 宿題や自習等の学習活動を自主的にできる力を育む
5. 集団活動の中で、自分の気持ちや意見を表現することができる力を育む
6. 遊びの場面などで、危険なことについて自身が考え、判断できる力を育む
7. その他（ ）

※１：保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、適切な遊びや生活の場を提供することで、児童の健全な育成を図ることを目的に、市内全校区で放課後児童会を開設しています。

1. 遠隔・ICT 学習環境や教材備品の整備
2. 学力の育成
3. 外国語教育
4. 国際理解教育、外国につながる子どもへの学習支援の推進
5. 情報モラルを含む ICT 教育の推進
6. プログラミング教育
7. 生徒指導・教育相談活動の充実
8. 人権教育の推進
9. 道徳教育の推進
10. 教職員の資質向上
11. 小学校給食の充実（アレルギーに対する配慮など）
12. 食育の充実
13. 中学校昼食の充実（中学校選択制デリバリー弁当の充実、中学校給食の在り方）
14. 校種間連携の推進（※1）
15. 学校規模適正化の推進
16. 体験活動（ふるさと体験学習）などの充実
17. 特別支援教育の充実
18. 幼児教育総合センター機能の強化（※2）
19. 老朽化した学校校舎の長寿命化・トイレの洋式化
20. 学校司書の配置及び学校図書館の利用促進
21. 安全・安心な通学路の確保
22. 安全教育（防災訓練、交通安全教室など）の推進
23. 感染症予防設備の充実
24. 適応指導教室の充実（※3）
25. 図書館サービス（ホームページ、図書資料、子どもの読書環境）の充実
26. 読書ボランティアへの支援とネットワーク強化
27. その他（ ）
28. わからない

校種間（幼稚園・保育所・保育園・こども園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校）で十分連携を図る取り組み

※3：不登校やその傾向にある子どもを対象に開設している教室

問 19-2 問 19 で「3. どちらかといえば推進すべきだと思わない」、「4. 推進すべきだと思わない」と答えた方にお聞きします。そのように思われる理由について、あなたの考えに近いものを 1つ選んで 番号に「○」を付けてください。

1. ICT機器の不具合により、授業の滞りが起こる可能性があるから
2. 有害な WEB サイトの表示・閲覧などのインターネットトラブルが懸念されるから
3. ICT機器を長時間使用することにより心身に悪影響が出る可能性があるから
4. 教師の指導力により ICT教育の質に格差が生まれる可能性があるから
5. 子どもの書く力が低下することが懸念されるから
6. 子どもが自分で考える力が育たないことが懸念されるから
7. その他（ ）

持続可能な開発目標（SDGs）について、お伺いします

問 20 あなたは「持続可能な開発目標（SDGs）」を知っていますか。当てはまるものを 1つ選んで 番号に「○」を付けてください。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 全く知らない

問 21 「持続可能な開発目標（SDGs）」では、教育に関する目標として、「質の高い教育をみんなに」が掲げられており、一貫した質の高い教育を誰でも平等に受けられることを目指しています。主に学校教育において、今後、教育の質を高めていくうえで、必要と思われることは何ですか。当てはまるものを 1つ選んで 番号に「○」を付けてください。

1. 就学前教育を一元化し、教育水準を均等化させること
2. 画一的な教育体系ではなく、個人の特性を踏まえた柔軟な教育が受けられるようにすること
3. 生まれた地域や家庭環境により、受けられる教育に格差を生じさせないこと
4. 世界で活躍できるようなグローバルな人材を育てること
5. 行政と民間が連携し、実践的な事例を学べる機会を設けること
6. 優秀な教員を育てることができる学校環境を整えること
7. その他（ ）
8. わからない

最後に、本市の教育について、日頃お気付きの点や今後期待すること等、お感じになっていることがございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

2. 市民向けアンケート調査

次期「亀岡市教育振興基本計画」策定に向けたアンケート調査票

アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆様におかれましては、日ごろより亀岡市の教育にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、亀岡市教育委員会では、目指すべき教育の基本的な方向性や重点施策を示す「亀岡市教育振興基本計画」を平成 25 年に策定し、「ともに学び ともに育ち ともに生きる かめおか教育の創造」を基本理念として掲げ、さまざまな施策を推進してまいりました。

本計画が令和 3 年度で計画期間を終えることから、次期亀岡市教育振興基本計画の策定を進めております。

このアンケートは、市民の皆様の教育に対する考えやご意見をいただき、計画策定にあたり、その内容や方向性を検討するための基礎資料とさせていただくことを目的に行うものであり、市内在住の満 18 歳以上の方から、1,200 人を無作為に選ばせていただき、お願いしております。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査の内容はすべて統計的に処理いたしますので、回答者の方々にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

亀岡市教育委員会

《ご回答についてお願い》

- ◆ご回答については、当てはまる番号を「○」で囲んでください。なお、「○」の数については、質問によって異なりますので、質問の内容により「○」をお付けください。
- ◆ご記入いただいた後は、この用紙をそのまま折りたたんで、添付の回答用封筒に入れて、
12月14日（月）までに投かんしてください。
- ◆亀岡市立の幼稚園・保育所・こども園・学校で保護者向けのアンケートを受け取られた場合は、重複している設問もございますが、改めまして市民の立場としてお答えいただくよう、お願い申し上げます。
- ◆本調査につきましてご不明の点やご質問などがございましたら、下記へお問い合わせください。

亀岡市教育委員会 教育総務課

〒621-8501 亀岡市安町野々神 8 番地

電話：0771-25-5052（直通） FAX：0771-23-3100

回答者ご自身のことについて、お伺いします

問1 あなたの年齢（1つだけ○）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 29歳以下 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70～79歳 |
| 7. 80歳以上 | | |

問2 あなたのお住まいの地域（1つだけ○）

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 曾我部町・吉川町・萩田野町 | 2. 東別院町・西別院町 |
| 3. 本梅町・東本梅町・畑野町・宮前町 | 4. 大井町・千代川町 |
| 5. 東つつじヶ丘・西つつじヶ丘・南つつじヶ丘 | 6. 篠町 |
| 7. 馬路町・旭町・千歳町・河原林町・保津町 | 8. 亀岡地区 |

問3 あなたの同居のご家族についてお答えください。（1つだけ○）

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦 |
| 3. 親子（親族の同居を含む） | 4. 3世代（親族の同居を含む） |
| 5. 兄弟姉妹のみ（兄弟姉妹の家族を含む） | 6. その他（ ） |

問4 あなたのお子様について、当てはまる番号すべてに「○」を付けてください。

- | | | |
|----------------|---------------|------------|
| 1. 乳幼児（小学校未就学） | 2. 小学生 | 3. 中学生 |
| 4. 高校生 | 5. 大学生、専門学校生等 | 6. 子どもはいない |
| 7. その他（ ） | | |

教育を取り巻く現状（環境）について、お伺いします

問5 現在の亀岡市の子どもたちの生活や行動について、どのように感じられますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
①近所の人にあいさつをしている	1	2	3	4
②一緒に遊ぶ友達が多い	1	2	3	4
③スポーツ活動や外遊びをよくしている	1	2	3	4
④規則正しい生活をしている	1	2	3	4
⑤将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4
⑥自分にはよいところがあると感じ、自分を大切にしている	1	2	3	4

	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そうは思わ ない
⑦互いの個性や価値観の違いを認め、人権を尊重している	1	2	3	4
⑧家で勉強する習慣がついている	1	2	3	4
⑨ふるさと亀岡への愛着心がある	1	2	3	4
⑩感情をコントロールすることができる	1	2	3	4
⑪物事を最後まであきらめずにやり抜くことができる	1	2	3	4
⑫パソコン、タブレット、スマートフォン、携帯電話などを使っている	1	2	3	4
⑬SNSを利用している	1	2	3	4

問6 子どもの育成・支援に関する次の各項目について、現状では幼稚園・保育所・こども園及び小・中・義務教育学校（以下「幼稚園・保育所・こども園・学校」という。）と、家庭とではどちらが中心になって取り組んでいると思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

	幼稚園・ 保育所・ こども園・ 学校	どちらかとい えば幼稚園・ 保育所・ こども園・ 学校	どちらかとい えば家庭	家庭
①基本的な生活習慣	1	2	3	4
②社会のルールを守る規範意識	1	2	3	4
③食生活などを通じた健康的な生活の維持	1	2	3	4
④体力や運動能力	1	2	3	4
⑤社会のために役立ちたいという意識	1	2	3	4
⑥お互いの人権を尊重する意識	1	2	3	4
⑦人とのコミュニケーション能力	1	2	3	4
⑧将来の夢を持ち、生き方を選択する力	1	2	3	4
⑨社会の変化に対応し、生涯にわたって学ぶ意欲	1	2	3	4
⑩ふるさと亀岡を愛する心	1	2	3	4
⑪インターネットや携帯電話、スマートフォン等の適切な利用	1	2	3	4

問7 あなたは、社会教育活動^(※1)に参加したことはありますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

1. この1年間に参加したことがある
2. この1年間は参加していないが、1年以上前に参加したことがある
3. 今まで一度も参加したことはない

※1 学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）のこと。

（例）障がい者成人学級、さわやか教室、家庭教育支援事業

これからの亀岡市の教育の在り方について、お伺いします

問8 子どもたちに、特にどのような力を身に付けてほしいと思われますか。あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に「○」を付けてください。

1. 確かな学力
2. 論理的思考力
3. 情報や情報手段を主体的に選択し活用していくための基礎的な資質としての情報活用能力
4. 語学力
5. 夢や目標を持ち、その実現に向けて計画的に努力する力
6. 互いを尊重し、認め合う力
7. たくましく生きるための健康や体力
8. ふるさとを愛し、大切にしていく力
9. 人と協調し、助け合う力
10. 社会の変化に対応し、自ら学び続ける力
11. 困難な課題にねばり強く取り組む力
12. 自分の思いを表現したり、人と対話したりする力
13. 人や美しいものとの出会いに感動する力
14. ルールを守り、よりよい社会づくりに参加する力
15. その他（ ）

問9 家庭の教育力を高めるために、家庭ではどのような取り組みが必要だと思われますか。

あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に「○」を付けてください。

1. 基本的なしつけや生活習慣の確立に取り組む
2. 親と子が十分に話し合ったり、ふれあったりする時間をつくる
3. 家族と一緒に自然や文化にふれあう体験機会をつくる
4. 親が家庭教育に関する知識や情報を得る
5. 親同士が互いに交流できる場に参加し、仲間をつくる
6. 子どもの教育や子育てに関して相談窓口などに相談する
7. その他（ ）

問 10 子どもの健全育成のために、地域住民に期待されることはどのようなことですか。

あなたの考えに近いものを3つ選んで番号に「○」を付けてください。

1. ふだんから地域の子どもの声をかける
2. 悪いことをしている子どもには注意をする
3. 近隣との交流を深め、子育てについて気軽に話をする
4. 子どもの健全育成のための取り組みについて話し合う
5. 子どもの安全・見守り活動など健全育成に関する活動に参加する
6. 子どもに関する地域の集まりやイベントに参加する
7. 地域の伝統や文化を子どもに伝える
8. 幼稚園・保育所・こども園・学校でのボランティア活動に参加する
9. その他（ ）

問 11 放課後児童会^(※1)における子どもたちへの育成支援として期待されることはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。

1. 宿題や遊び、片付けなど、時間に見通しをもって主体的に過ごせる力を育む
2. 手洗いやうがい、持ち物の管理や整理整頓など基本的な生活習慣を育む
3. 遊びなどを通じて、お互いを尊重し、認め合う中で、仲間関係を広げる力を育む
4. 宿題や自習等の学習活動を自主的にできる力を育む
5. 集団活動の中で、自分の気持ちや意見を表現することができる力を育む
6. 遊びの場面などで、危険なことについて自身が考え、判断できる力を育む
7. その他（ ）

※1：保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に、適切な遊びや生活の場を提供することで、児童の健全な育成を図ることを目的に、市内全校区で放課後児童会を開設しています。

問 12 今後亀岡市が特に優先して取り組んでいくべき教育施策はどのようなことだと思いますか。当てはまるものを3つ以内で選んで番号に「○」を付けてください。

1. 遠隔・ICT 学習環境や教材備品の整備
2. 学力の育成
3. 外国語教育
4. 国際理解教育、外国につながる子どもへの学習支援の推進
5. 情報モラルを含む I C T 教育の推進
6. プログラミング教育
7. 生徒指導・教育相談活動の充実
8. 人権教育の推進
9. 道徳教育の推進
10. 教職員の資質向上
11. 小学校給食の充実（アレルギーに対する配慮など）
12. 食育の充実

13. 中学校昼食の充実（中学校選択制デリバリー弁当の充実、中学校給食の在り方）
14. 校種間連携の推進（※1）
15. 学校規模適正化の推進
16. 体験活動（ふるさと体験学習）などの充実
17. 特別支援教育の充実
18. 幼児教育総合センター機能の強化（※2）
19. 老朽化した学校校舎の長寿命化・トイレの洋式化
20. 学校司書の配置及び学校図書館の利用促進
21. 安全・安心な通学路の確保
22. 安全教育（防災訓練、交通安全教室など）の推進
23. 感染症予防設備の充実
24. 適応指導教室の充実（※3）
25. 図書館サービス（ホームページ、図書資料、子どもの読書環境）の充実
26. 読書ボランティアへの支援とネットワーク強化
27. 文化資料館の充実（体験機会・広報・調査研究・普及活動）
28. 文化財指定による保護及び啓発活動
29. 地域の文化財の計画的な保存・活用
30. 歴史を学ぶ拠点の整備
31. その他（ ）
32. わからない

※1：子どもが進学する際に、新しい環境での生活や学習に円滑に移行・接続できるよう、

校種間（幼稚園・保育所・保育園・こども園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校）で十分連携を図る取り組み。

※2：幼児教育の実践、子育て支援、研究・開発活動、研修活動、情報収集と情報発信、関連施設や組織との連携の調整等といった機能の強化

※3：不登校やその傾向にある子どもを対象に開設している教室

問 13 今後、亀岡市立の学校で行われる外国語教育について、あなたは特にどのようなことを重視されますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

1. 外国語に対する抵抗感をなくすこと
2. 外国語の音やリズムに触れたり、慣れたりすること
3. 外国語を聞いたり話したりすること
4. 外国語の文字や文章を読んだり書いたりすること
5. 外国の文化や生活を知ること
6. 外国の人と交流すること
7. その他（ ）
8. わからない

問 16 あなたは、今後、社会教育活動に参加したいと思われませんか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 参加したい | 2. どちらかといえば参加したい |
| 3. どちらかといえば参加したくない | 4. 参加したくない |

問 16-1 問 16 で「1. 参加したい」、「2. どちらかといえば参加したい」と答えた方にお聞きします。どのような活動、事業に参加しようと思われませんか。当てはまるものを2つ選んで番号に「○」を付けてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 子どもの健全育成に関するもの |
| 2. 人権尊重に関するもの |
| 3. 地域力・ふるさと力向上に関するもの |
| 4. その他（ ） |

亀岡市の文化財や社会教育施設について、お伺いします

問 17 あなたは「亀岡市の文化財」について、どの程度イメージを持たれていますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 具体的な亀岡市の文化財を2つ以上思い浮かべることができる |
| 2. 具体的な亀岡市の文化財を1つは思い浮かべることができる |
| 3. 具体的な亀岡市の文化財について思い浮かべることができない |
| 4. 文化財という言葉自体について、具体的なイメージを持つことができない |

問 18 あなたは亀岡市の文化財（建造物・絵画・彫刻・史跡・民俗など）について、どの程度関心がありますか。当てはまるものを1つ選んで番号に「○」を付けてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 2. どちらかといえば関心がある |
| 3. どちらかといえば関心がない | 4. 関心がない |

問 18-1 問 18 で「1. 関心がある」、「2. どちらかといえば関心がある」と答えた方にお聞きします。今後、あなたが亀岡市の文化財で、特に重視し守っていきたいと思うものをすべて選んで番号に「○」を付けてください。

- | | | | |
|--------------|--------------------------|-------|----------|
| 1. 建造物 | 2. 絵画 | 3. 彫刻 | 4. 工芸品 |
| 5. 書籍・典籍・古文書 | 6. 民俗文化財 ^(※1) | 7. 史跡 | 8. 天然記念物 |
| 9. 特になし | | | |

※1：衣食住・信仰・年中行事などに関する風俗慣習・民俗芸能・祭事・伝説・昔話及びこれに用いられる衣服・器具・家屋など

1. 学校で地域の文化財について勉強する機会を多く設け、子どものうちから文化財に対する理解を深める
2. 文化財に関する情報提供を充実させる
3. 市民に向けて文化財を深く知る講習会を行う
4. 文化財の公開の機会を増やす
5. 文化財を所管・保護を行う団体に対して支援・助成を行う
6. その他（ ）
7. わからない

図書館	文化資料館
1. 週に2回以上	1. 週に2回以上
2. 週に1回程度	2. 週に1回程度
3. 2週間に1回程度	3. 2週間に1回程度
4. 1か月に1回程度	4. 1か月に1回程度
5. 2～3か月に1回程度	5. 2～3か月に1回程度
6. 半年に1回程度	6. 半年に1回程度
7. 1年に1回程度	7. 1年に1回程度
8. 数年に1回程度	8. 数年に1回程度
9. 利用したことはない	9. 利用したことはない

図書館	文化資料館
1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満	1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満

図書館	文化資料館
1. 所蔵資料の量の充実 2. 所蔵資料の質の充実 3. 予約・リクエストサービスの充実 4. 講座・講演会の催事 5. 施設・設備の充実 6. ホームページの充実	1. 所蔵資料の量の充実 2. 所蔵資料の質の充実 3. 企画展覧会等の催事 4. 施設・設備の充実 5. 刊行物の充実 6. ホームページの充実

問 23 あなたは「持続可能な開発目標（SDGs）」を知っていますか。当てはまるものを 1つ選んで 番号に「○」を付けてください。

- 問 24 「持続可能な開発目標（SDGs）」では、教育に関する目標として、「質の高い教育をみんなに」が掲げられており、一貫した質の高い教育を誰でも平等に受けられることを目指しています。主に学校教育において、今後、教育の質を高めていくうえで、必要と思われることは何ですか。当てはまるものを 1つ選んで 番号に「○」を付けてください。

- 123

最後に、本市の教育について、日頃お気付きの点や今後期待すること等、お感じになっていることがございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

第2次亀岡市教育振興基本計画～基本理念（案）～について

盛り込みたい主要素（案1・案2共通）

<人権尊重>

- ・心豊かにともに輝く人権尊重を基礎とした教育

<ふるさと～かめおか～>

- ・ふるさとを愛する心の育成
- ・豊かな自然環境でふるさと～かめおか～を愛する力を育む
- ・豊かな自然環境との共生

<主体性>

- ・日々変化する社会で主体的に生き抜く人材の育成
- ・新しい時代に立ち向かう力の育成
- ・包み込まれているという安心を広げ、自信と勇気をもった、しなやかでたくましいすべての子どもが主人公になる教育

<共感>

- ・相手を思いやり、元気に挨拶ができる笑顔あふれた明るく元気な人材の育成
- ・豊かな心を育み、他者に共感できる力の育成

ポイント（案1）

- ・木のイラストを使用し、人権尊重が根（＝基礎）にあり、学びという幹を通じて様々な力を育んでいくことを示している。

ポイント（案2）

- ・渦巻のイラストを使用し、らせん状に発展していくことを示している。
- ・育てたい力を円形の矢印のイラストで示すことで、それぞれが関連し合って発展していくことを表している。

ふるさとを愛し 至誠貫く
心豊かで素敵な亀岡びと（かめじん）



亀岡市の〈めざす人間像〉^{《案2》}

ふるさと亀岡を愛し、自分の良さや可能性を認識するとともに他者を尊重し、多様な人々と協働して社会の変化を乗り越えながら豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となる人



亀岡の豊かな自然・歴史と文化

そこに生きる人を包み込む家庭・地域社会

知・徳・体を育む学校

亀岡市教育振興基本計画検討会議開催スケジュール（最新版）

令和2年3月	3月17日（水） 第2回亀岡市教育振興基本計画検討会議 【議題】 ・ 市民意識調査の結果報告について ・ 基本理念について
5月	下旬 第3回亀岡市教育振興基本計画検討会議 【議題】 ・ 亀岡市教育振興基本計画～かめおか教育プラン～の評価について ・ 基本目標及び基本施策について
8月	各基本施策を進めるための事業や、その事業における目標を設定 ➡計画全体の作成を進める 月上旬 第4回亀岡市教育振興基本計画検討会議 【議題】 ・ 第2次亀岡市教育振興基本計画（案）について
9月	パブリックコメント
10月	中旬 第5回亀岡市教育振興基本計画検討会議 【議題】 ・ 第2次亀岡市教育振興基本計画の最終案について
11月	《次期計画としてまとめる》